

地域コミュニケーション調査

(平成27年 奈半利町編)

調査報告書

平成28年9月

研究代表者 遠山茂樹

(高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門 教授)

発刊にあたって

本報告書は、平成 25 年度（2013 年度）科学研究費助成事業に採択された「デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発」（課題番号：25330399）（代表：遠山茂樹）の一環として実施された「平成 27 年 地域コミュニケーション調査（奈半利町編）」の結果をまとめたものである。

本調査研究は、高知県の太平洋沿岸に位置する郡部コミュニティにおけるコミュニケーション実態の把握を試みたものである。具体的には高知県幡多郡黒潮町および同県安芸郡奈半利町におけるコミュニケーション実態について社会調査により解明することを目指した。

本調査研究の発端は、研究代表者が地域コミュニティにおけるコミュニケーション実態の現状を理解しようと文献調査を行っていた経緯のなかで、従来の研究において具体的に「どのような種類の情報」が「どのようなコミュニケーション経路」により入手されているのか、について十分に定量的な調査結果が見当たらなかったことであった。具体的なレベルで地域のコミュニケーションについて議論をしようとした場合、そのための基礎データの蓄積がほとんどなかったのである。このため、研究代表者自らが基礎データの収集をめざし、社会調査を企画した。

本社会調査を通じて明らかになった点は、一般的な社会情報については従来のマスメディア（なかでも地上波テレビ放送と新聞）の影響力の大きさであった。2000 年以降、ケータイを中心にインターネットの普及が日本社会において進んでいったが、信頼性や伝搬性においては旧来のマスメディアが依然として存在感を示していた。また、「地元」の情報については、当該コミュニティに限定したメディア（具体的には町役場の広報誌や街頭の掲示板やポスター）の利用の高さであった。地域限定メディアの信頼性と詳報性により、広く町民が「地元」情報収集に利用していると推測される。また、一般的社会情報および「地元」情報の双方において重要な「情報経路」となっていたのが、「ひとつづて」に直接情報を得たり、あるいは身近な人からのメールやメッセージで新たな情報を入手したり、いわゆる「クチコミ」による情報流通であった。古くからの情報伝達手段である「クチコミ」が依然として地域社会の情報流通において重要な位置を占めていることが再確認された。

本調査研究の第二の目的は、社会調査を通じて解明しようとする「地域コミュニケーション実態」の基礎データを、地域の防災に役立てることである。このため、社会調査では地域住民の災害に対する意識や実際の備えの現状について質問している。さらに、これらの防災対応において、情報入手経路のみならず、人びととのつながり（いわゆる社会ネットワーク）の影響についても考察できるよう、調査をデザインした。防災準備状況と人びととのつながり（社会ネットワーク）との関連性については、今後分析を進め、学会誌等で公表していく予定である。

本社会調査は、奈半利町民の皆様をはじめ、奈半利町役場や奈半利町選挙管理委員会などの協力なしには実現できなかった。この場をかりて御礼を申し上げる。また、本社会調査に協力してくれた高知大学生 5 名にも感謝の意を表したい。また、社会調査過程において不快な思いなどをされた方々には深くお詫び申し上げます。

本報告書は、当初、もう少し早い時期に発行・発送を計画していた。しかしながら、当初予定になかった研究代表者の米国への 1 年間の長期研修のために報告書の発行が延期されてしまった。この点について関係者にお詫び申し上げます。また、本調査報告書の内容における不備については、全て筆者である遠山の責任である。

平成 28 年 9 月 5 日

研究代表 遠山 茂樹
高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門 教授

目次

第1章 調査概要

1. 1	調査の目的	1
1. 2	社会調査法の選択	1
1. 3	標本（サンプル）について	1
1. 4	調査体制	2
1. 5	調査実施報告	2
1. 6	回収結果について	2

第2章 回答者の人口統計的特性

2. 1	回答者の性別と年齢の構成	3
2. 2	居住について	4
2. 3	教育歴について	5
2. 4	職業などについて	6
2. 5	兄弟姉妹について	8
2. 6	配偶者について	9
2. 7	子どもについて	13

第3章 地元での付き合い

3. 1	親せき付き合い	16
3. 2	仕事関係の付き合い	16
3. 3	子どもを通じた付き合い	16
3. 4	地元や趣味の付き合い	17
3. 5	地元における活動への参加状	17

第4章 親しい関係の社会ネットワーク

4. 1	「親密な関係の相手」とのつながり	19
4. 2	「親密な関係の相手」との関係性	20
4. 3	男女構成	20
4. 4	年代構成	21
4. 5	知り合ってから年数	22
4. 6	相手と会う頻度	22
4. 7	教育歴	24
4. 8	職業・職種	24
4. 9	付き合いのかたち	25

第5章 地元情報を尋ねる関係の社会ネットワーク

5. 1	「地元情報を尋ねる相手」とのつながり	27
5. 2	「地元情報を尋ねる相手」との関係性	28
5. 3	男女構成	28
5. 4	年代構成	29
5. 5	知り合ってから年数	30
5. 6	相手と会う頻度	30
5. 7	教育歴	32
5. 8	職業・職種	32
5. 9	付き合いのかたち	33

第6章 防災について相談する関係の社会ネットワーク

6. 1	「防災の相談相手」とのつながり	34
6. 2	「防災の相談相手」との関係性	35
6. 3	男女構成	35
6. 4	年代構成	36
6. 5	知り合ってから年数	37
6. 6	相手と会う頻度	37
6. 7	教育歴	39
6. 8	職業・職種	39
6. 9	付き合いのかたち	40

第7章 防災・災害に対する意識や備えの状況

7. 1	防災意識（自己評価）	42
7. 2	避難所の認識	42
7. 3	避難訓練への参加状況	43
7. 4	防災WSへの参加状況	43
7. 5	『避難カルテ』の作成について	44
7. 6	自然災害への準備活動について	44

第8章 日常的なコミュニケーション状況

8. 1	メディア機器の所有状況	48
8. 2	“ケータイ”・インターネット・サービスの利用状況	49
8. 3	PCインターネット・サービスの利用状況	50
8. 4	インターネットの利用について（全体）	52
8. 5	新聞・雑誌の購読について	53

第9章 各種情報の入手経路

9. 1	各種社会情報の入手経路	54
9. 2	地元情報の入手経路	56
9. 3	情報メディアの重要度	58
9. 4	メディア別の信頼度	60

【付 録】

資料1	「地域コミュニケーション調査 調査票」および単純集計	65
-----	----------------------------	----

第1章 調査概要

1. 1 調査の目的

本調査研究の目的は、社会調査を通じて、急速なデジタル化が進展する郡部コミュニティにおける地域コミュニケーションの現状について、住民側と自治体・地域メディア側の両者の情報行動から解明しようとするものである。

最終的には地域コミュニケーションの実態を把握した上で、防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発・提言を目指す。

今回の定量調査（調査票調査）では、住民の情報行動について、住民がどのような情報をどのようなメディアを通じて入手しているのか、また、住民自身がどのような情報をどのようなメディアで発信／再発信しているのか、について明らかにしようとしている。

なお、本調査は科学研究費補助事業（基盤研究 C）「デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発」（課題番号：25330399）の一環として実施する社会調査である。

1. 2 社会調査法の選択

本調査は、奈半利町住民の全数調査ではなく、標本調査（サンプル調査）である。また、具体的社会調査法としては、郵送法と訪問留置法を混合した方法を採用した。郵送法とは調査票を対象者宅へ郵送し回収する社会調査方法である。訪問留置法とは、社会調査員が対象者を訪問し、調査の目的などを説明した上で調査票への記入を依頼して、調査票を「留置き」し、後日、再び社会調査員が対象者を訪問し、記入済みの調査票を回収する社会調査方法のことである。今回は、調査票の配布については郵送法を採用し、調査票の回収について訪問法を採用した。

1. 3 標本（サンプル）について

本調査の対象は高知県幡多郡奈半利町の住民である。全数調査は費用的制約からも非現実的であるため、標本調査とした。本調査における調査対象者（標本：サンプル）は、奈半利町に住む 20 歳から 79 歳までの成人 500 人とした。数値の根拠は、標本の大きさを求める公式で求めた必要数は 341 に、回収率 7 割程度を想定した数である。

<必要な標本数を求める公式>

$$n = \frac{N}{\frac{(N-1)e^2}{1.96^2 P} + 1}$$

ただし、Nは母集団の大きさ

nは標本の大きさ

Pは母比率の予想値

eは信頼度 95 %での標本誤差の許容値

具体的な標本（サンプル）抽出は、調査責任者である遠山が奈半利町選挙管理委員会からの許可を得た上で、平成 27 年 2 月に選挙人名簿より「くじびきのような方法」（無作為抽出）で選んだ。具体的には無作為抽出法により 462 人を抽出し、標本対象者名簿を作成した。

1. 4 調査体制

調査責任者（遠山）が、高知大学人文学部生 5 名を社会調査員としてリクルートした。実際には、社会調査員各自の担当区域を割り当て、それぞれの担当区域において調査票の回収作業を行った。

1. 5 調査実施報告

調査は、調査票配布には郵送法を採用し、調査票回収において訪問法を採用した。標本名簿をもとに、調査協力依頼はがきを平成 27 年 5 月に発送し、翌 6 月に調査票を郵送した。

調査票回収は平成 27 年 6 月 13 日（土）、20 日（土）、27 日（土）の三日間に分けて実施した。回収作業では、調査員 5 名により、自転車や徒歩により実施した。調査責任者は大学公用車を利用して、主に加領郷地区および山間部を担当した。なお、合計三日間の回収作業にて、不在等で調査票を回収できなかった対象者には、返信用封筒を玄関やポストへ置いた。

本調査に関する主な日程は以下の通りである。

日程	調査作業内容
平成 27 年 02 月 12 日（木）	奈半利町選挙管理委員会へ選挙人名簿抄本閲覧申請書を郵送
平成 27 年 02 月 24 日（火）～25（水）	奈半利町選挙管理委員会にて標本（サンプル）抽出作業
平成 27 年 05 月 22 日（金）	協力依頼はがき発送
平成 27 年 06 月 02 日（火）	調査票の郵送
平成 27 年 06 月 13 日（土）、20（土）、27 日（土）	奈半利町現地調査（調査票の回収）
平成 27 年 07 月 31 日（金）	調査票返送締切日

1. 6 回収結果について

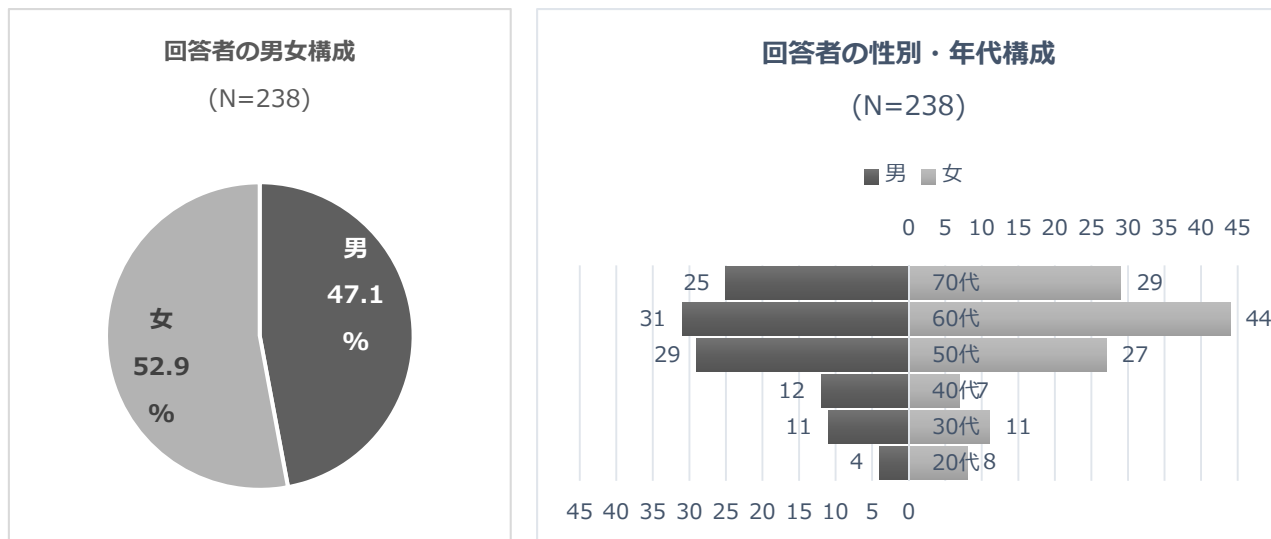
標本名簿の 462 人に対し、平成 27 年 5 月に調査協力依頼のはがきを郵送した。その後、住所不明による返送や電話連絡などで計 7 人を対象外とした。このため、実際の調査対象標本数は 455 となった。

平成 27 年 6 月の現地調査における社会調査員による調査票回収と、郵送による調査票返信の合計が 242 通で、回収率は 52.4%（242/462）であった。調査票をデータにコーディングする過程においてデータクリーニングをし、最終的な有効回答数は 238 で、有効回答率は 51.1%（238/462）であった。

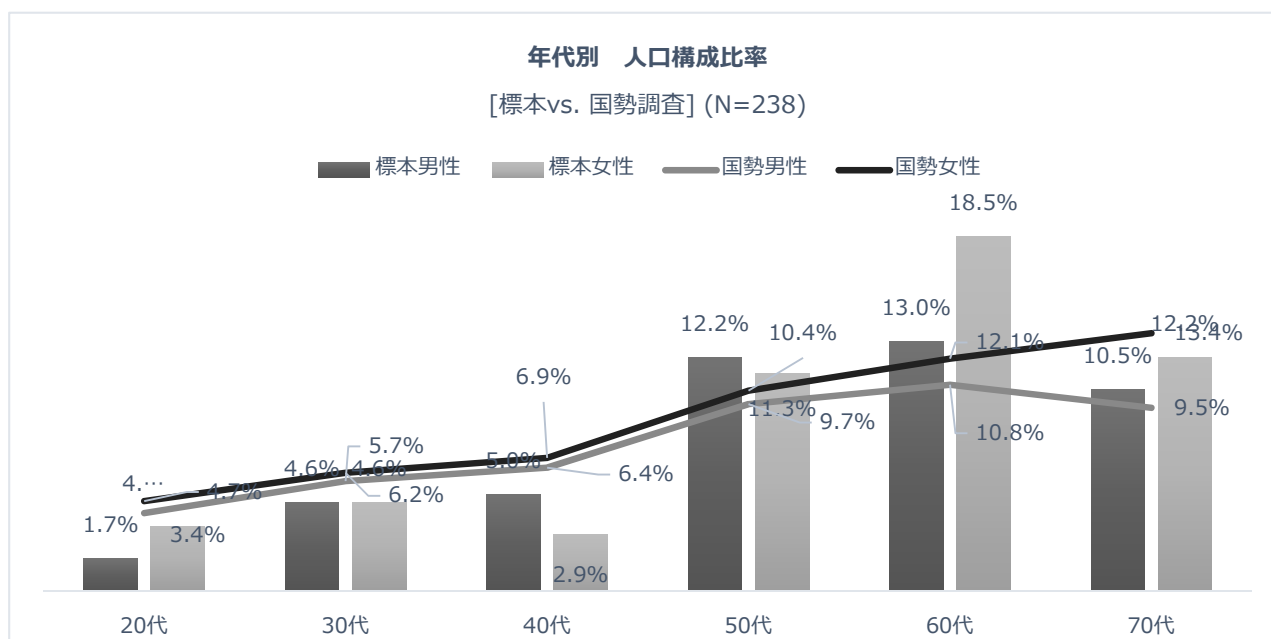
第2章 回答者の人口統計的特性

2.1 回答者の性別と年齢の構成

有効回答数 236 人の男女構成は、男性 112 人 (47.1%)、女性 126 人 (52.9%) であった。年代構成については、20 代が 12 人 (5.0%)、30 代が 22 人 (9.2%)、40 代が 19 人 (8.0%)、50 代が 56 人 (23.5%)、60 代が 75 人 (31.5%)、70 代が 54 人 (22.7%) であった。性別と年代で整理したのが下図である。



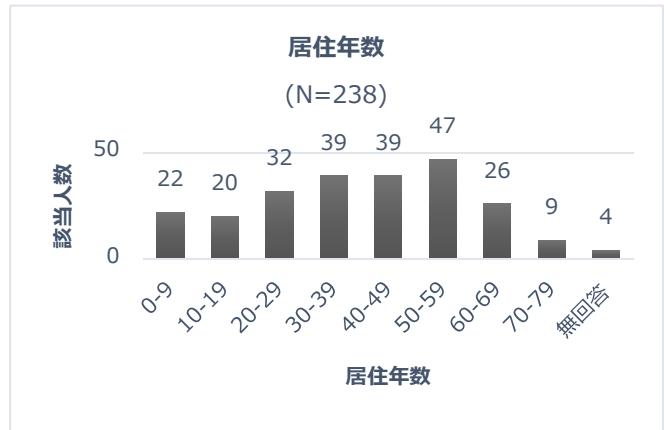
本調査における回答者の構成を、平成 22 年国勢調査における奈半利町の人口構成と比較したのが下図である。国勢調査から本調査が対象とした 20 歳以上 79 歳以下の人口を抽出すると、その男女構成は男性 46.2%、女性 53.8%で、2つの差はほぼない。しかしながら、年代構成を加えると状況は大きく変わり、20 代～40 代については本調査回答者のほうが国勢調査結果よりも少ない構成であり、一方で 50 代～70 代は本調査回答者の構成のほうが国勢調査結果よりも多い結果となった。つまり、本調査回答者の人口構成は、国勢調査と比較して、若年層が少なく高齢層が多い構成となっている。



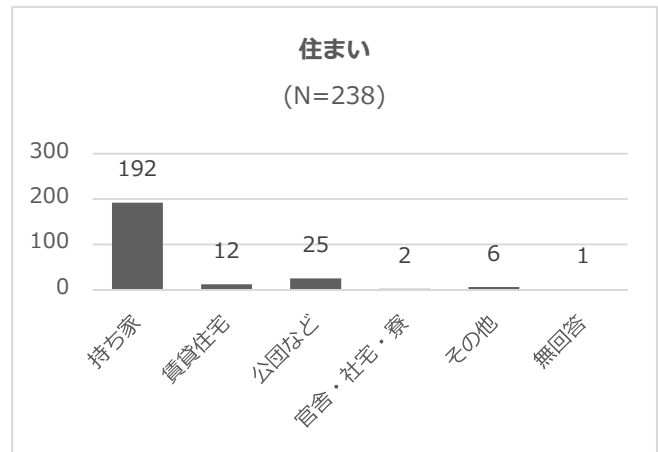
2. 2 居住について

回答者の居住に関して、現在の町にどれほど住んでいるか（居住歴）や、持ち家や賃貸住宅などの居住形態について質問している。

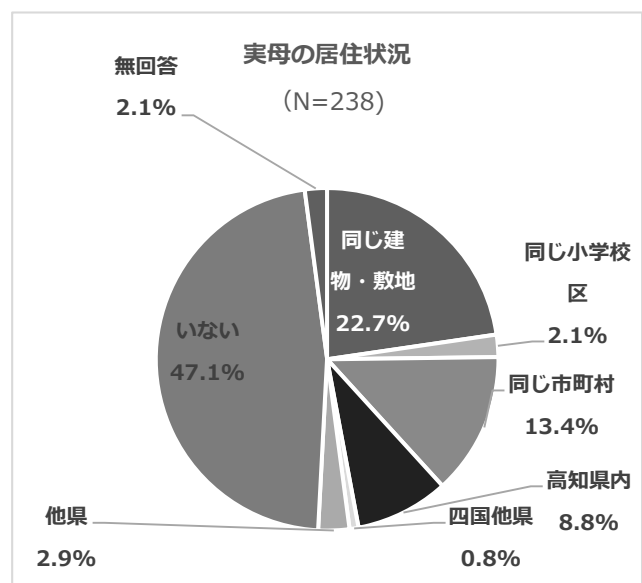
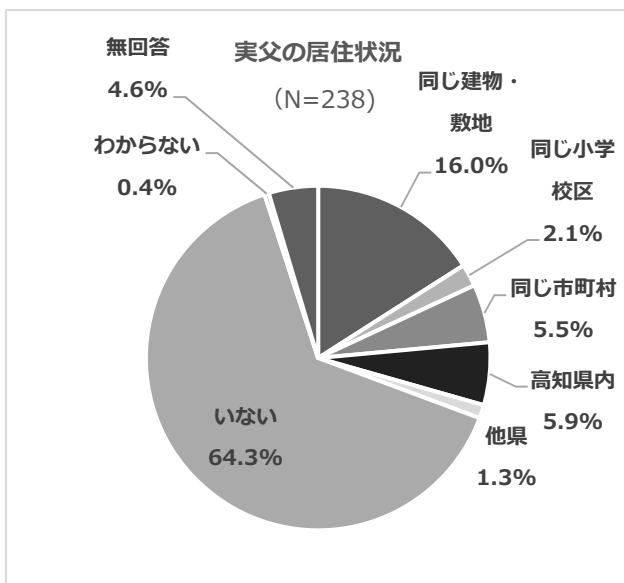
現在住んでいる町での居住歴を質問している。現在の町の居住平均年数は 38.5 年（SD=19.09）で、最短で 0 年（1 年未満）、最長で 79 年（生誕以来）であった。



住まいの形態は、「持ち家」が 192 人（80.7%）、「賃貸住宅」が 12 人（5.0%）、「公団など」が 25 人（10.5%）、「官舎・社宅・寮」が 2 人（0.8%）、「その他」が 6 人（2.5%）、未回答が 1 人（0.4%）であった。回答者のほとんどが持ち家であることがわかる。



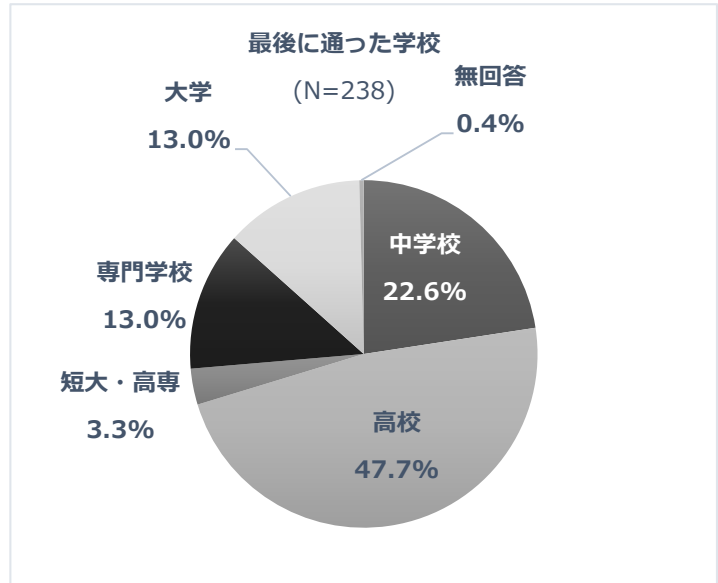
調査票では、両親の居住についても質問している。実父と同居している人が 16%で、同じ奈半利町内となると合計で 25%程度であった。回答者に高齢層が多いためか、現在はいないとの回答が 6 割強を占めた。一方の実母と同居している人が 2 割以上おり、同じ奈半利町内となると合計で 4 割弱まで増えている。



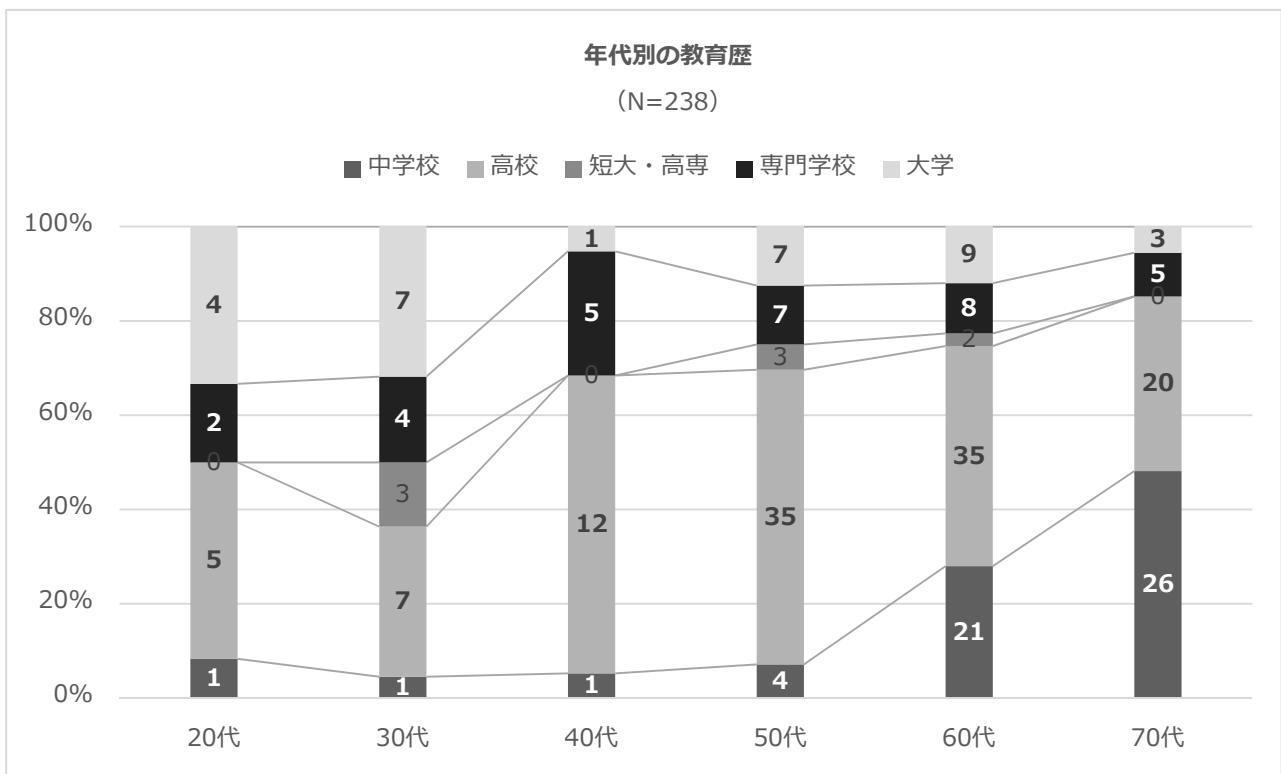
2.3 教育歴について

回答者が最後に通った学校について質問している。集計結果は図の通り。

最も多かったのが「高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）」の114人（47.7%）で、次に「中学校（旧制小学校）」の54人（22.6%）が続く。



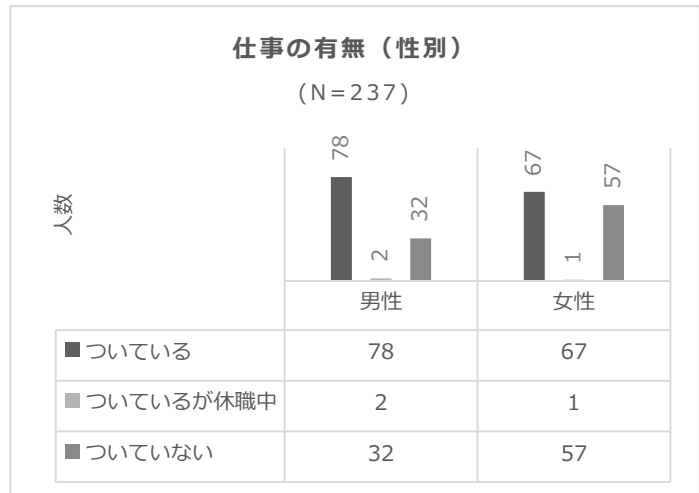
教育歴を年代別に整理したのが下図である。最も多かった高校は、40～50代で高い構成比率になっている。大学以上は20～30代と若い層において構成比率が高い。中学校については60代・70代に多いことがわかる。



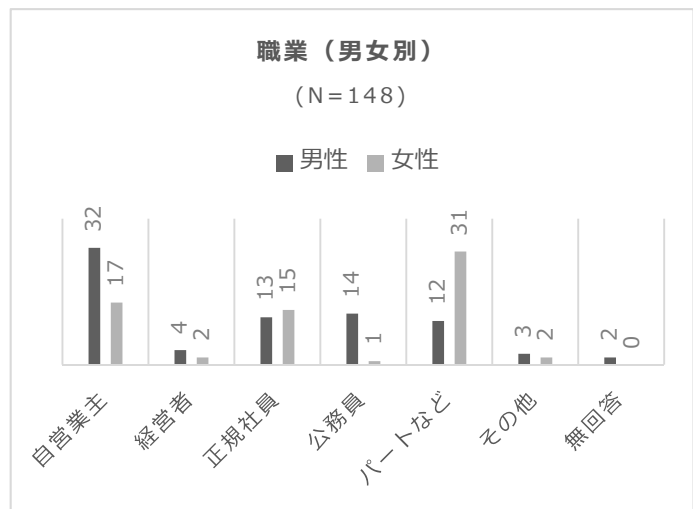
2. 4 職業などについて

回答者に仕事に関していくつか質問をしている。

調査時に何らかの仕事に就いているか否かを質問した。「仕事に就いている」との回答が145 (60.9%)、「仕事に就いているが休職中」が3人 (1.3%)、「仕事に就いていない」が89人 (37.4%)、無回答が1人 (0.4%)であった。仕事の有無を男女別に整理したのが右図である。男女間で統計的には差が有意であり、男性のほうが女性よりも仕事に就いていることがわかる¹。

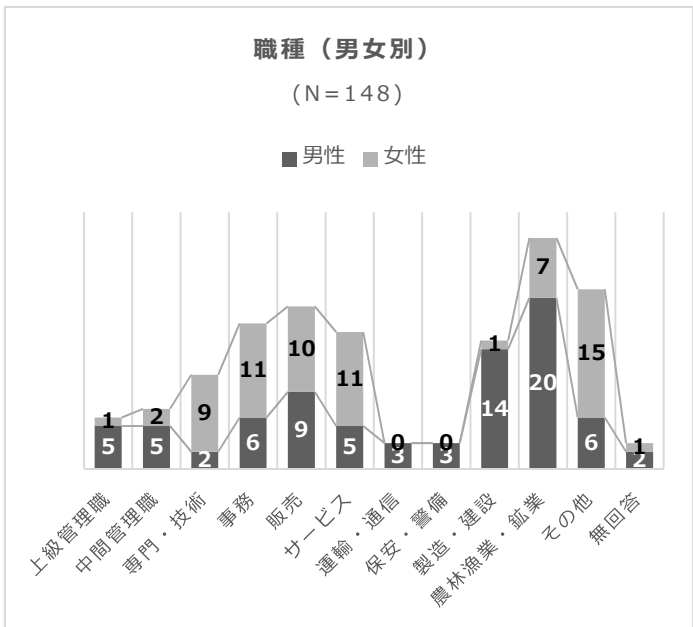


次に、仕事に就いている（休職中含む）148人に、現在の職業について質問している。職業の比率としては、「自営業主」が最も多く、次に「パートなど」の非正規雇用が続く。男性では「自営業主」や「公務員」が多く、「パートなど」は女性が多くを占めている。



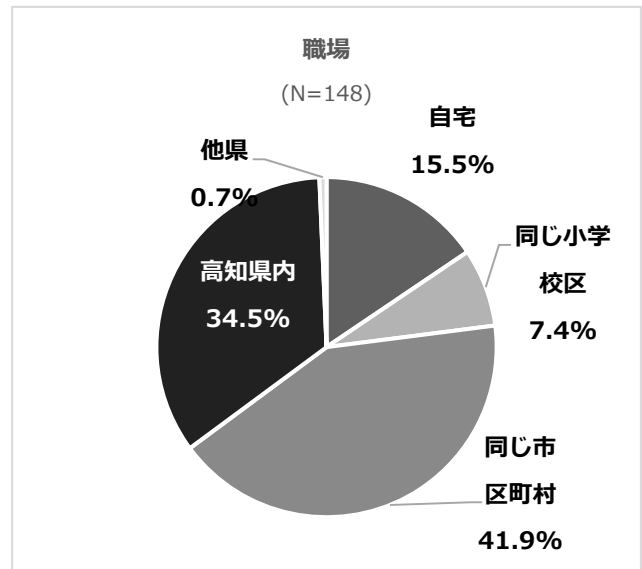
職種についても質問している。最も多かったのは「農林漁業・鉱業」(27人)で、「その他」(21人)が続いた。「その他」には介護職が多く含まれていた。そして、「販売」(19人)、「事務」(17人)、「製造・建設」(15人)と続く。

「農林漁業・鉱業」「製造・建設」「上級管理職」「中間管理職」では男性が圧倒的に多く、「専門・技術」「事務」「サービス」「その他」については女性が圧倒的に多かった。

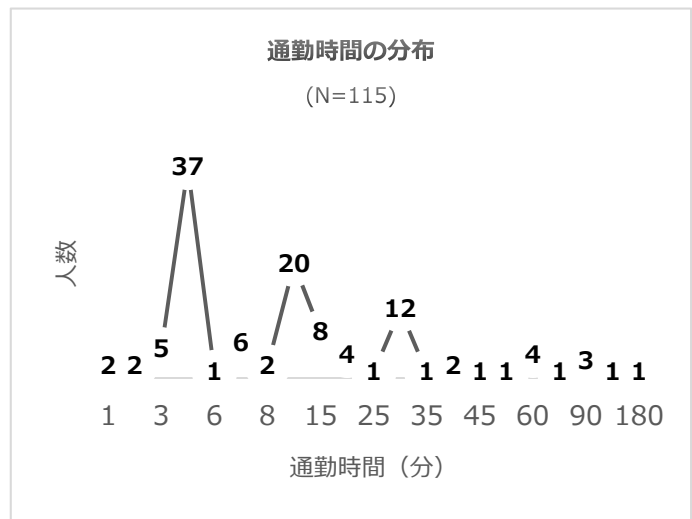


¹ 統計ソフト IBM SPSS Ver.22 を使用してカイ二乗検定を行い、残差を確認した結果である ($\chi^2=7.766$, $df=2$, $p < 0.5$)。

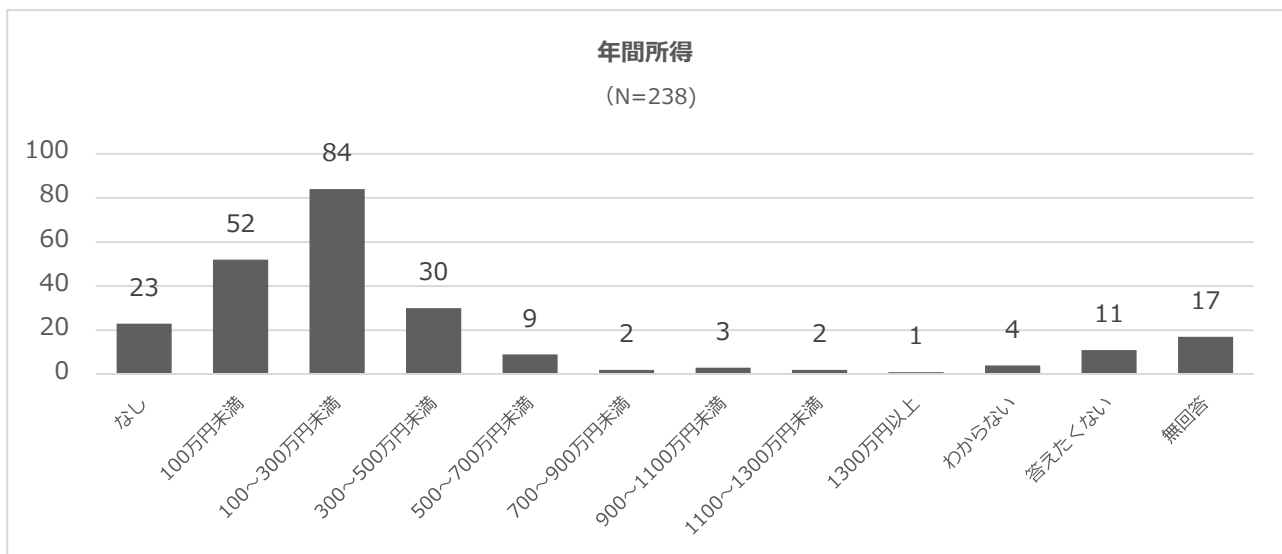
職場について質問している。自宅が15.5%で、同じ小学校区内が7.4%と、比較的近距離の職場が2割以上を占めている。奈半利町内は4割で、約6割が町内で働いていることになる。34.5%が町外で高知県内の職場であった。



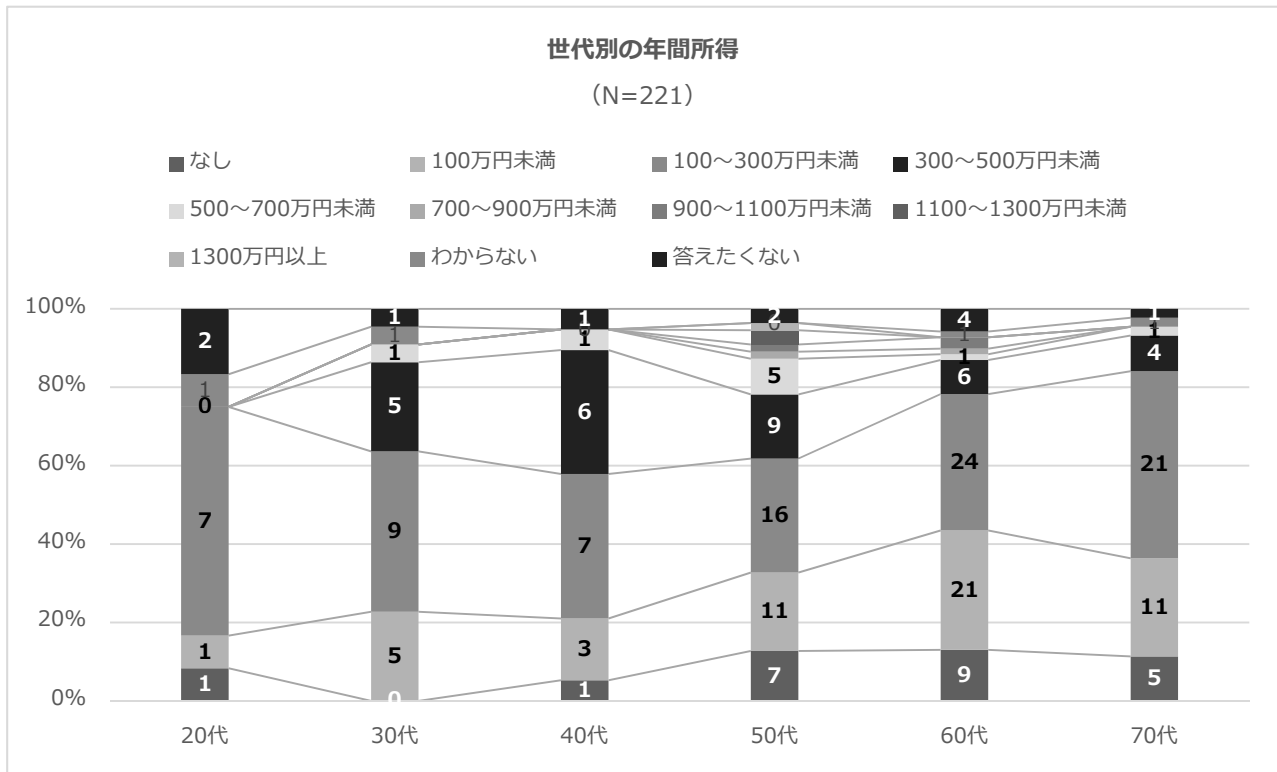
通勤時間は、平均時間で18.7分 (SD=26.09)、最短は1分で、最長は3時間 (180分) であった。4割は5分以内で、10分以内が65%にもおよぶ。3/4が20分以内の通勤時間であった。1時間以上は10人 (4.2%) で少数であった。



年間所得については、「100～300万円未満」が最も多く、次に「100万円未満」、「300～500万円未満」が続く。



年間所得を年代別に整理したのが下図である。全ての年代に共通して多い比率を占めていたのが「100～300万円未満」であった。60代・70代では「100万円未満」の層も多い。50代以上で700万円以上の所得層が見られた。また、50代以上で所得「なし」の回答が増加しているが、恐らく農家などで現金収入がないと推測される。

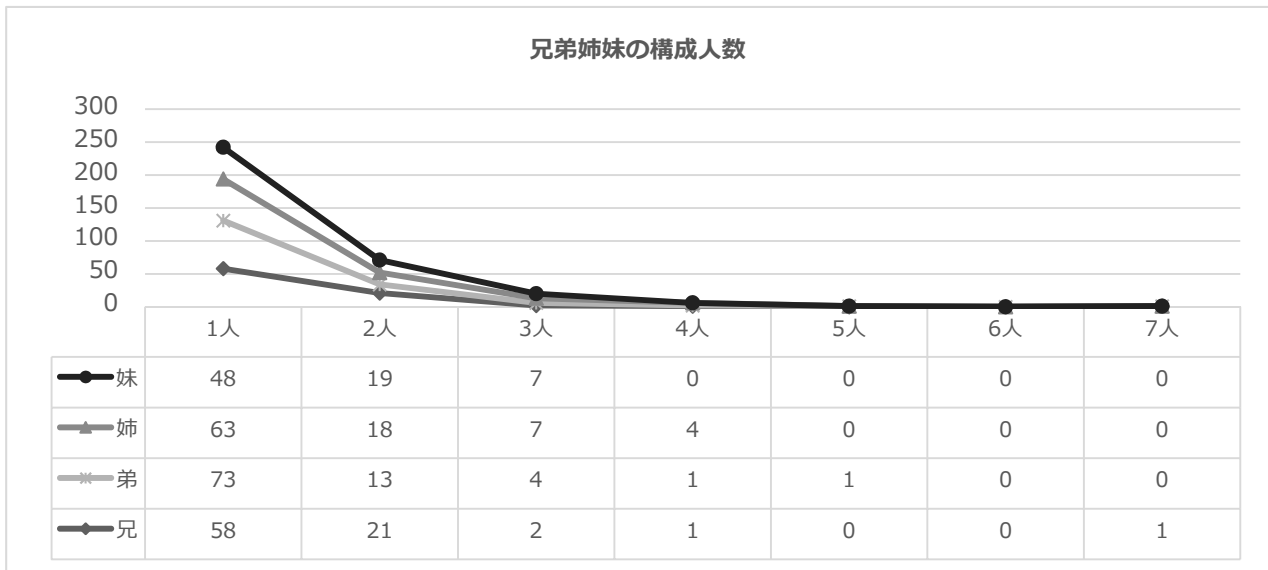


2. 5 兄弟姉妹について

調査票では、兄弟姉妹について質問している。

兄がいると答えたのは58人で、兄の平均人数は1.4人 (SD=0.86) で、最大7人、最小で1人であった (N=58)。弟がいると答えたのは77人で、弟の平均人数は1.3人 (SD=0.71) で、最大5人、最小で1人であった (N=92)。

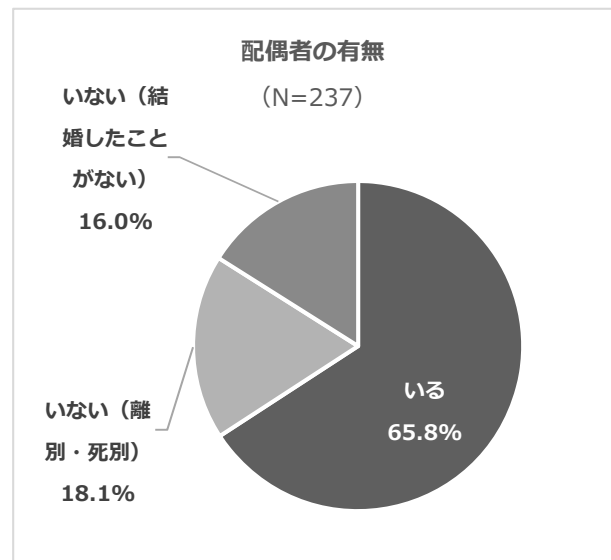
姉がいると答えたのは92人で、姉の平均人数は1.5人 (SD=0.82) で、最大4人、最小で1人であった (N=92)。妹がいると答えたのは74人で、妹の平均人数は1.5人 (SD=0.67) で、最大3人、最小で1人であった (N=74)。



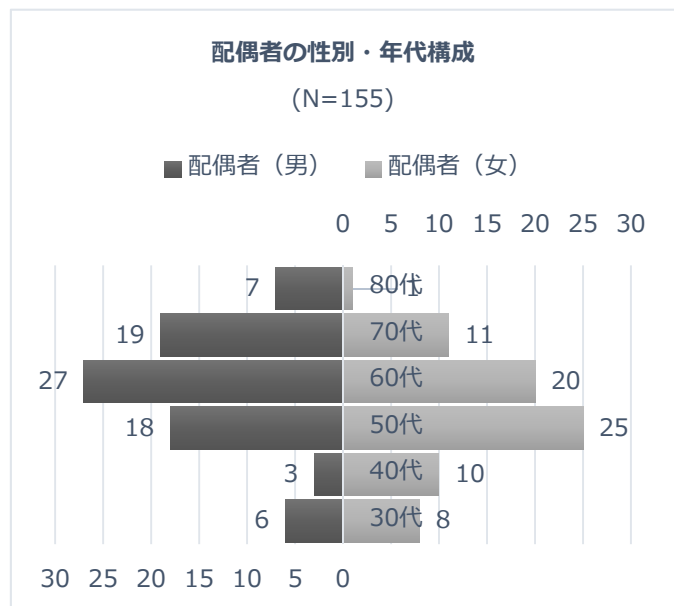
2. 6 配偶者について

回答者の配偶者の有無について質問している。さらに、配偶者がいる場合、その年齢、教育歴、居住について、仕事について、年間所得、義兄弟姉妹について質問している。

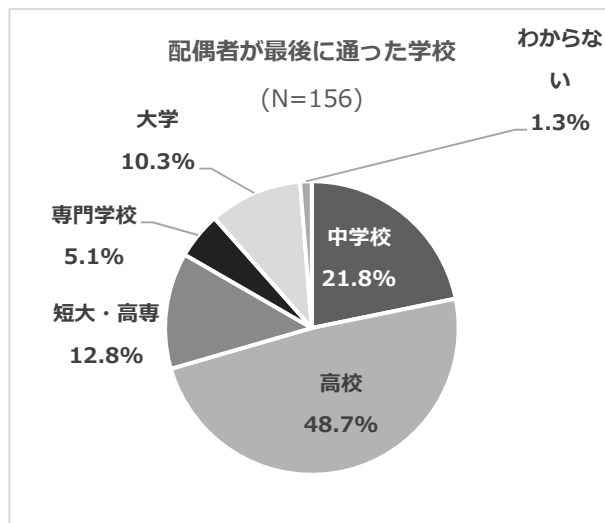
調査時に配偶者がいると答えたのは 156 人 (65.8%) であった。



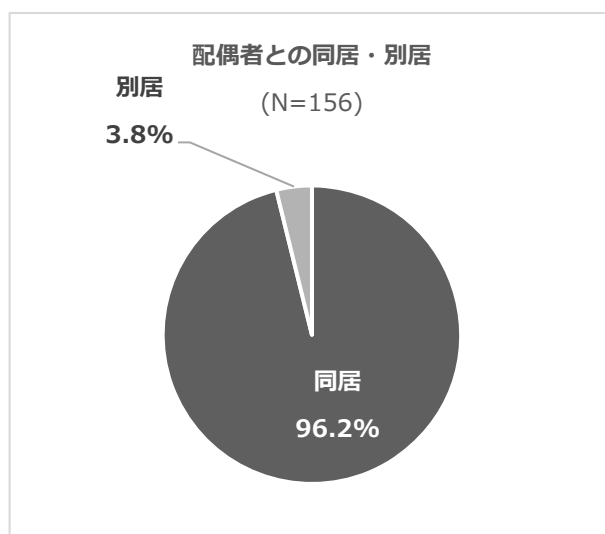
配偶者 (155 人, 年齢無回答 1 名) の性別と年代の内訳は、右図の通りである。平均年齢は 59.9 歳 (SD=12.67) であった。最年少は 30 歳、最年長は 85 歳であった。



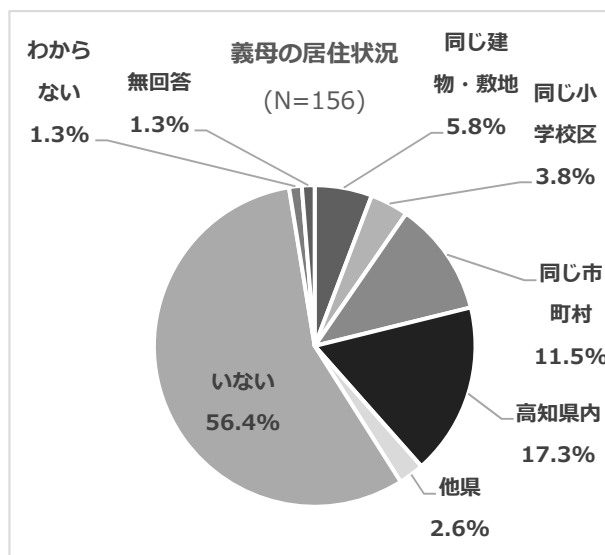
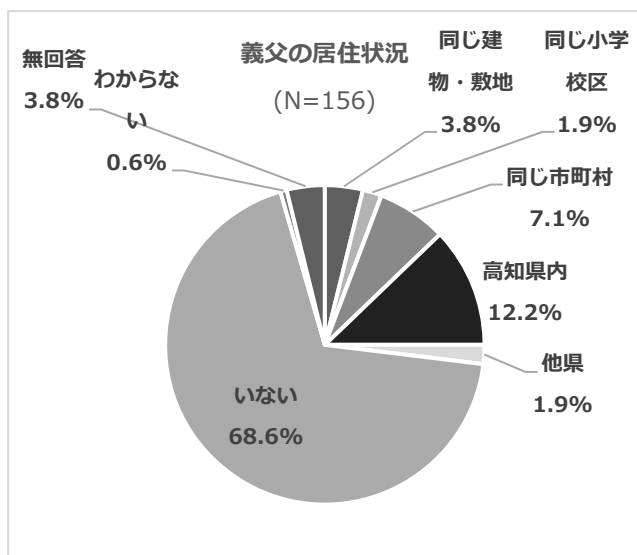
配偶者の教育歴を見ると、7割が高校まで通っている（110人、70.5%）。高校卒業以降の進学した人は44人（28.2%）であった。



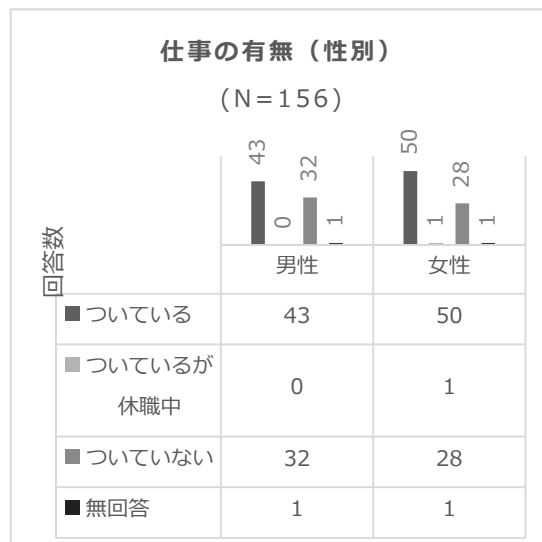
配偶者の住まいの状況については、同居が96.2%で圧倒的であった。



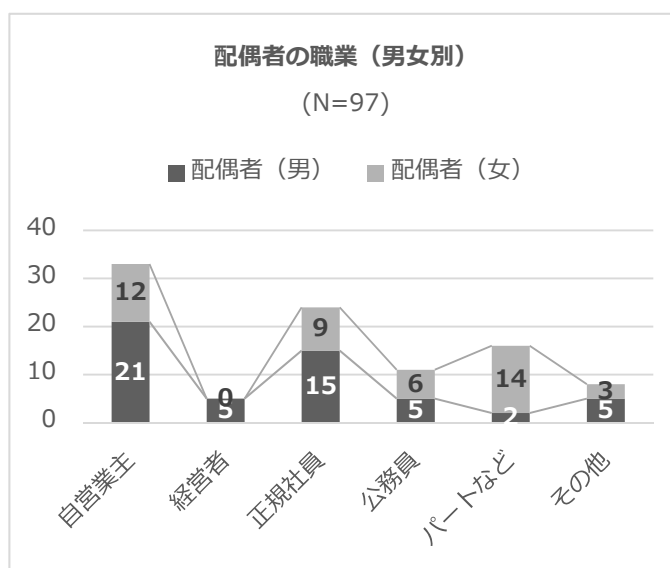
配偶者の父母との同居・別居の状況については右図の通りであった。配偶者の年齢のせい、過半数の義父・義母は亡くなられていた。義父母との同居は1割未満であった（義父と同居6人、3.8%、義母と同居9人、5.8%）。同居の含め同じ町内に住んでいるのは、義父の場合20人（12.8%）で、義母の場合33人（21.2%）であった。



配偶者の仕事の有無については、93人（59.6%）が仕事に就いていると答えていて、60人（38.5%）が仕事に就いていないと答えている。男女ともに仕事に就いている比率のほうが高いのわかる。

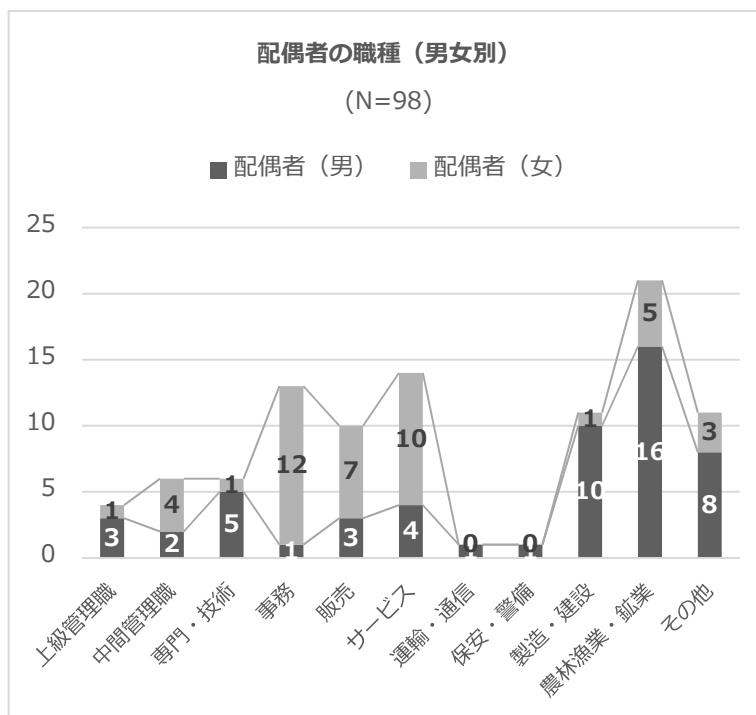


配偶者の職業については右図の通りである。自営業主が最も多く33人（34.0%）で、男性が女性の2倍近かった。次に多かったのが正規社員の24人（24.7%）で、こちらも男性の方が多かった。パートなどの非正規雇用の16人（16.5%）で、女性が圧倒的であったのが特徴的であった。

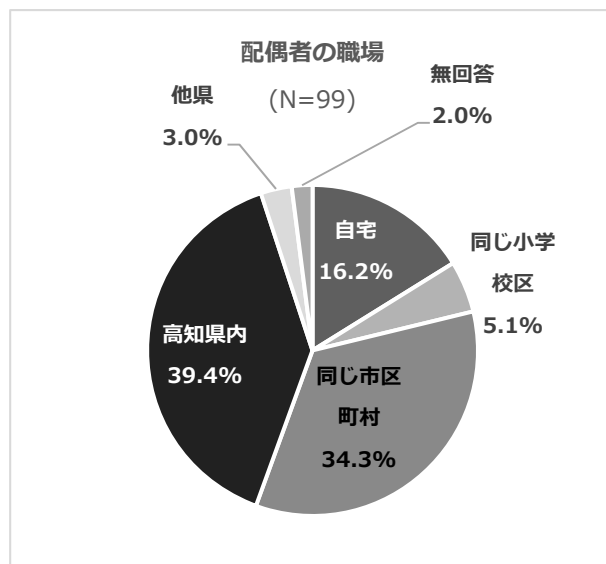


配偶者の職種については右図の通りである。最も多い職種は「農林漁業・鉱業」の21人（21.4%）で、その多くが男性であった。次に多かったのが「サービス」の14人（14.3%）、「事務」の13人（13.3%）であった。

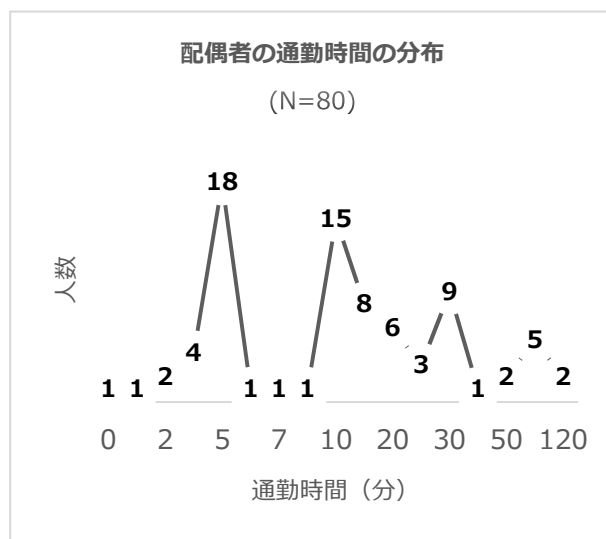
「事務」「販売」「サービス」においては女性が圧倒的に多かった。



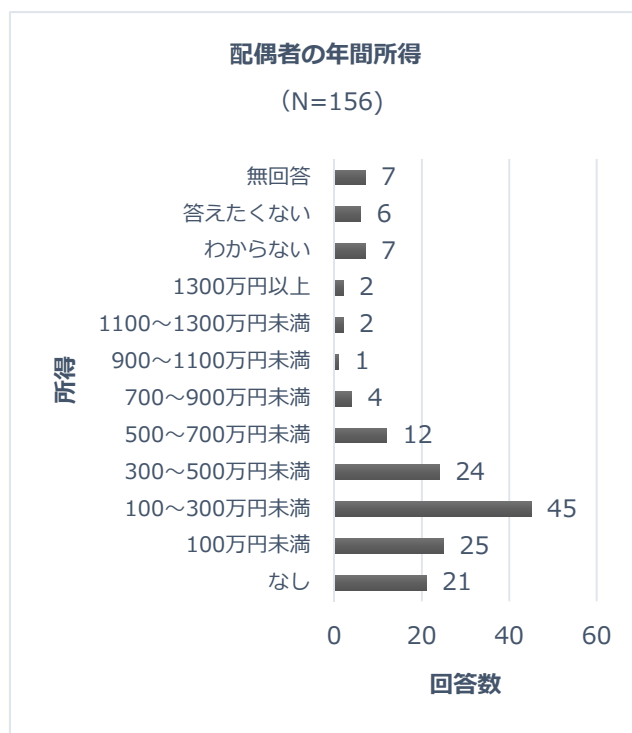
配偶者の職場について集計したものが右図である。自宅を含めた同町内に勤務している割合が6割弱（55.6%）で、町外で高知県内は約4割（39.4%）であった。



配偶者の平均通勤時間は 19.3 分 (SD=22.49) で、最短が 0 分、最長で 2 時間 (120 分) であった。



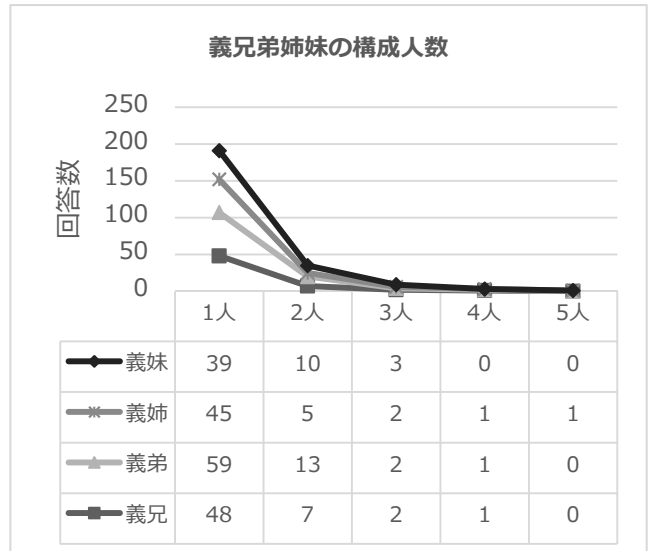
配偶者の年間所得についての集計は右図の通りである。最も多かったのが「100～300 万円未満」の 45 人 (28.8%) で、「100 万円未満」が 25 人 (16.0%)、「300～500 万円未満」が 24 人 (15.4%)、所得「なし」の 21 人 (13.5%) が続く。



配偶者の兄弟姉妹（つまり、義理の兄弟姉妹）についても質問している。調査時における義理の兄弟姉妹の集計値は右図の通りである。

義兄がいると答えたのは 58 人で、義兄の平均人数は 1.2 人（SD=0.60）で、最大 4 人、最小で 1 人であった（N=58）。義弟がいると答えたのは 75 人で、義弟の平均人数は 1.3 人（SD=0.58）で、最大 4 人、最小で 1 人であった（N=75）。

義姉がいると答えたのは 54 人で、義姉の平均人数は 1.3 人（SD=0.79）で、最大 5 人、最小で 1 人であった（N=54）。義妹がいると答えたのは 53 人で、義妹の平均人数は 1.3 人（SD=0.58）で、最大 3 人、最小で 1 人であった（N=52）。

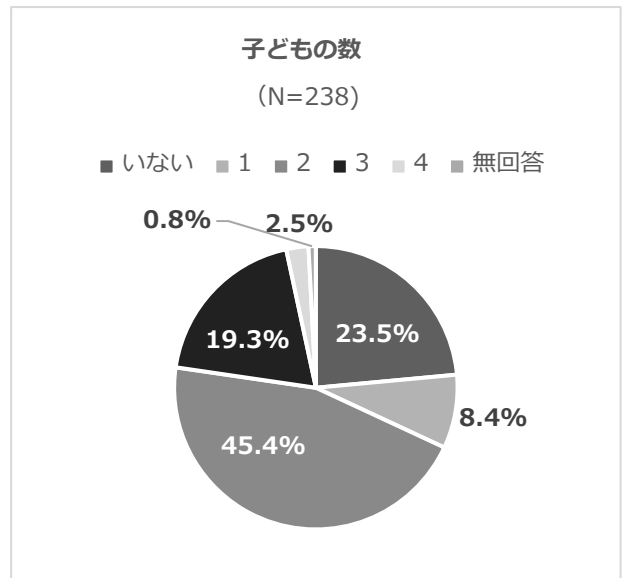


2. 7 子どもについて

子どもについて質問している。

子どもが「いない」と回答した人は 56 人（23.5%）、「1 人」と答えたのが 20 人（8.4%）、「2 人」は 108 人（45.4%）、「3 人」は 46 人（19.3%）、「4 人」は 6 人（2.5%）、「無回答」は 2 人（0.8%）であった。

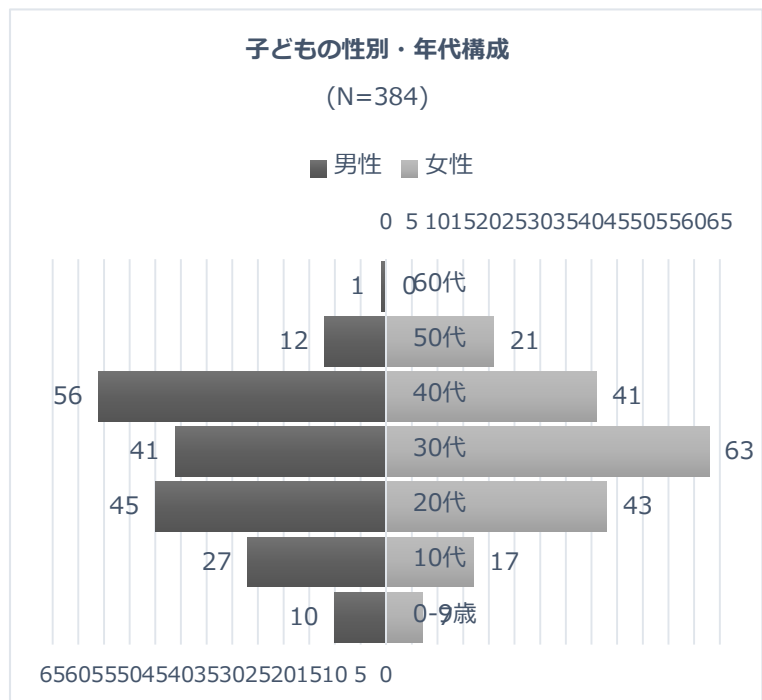
子どもがいると答えた回答者の子どもの平均人数は 2.2 人（SD=0.68）であった。

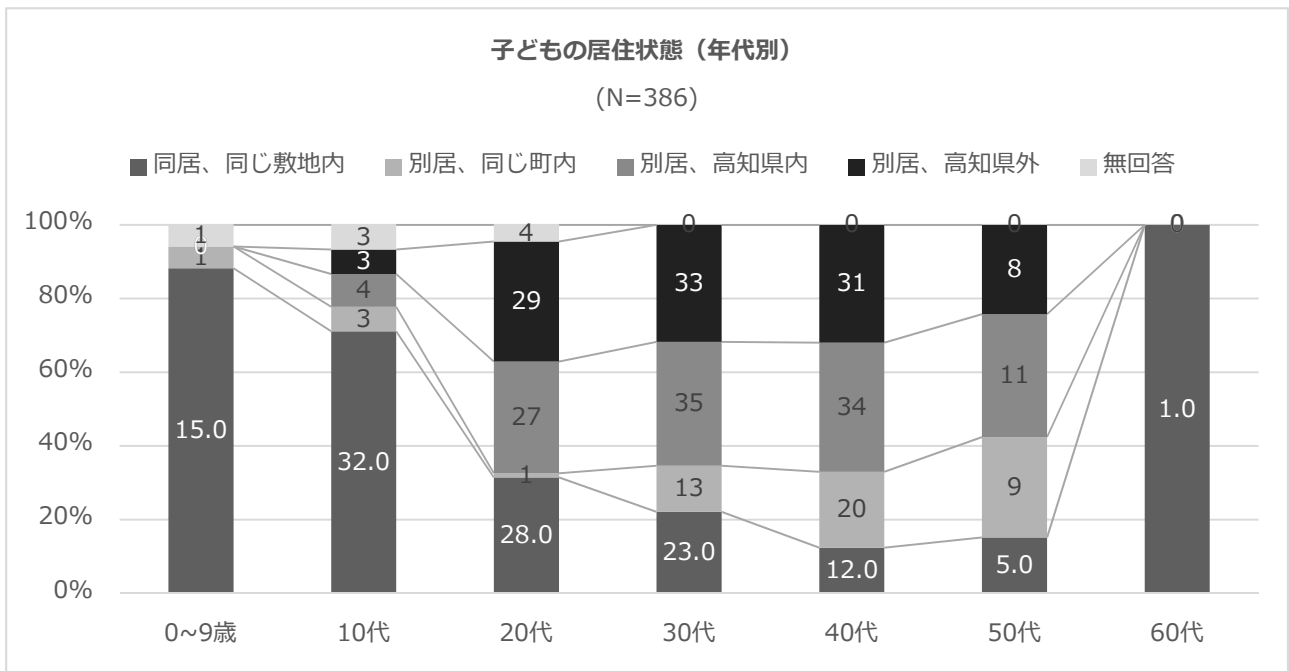


回答者の子どもの男女比構成比は、男子 192 人（50.0%）、女子 192 人（50.0%）と、同数であった。

回答者の子どもの平均年齢（N=386）は 32.7 歳（SD=12.73）で、最年少は 0 歳、最年長は 60 歳であった。

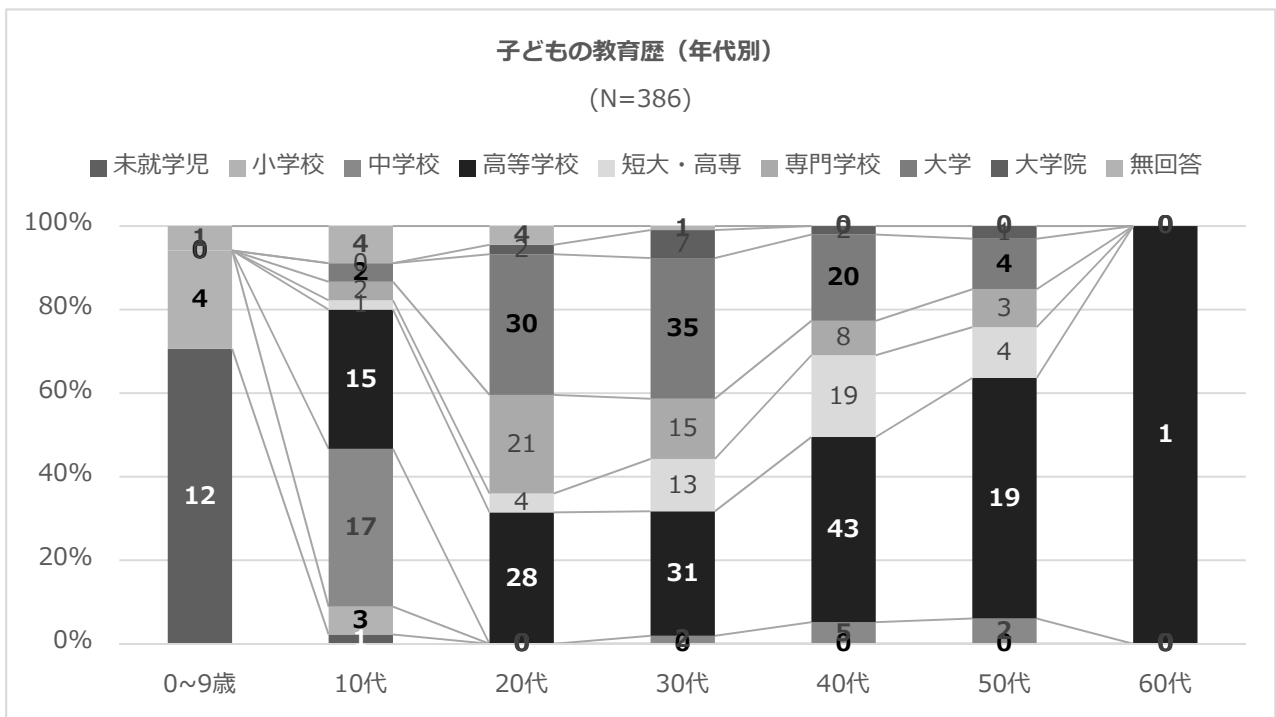
回答者の子どもの年代別では、30 代が最も多く、次に 40 代、20 代と続いているのがわかる。





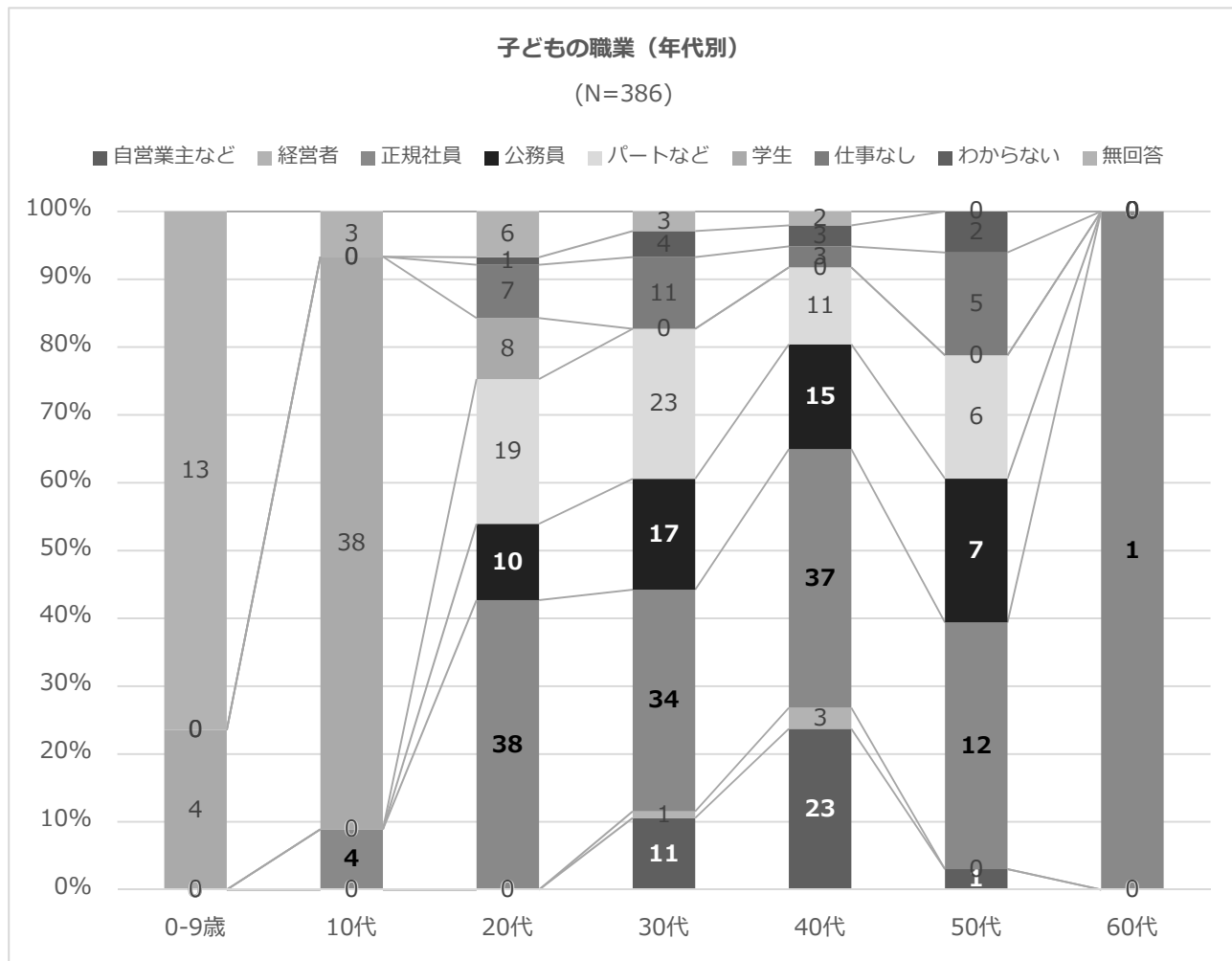
回答者の子どもの居住状況についても質問している。子どもとの同居率は10代までは非常に高く、20代以降は別居率が高くなっていく。子どもが別居していて同町内に住んでいる比率は低い、同居も含めた高知県内の在住は6割以上いるのがわかる。

子どもの教育歴（最後に通った学校）についても質問している。10代までは調査時にも「現役」として学校に通っていると推定される。20代から40代では「大学」進学者が共通して2～3割程度存在しているのがわかる。



回答者の子どもの職業についても質問している。

当然、10代までは学生などの身分のため、ほとんど全員仕事をしていない。20代以上でも一定の人数が「仕事をしていない」に該当するため、専業主婦が一定割合存在していると推測される。20代以上では正規雇用が最も多く、20代から50代まで4割程度が該当している。公務員比率も20代から50代まで10~20%程度である。自営業なども40代では2割強程度と多く、30代でも1割程度いる。

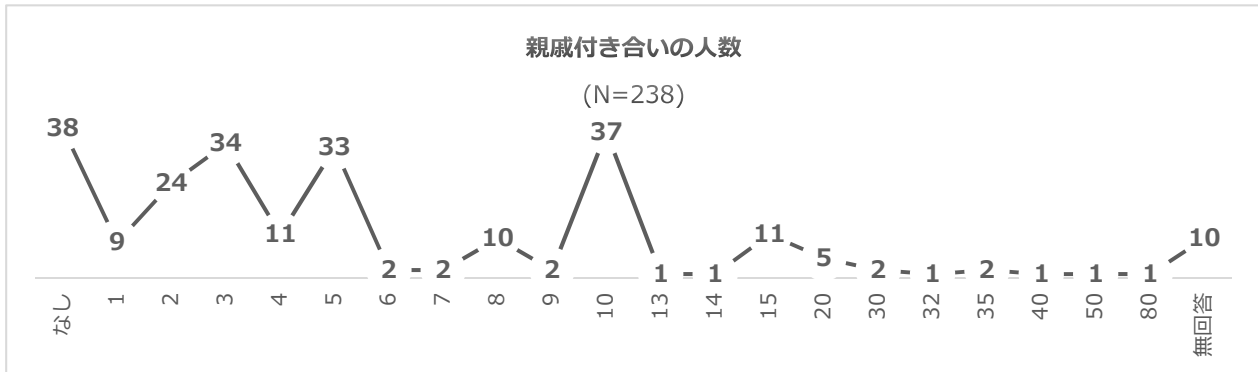


第3章 地元での付き合い

調査票では、日ごろから親しく付き合っている人たちについて質問している。

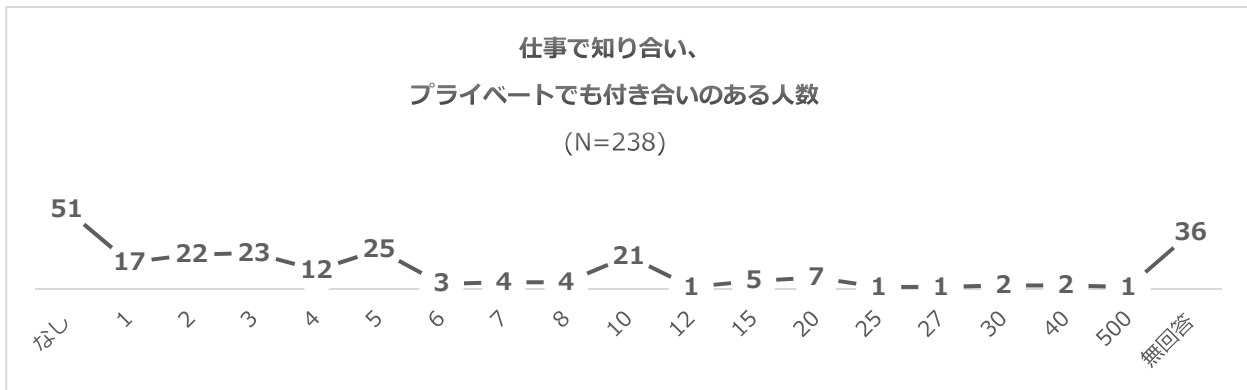
3. 1 親せき付き合い

回答者自身の家族（配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹）以外で、日常的に交流のある親せきの平均人数は6.5人（SD=8.66）であった。最小人数はゼロで、最大人数は80人であった（N=228）。



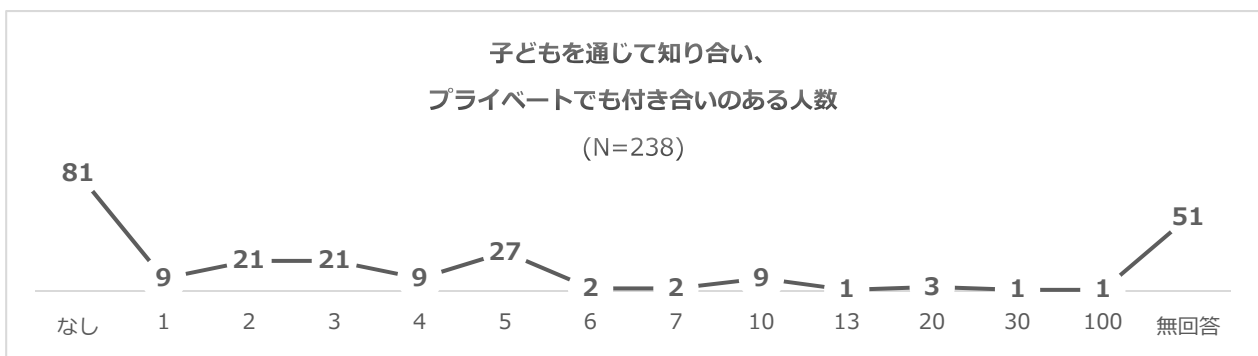
3. 2 仕事関係の付き合い

回答者が仕事関係で知り合い、プライベートでも親しくしている人たちの最小人数はゼロで、最大人数は50人であった。外れ値（500人）を除いた平均人数は5.0人（SD=6.76）であった（N=201）。



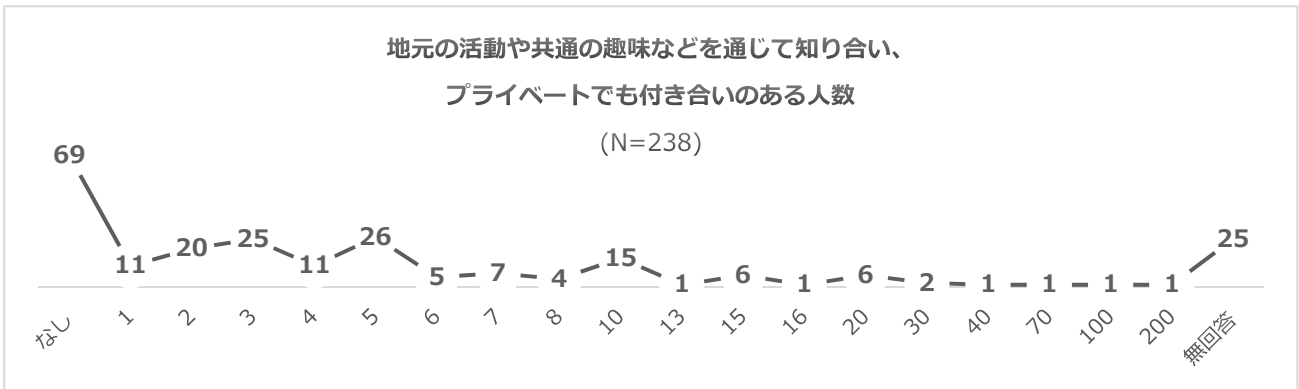
3. 3 子どもを通じた付き合い

回答者の子どもを通じて知り合い、プライベートでも親しくしている人たちの最小人数はゼロで、最大人数は100人であった。外れ値（100人）を除いた平均人数は2.7人（SD=4.08）であった（N=186）。



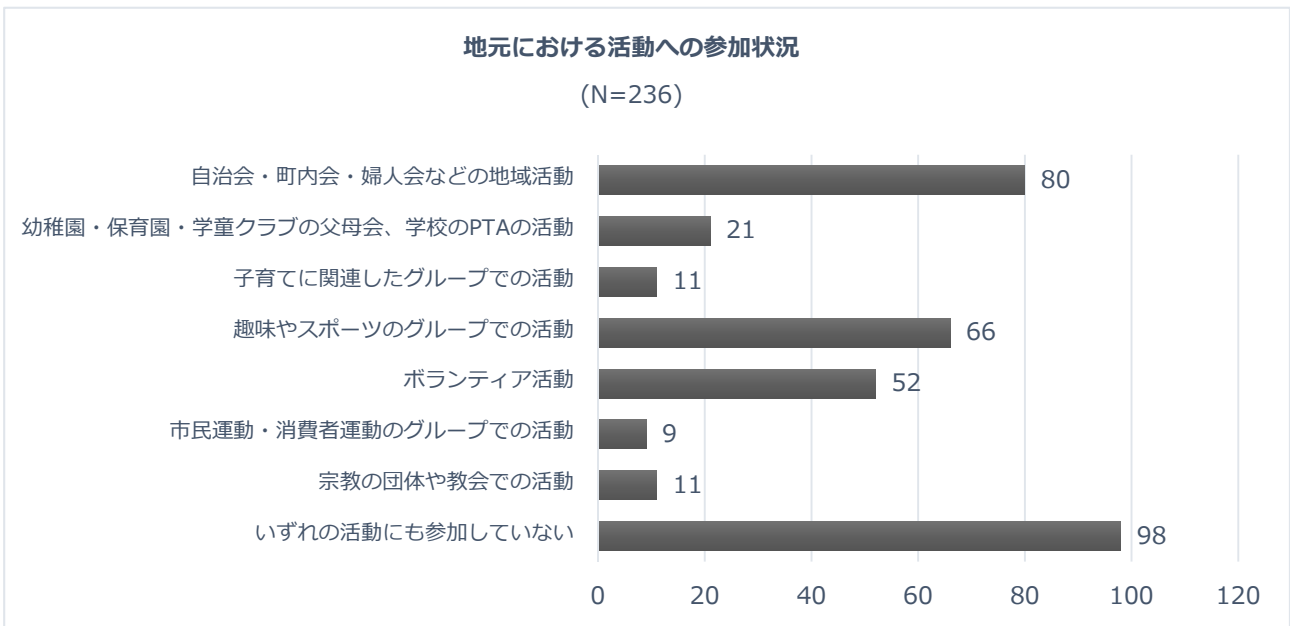
3. 4 地元や趣味の付き合い

回答者の地元の活動や共通の趣味などを通じて知り合い、プライベートでも親しくしている人たちの平均人数は6.0人 (SD=16.59) であった (N=213)。最小人数はゼロで、最大人数は200人であった。

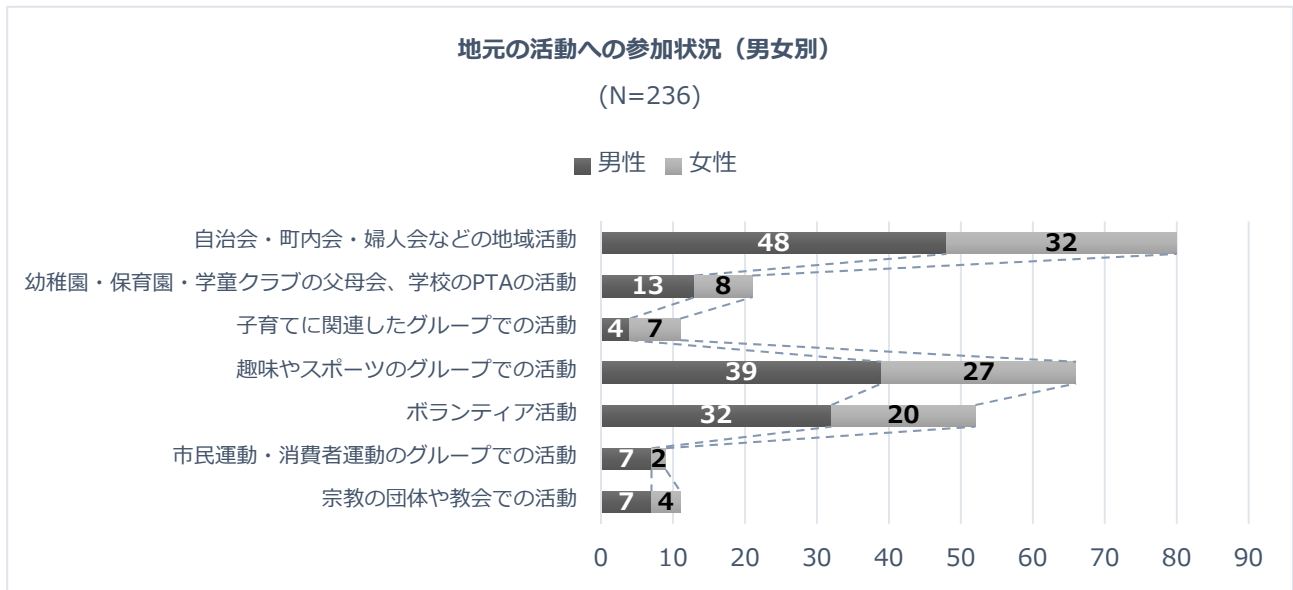


3. 5 地元における活動への参加状況

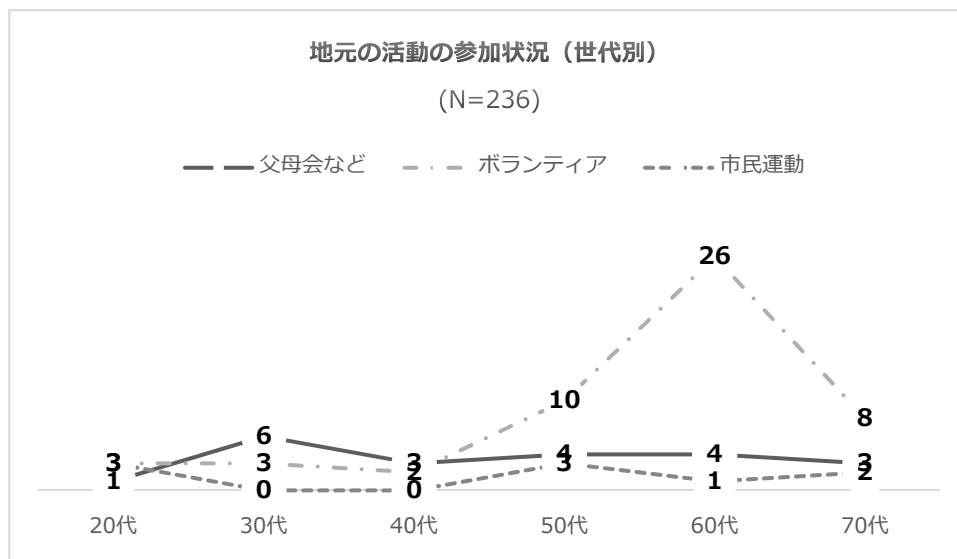
地元における7種類の活動への参加状況を尋ねた。最も参加しているのが自治会・町内会といった基礎的地縁団体への参加であった (80人、33.9%)。次に多かったのが趣味やスポーツの活動であり、66人 (28.0%) で、ボランティア活動が続く (52人、22.0%)。ただし、いずれの地元活動にも参加していないとの答えた98人 (41.5%) と多かったのも特徴的である。



地域の活動における男女差があるのか分析を試みた¹。結果的に、自治体などの活動、趣味やスポーツのグループ、ボランティア活動の3つにおいて、男性のほうが女性よりも多く参加していることが判明した。



地域の活動における世代間の差についても分析を試みた。年代別に地域の活動をみると「父母会・PTA など」「ボランティア」「市民運動」において統計的に有意な差が確認された。具体的には、「父母会・PTA など」では30代が60代・70代よりも多く活動に参加していた。「ボランティア」では60代が40代・50代・70代よりも多く活動に参加していた。「市民運動」では、20代がその他の世代よりも多く活動に参加していた²。



¹ 統計ソフト IBM SPSS Ver.22 を使用してカイ二乗検定を行った。自治体など ($\chi^2=7.635, df=1, p<.01$)、趣味などの会 ($\chi^2=7.635, df=1, p<.05$)、ボランティア活動 ($\chi^2=5.303, df=1, p<.05$) において統計的な関連性が見出された。調整済の残差を男女間で比較したところ、それぞれ3つの活動において男性のほうが女性よりも多く参加していることが判明した。

² 統計ソフト IBM SPSS Ver.22 を使用してノンパラメトリック法の Kruskal Wallis 検定（一元配置の分散分析）を行い、多重比較をした結果である。

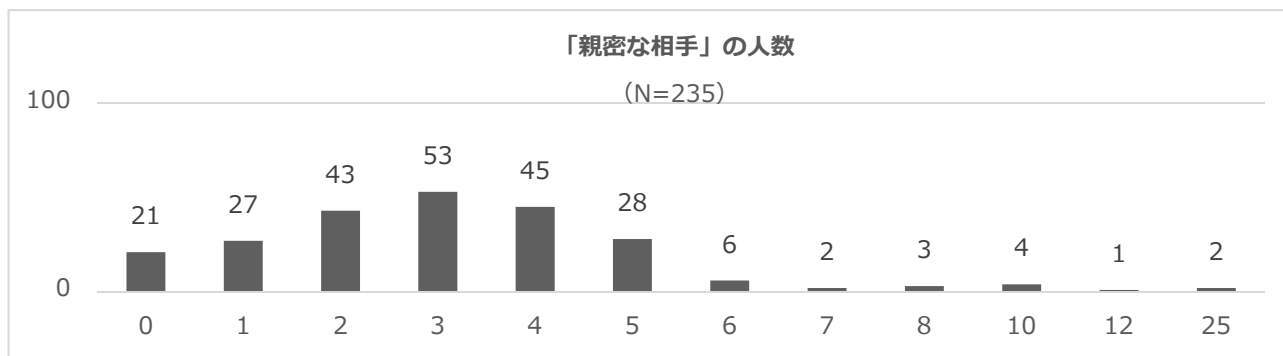
第4章 親しい関係の社会ネットワーク

調査票では、回答者がよく話をする人たちのなかで、重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちについて質問している。

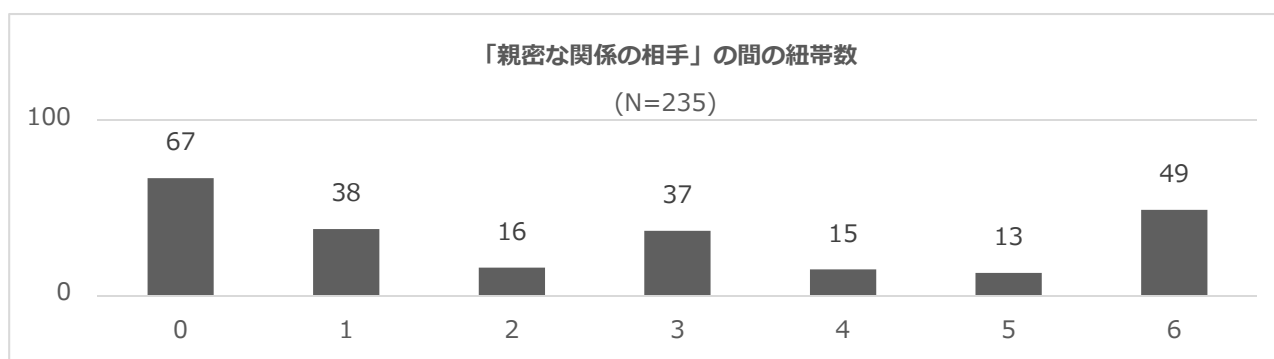
4.1 「親密な関係の相手」とのつながり

日頃からよく接していて、重要なことを話したり、悩みを相談したりする「親密な関係の相手」の人数について質問している。人数は自由回答であり、最小人数はゼロで、最大人数は25人であった。

「親密な関係の相手」がいない（“孤立者”）と回答したのが21人いた。集計の結果、「親密な関係の相手」の平均値は3.3人（SD=2.84）で、中央値は3人であった。

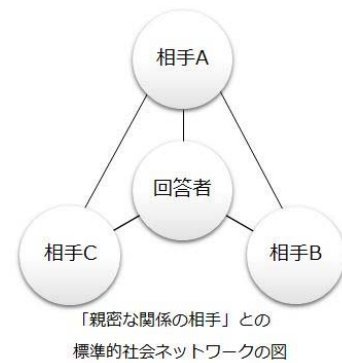


次に、回答者が提示した「親密な関係の相手」の間の紐帯（“つながり”のこと）の数についてみていく。調査票では、重要なことを話したり、悩みを相談したりする相手を4人まで挙げてもらい、これらの相手についての特徴や関係性を記述してもらっている。紐帯数が多いほど、お互いが知合い同士であることを意味する（例えばA氏がB氏とC氏と友人であり、尚且つ、B氏とC氏も友人である、という関係は、ABCの全員がお互いにつながりあっている状態となる）。本調査では4人を上限として質問しているため、回答者と「親密な関係の相手」との紐帯を除いた、「相手」同士のみの紐帯の最大数は6である。



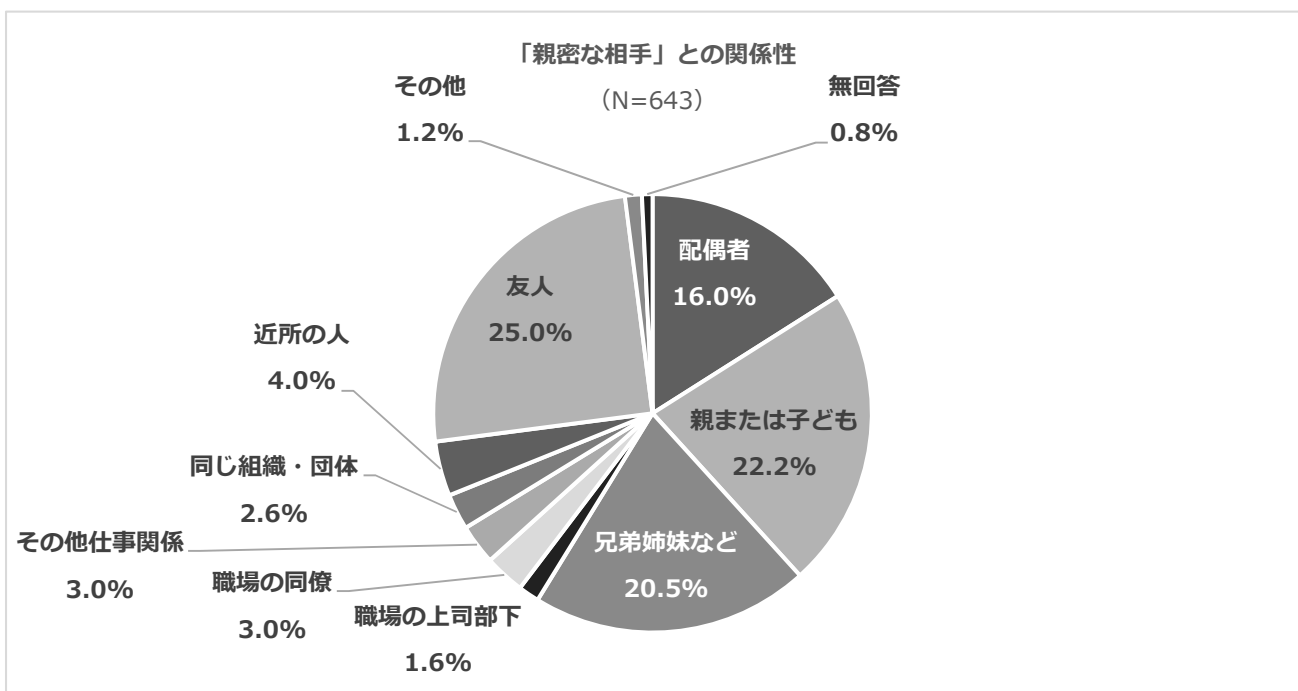
集計の結果、「親密な関係の相手」の間の紐帯数の平均値は2.55（SD=2.30）で、中央値は紐帯2であった。また、相手同士が全く“つながっていない”（つまり紐帯数0）の該当者が67人（28.5%）と最も多く（ただし、ここには相手を全く指名していない“孤立者”21人が含まれる）、次に最大数の6（49人、20.9%）が続く。4人の人物の間で紐帯が6つということは、4人全員がお互いに知合い同士であることを意味する。

「親密な関係の相手」の数と紐帯の中央値による標準的な社会ネットワーク構成は右図のようになる。中心となる回答者自身は他の3人とつながり、相手の3人の間に2つの紐帯がある（図であれば「相手B」－「相手C」のみ知合いでない）。



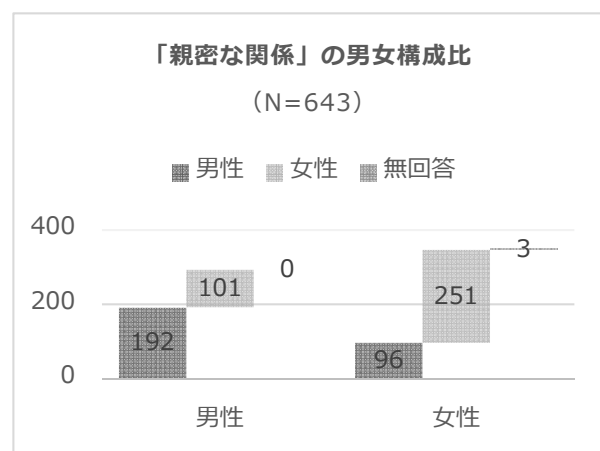
4. 2 「親密な関係の相手」との関係性

重要なことを相談できる親しい相手には、親類（配偶者や親・子ども、兄弟などを含む）が 58.8% と最も多く、次に友人の 25.0%、仕事関係者の 7.5%、近所の人 の 2.8% と続く。



4. 3 男女構成

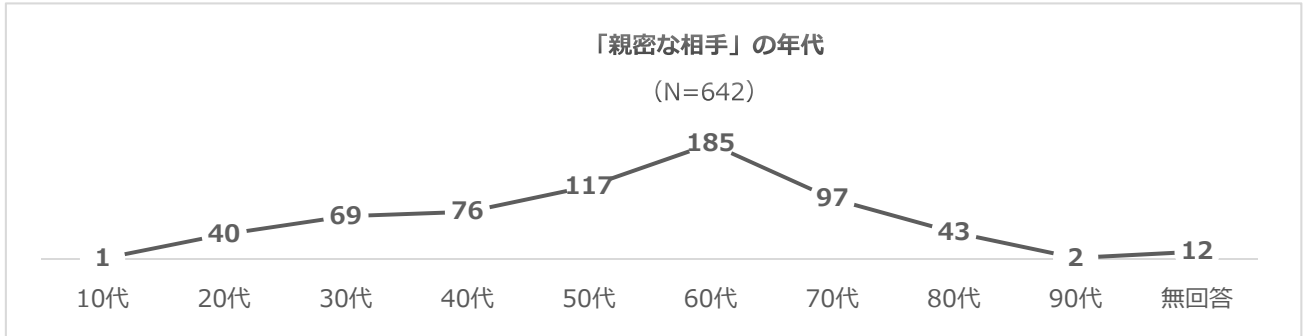
重要な相談事をするほど親密な相手には、同性を選ぶ傾向があった¹。男性の同性率は 65.6%、女性の同性率は 72.3% と、特に女性にその傾向が強く表れている。



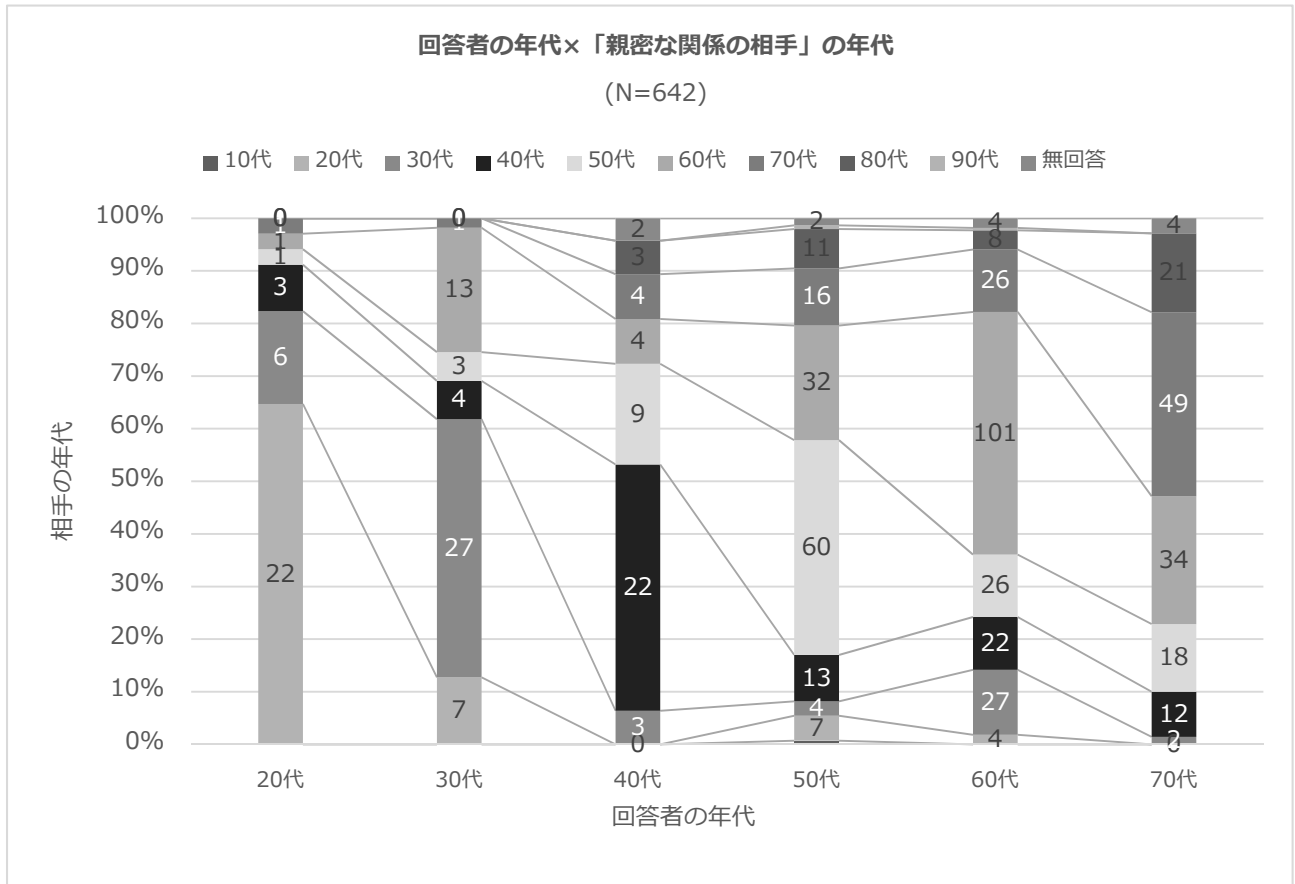
¹ 統計的にも χ^2 検定の結果、同性を選ぶ傾向が有意 ($\chi^2=92.019, df=1, p<.001$) であった。

4. 4 年代構成

「親密な関係の相手」の平均年齢は 56.8 歳 (SD=15.99) であった。年代別に整理してみると、60 代の 185 人 (28.8%) を筆頭に、50 代の 117 人 (18.2%)、70 代の 97 人 (15.1%) と続き、壮年層から高齢層に多いことがわかる。



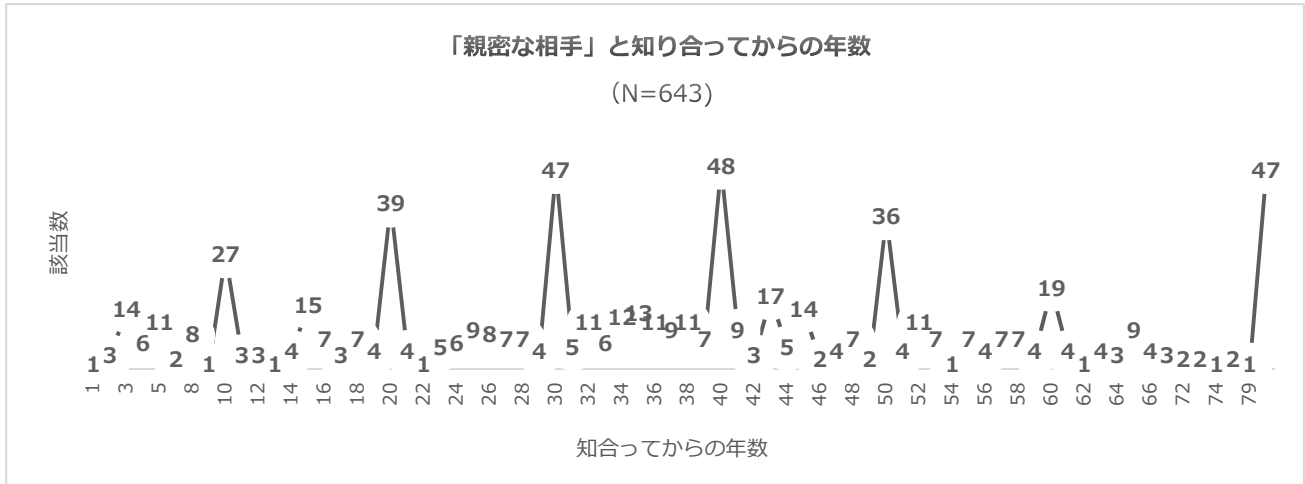
回答者の年代と「親密な相手」の年代との関係性を分析した。「回答者の年代×親密な相手の年代」との間に統計的に有意な関係性が確認されている²。またグラフからも、同世代の相手が最も多いことがわかる。



² カイ二乗検定の結果、統計的に有意な関係性があった ($\chi^2=542.835, df=45, p < .001$)。

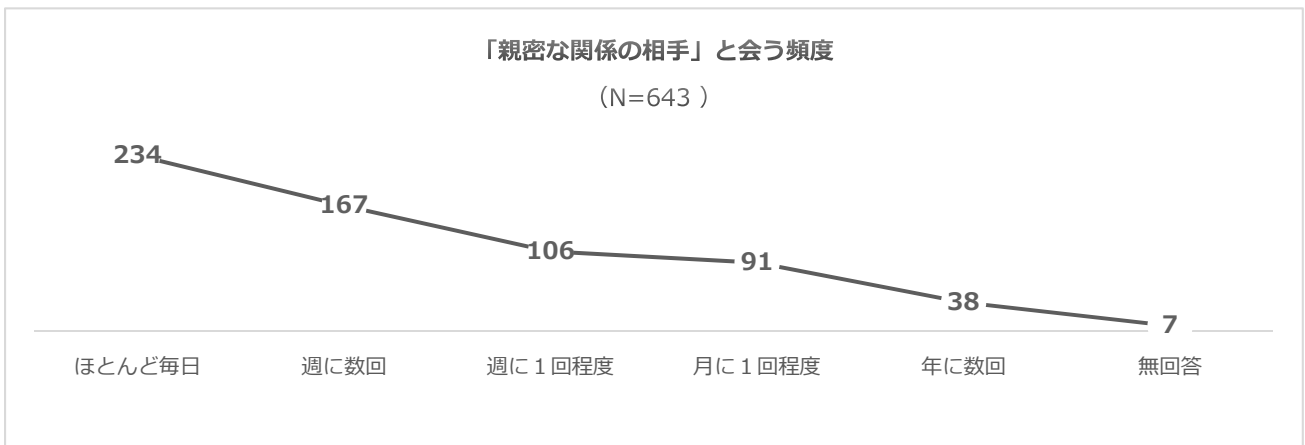
4. 5 知り合ってから年数

重要な事柄を相談するほど親密な相手との知合ってから年数について質問している。「親密な相手」との付き合いの長さの平均年数は34.5年 (SD=17.24) で、最短が1年、最長が79年であった。相手の年齢が高いほど、長い付き合いをしている³。また、回答者の年齢が高いほど、長いつきあいの「相手」がいることになる⁴。



4. 6 相手と会う頻度

「親密な関係の相手」と直接会う頻度について質問している。「親密な相手」の234人 (36.4%) とはほぼ毎日会っていて、167人 (26.0%) とは週に数回はあっているなど、「親密な相手」とは頻繁に接触していることがわかる。これは「親密な相手」の多くが家族や職場の人間であるため、ほぼ毎日のように会うことにつながっているようである。また、友人とも高い比率で「ほぼ毎日」「週に数回」程度は会っているようである。

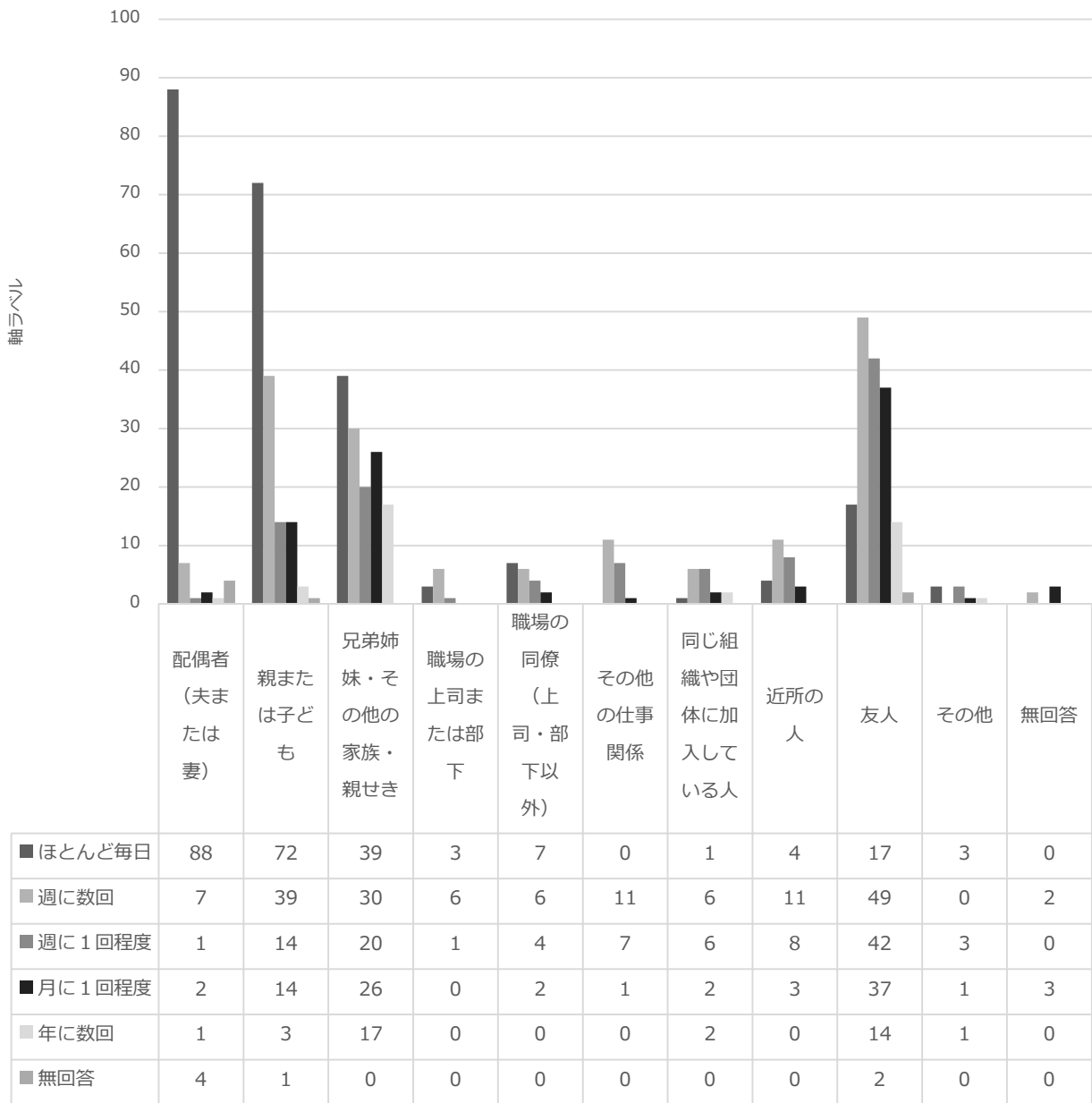


³ 相手と知合ってから年数は、相手の年齢と正の相関を示している ($r = .537, p < .001$)。

⁴ 相手と知合ってから年数は、回答者の年齢とも正の相関を示している ($r = .510, p < .001$)。

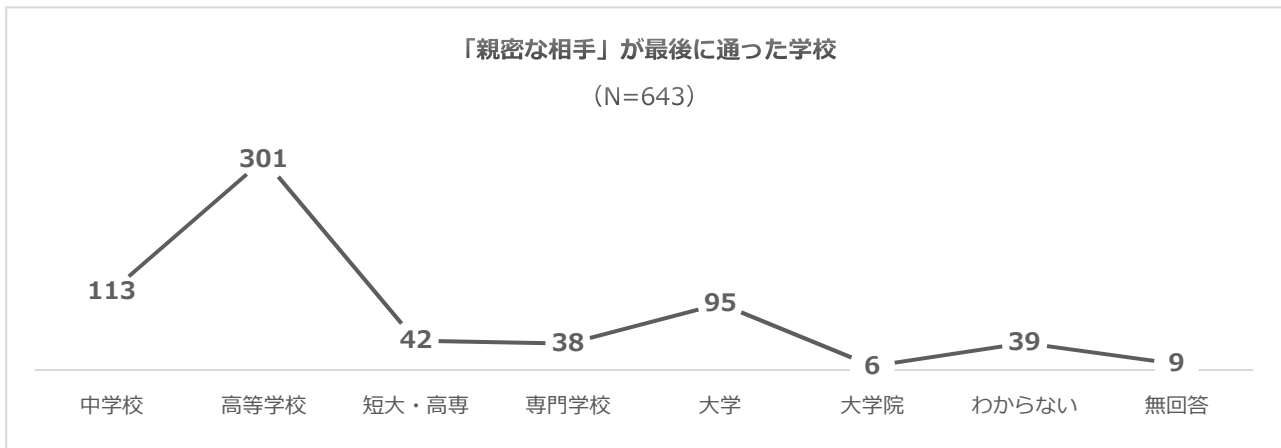
「関係性」×「会う頻度」

(N=643)



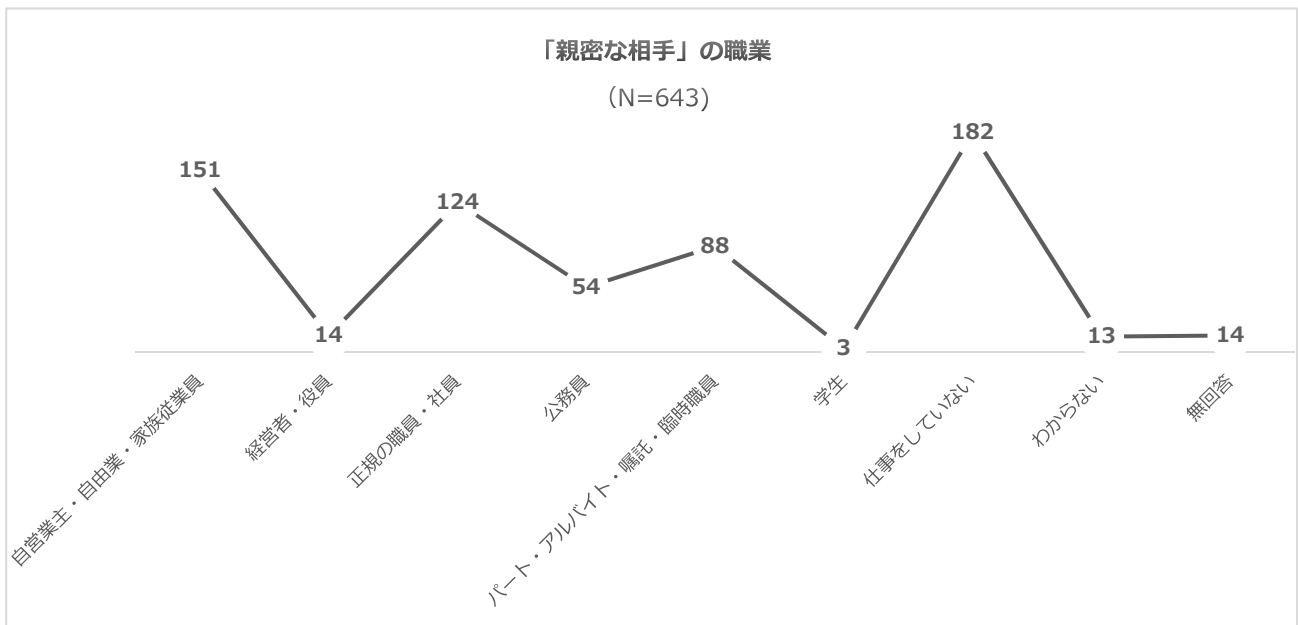
4. 7 教育歴

「親密な関係の相手」が最後に通った学校について質問している。結果として、高等学校が 301 人 (46.8%) で最も多く、中学校の 113 人 (17.6%) が続く。時代背景からも、年代が高くなるほど中学校・高等学校が増える傾向がみられる⁵。一方、若い世代ほど高学歴になる傾向にあるが、高齢者層が多いため、全体としては高等学校や中学校が多い結果となったと考えられる。

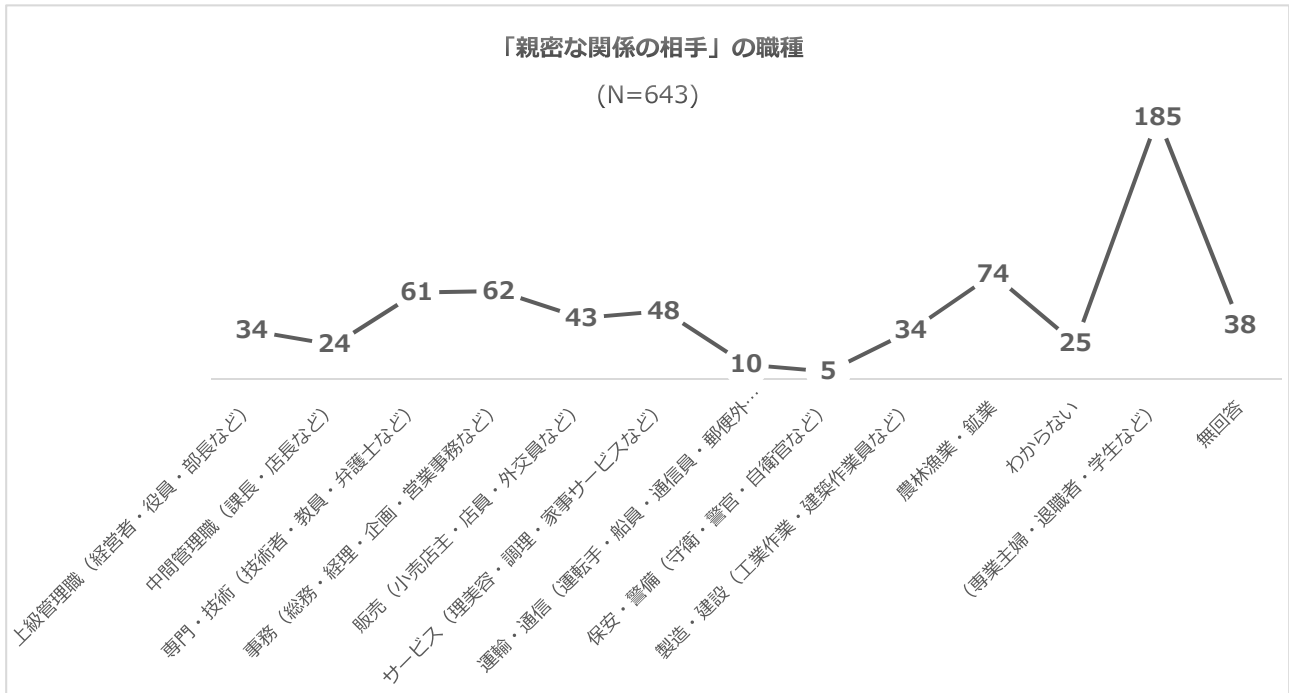


4. 8 職業・職種

「親密な関係の相手」が「仕事をしていない」が 182 人 (28.3%) と最も多かった。これは、「親密な関係の相手」に専業主婦や退職者が多いと推測される。

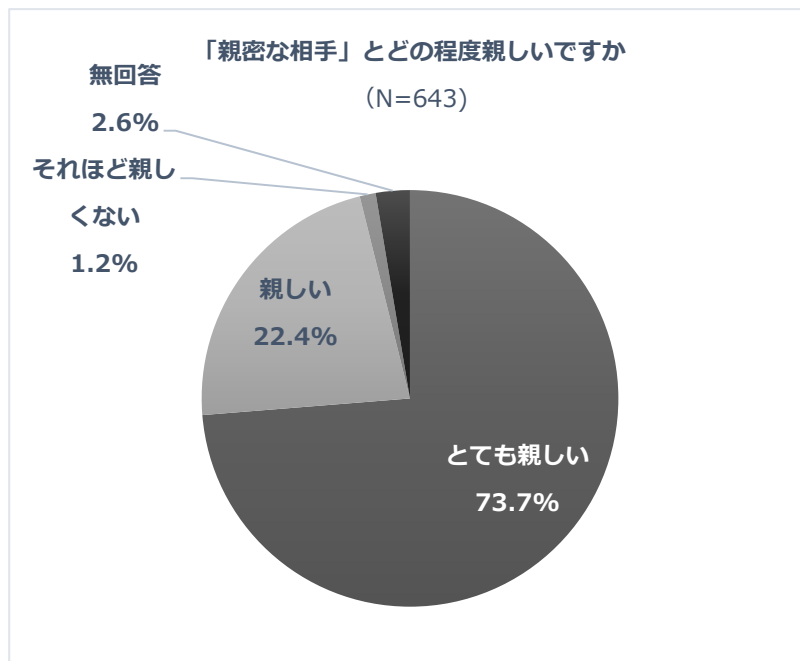


⁵ 年齢と教育歴との間には負の相関 ($r = -.470, p < .001$) が確認できる。

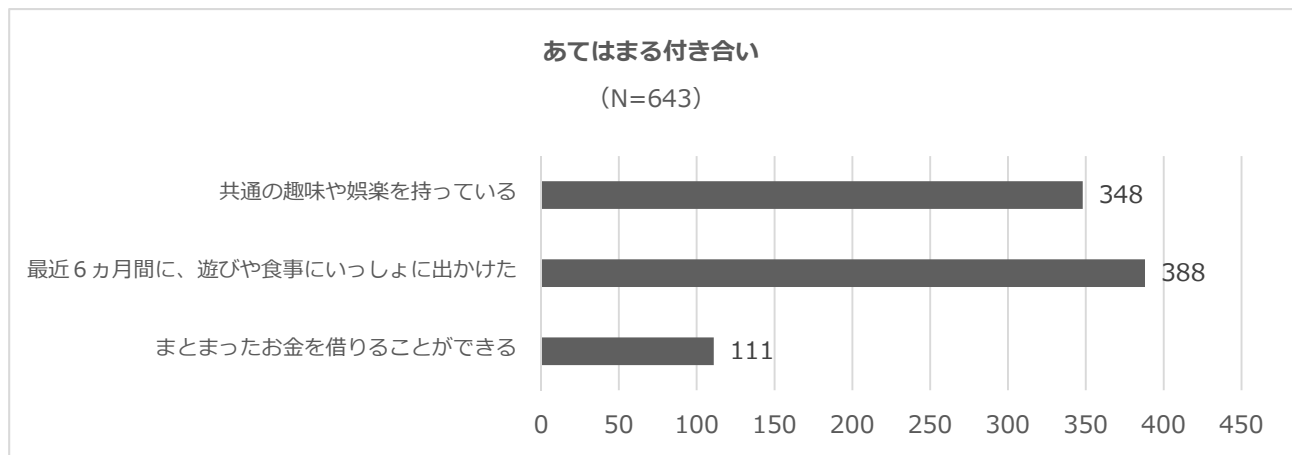


4.9 付き合いのかたち

重要な事柄を相談したりする相手との「親密度」について3段階で評価してもらった。重要な事柄を相談するほど「親密な関係の相手」であるが、2.6%は「それほど親しくない」と評価している。



「親密な関係の相手」と具体的にどのような「付き合い」をしているのか、「共通の趣味や娯楽を持っている」、「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」、「まとまったお金を借りることができる」の三つの選択肢から該当するものを選んでもらっている（複数回答）。「共通の趣味や娯楽を持っている」（348人、54.1%）と「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」（388人、60.3%）は過半数が当てはまる相手であった。しかしながら、大きな信用が関わる「まとまったお金を借りることができる」（111人、17.3%）は2割弱程度の相手に限定されていた。実際に「まとまったお金を借りることができる」相手は、家族や友人に限定され、仕事関係ではごく少人数が、近所の人には全く含まれていなかった。

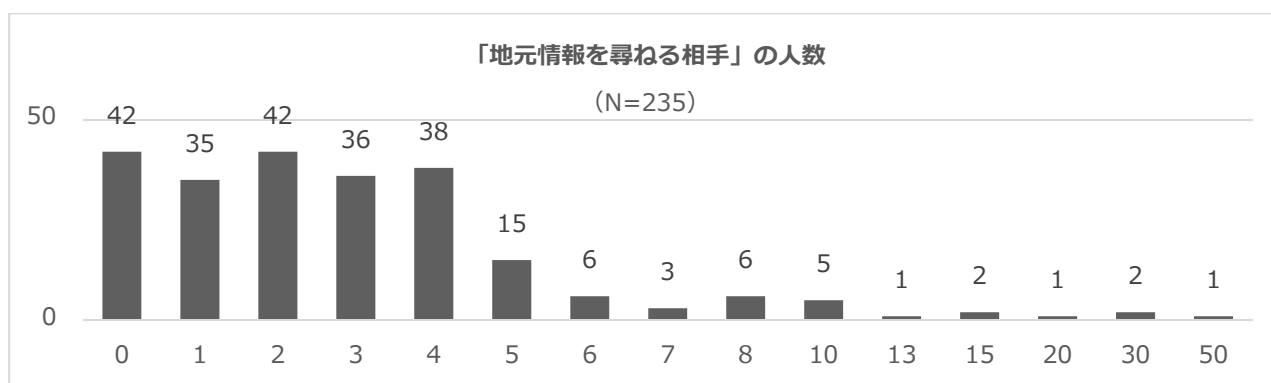


第5章 地元情報を尋ねる関係の社会ネットワーク

調査票では、回答者が地元・奈半利町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこそこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについて質問している（「地元情報を尋ねる相手」）。

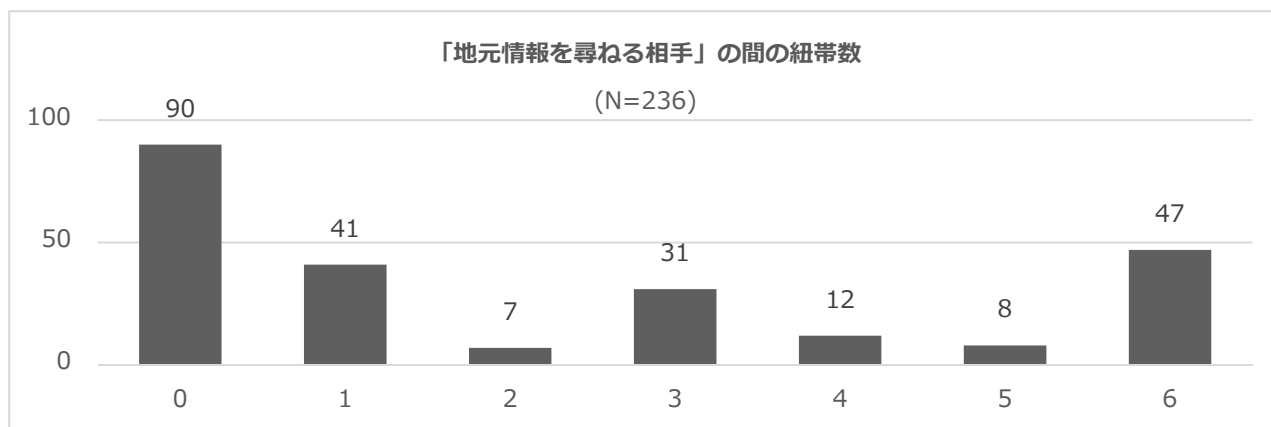
5.1 「地元情報を尋ねる相手」とのつながり

回答者が地元・奈半利町の詳しい情報を知りたい場合に尋ねる相手の人数について質問している。人数は自由回答であり、最小人数ゼロから最大人数50人であった。「地元情報を尋ねる相手」がいない（“孤立者”）と回答したのが42人（17.9%）いた。集計の結果、「地元情報を尋ねる相手」の平均値は3.3人（SD=4.84）で、中央値は2人であった。

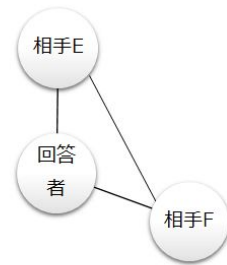


次に、回答者が提示した「地元情報を尋ねる相手」の間の紐帯の数についてみていく。調査票では、地元・奈半利町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこそこに新しいお店が開店したのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする相手を4人まで挙げてもらい、これらの相手についての特徴や関係性を記述してもらっている。本調査では4人を上限として質問しているため、回答者と「地元情報を尋ねる相手」との紐帯を除いた、「相手」同士のみの紐帯の最大数は6である。

集計の結果、「地元情報を尋ねる相手」の間の紐帯数の平均値は2.19（SD=2.35）で、中央値は紐帯1であった。また、相手同士が全く“つながっていない”（つまり紐帯数0）の該当者が90人（38.1%）と最も多く（ただし、ここには相手を全く指名していない“孤立者”42人が含まれる）、次に最大数の6（47人、19.9%）が続いた。



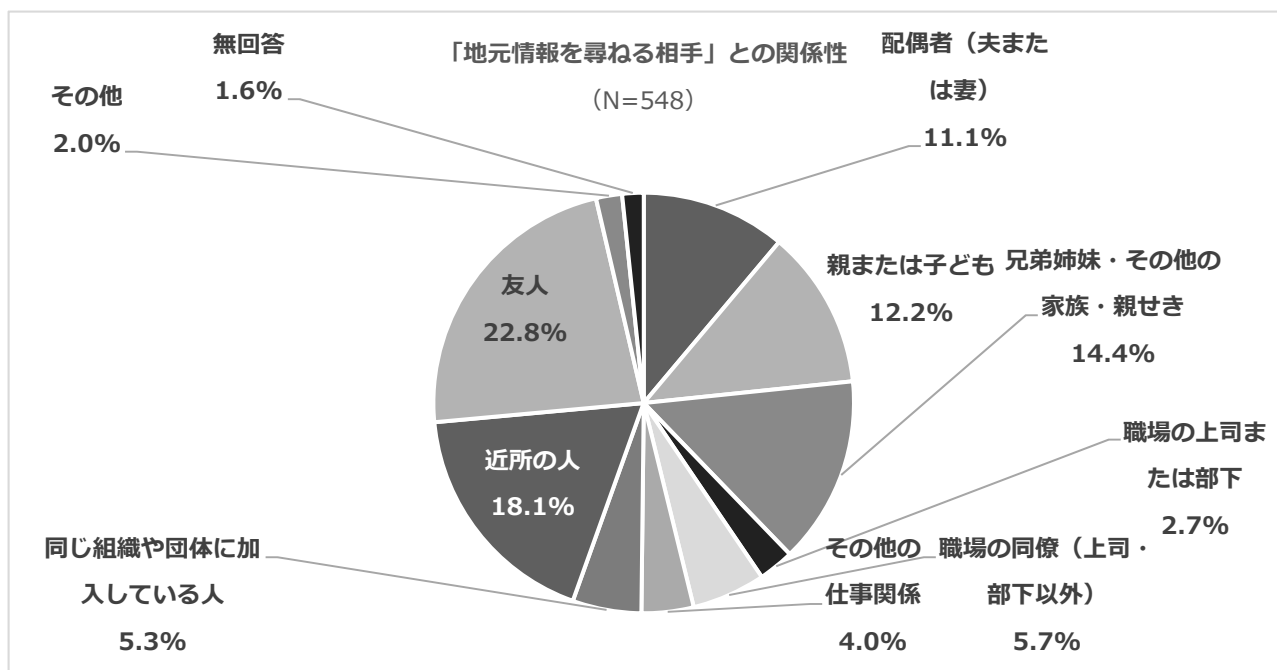
「地元情報を尋ねる相手」の数と紐帯の中央値による標準的な社会ネットワーク構成は右図のようになる。中心となる回答者自身は他の2人とつながり、相手の2人の間に1つの紐帯がある（図であれば「相手E」－「相手F」が知合いである状態）。



「地元情報を尋ねる相手」との標準的な社会ネットワークの図

5.2 「地元情報を尋ねる相手」との関係性

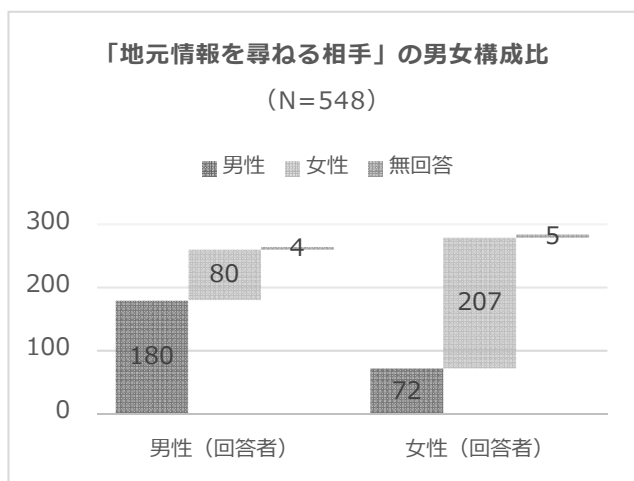
地元の情報について尋ねる相手との関係性について質問している。圧倒的に多かったのが「友人」(125人、22.8%)であった。次に多かったのが「近所の人」(99人、18.1%)で、配偶者や親・子以外



の「家族・親せき」(79人、14.4%)が続く。

5.3 男女構成

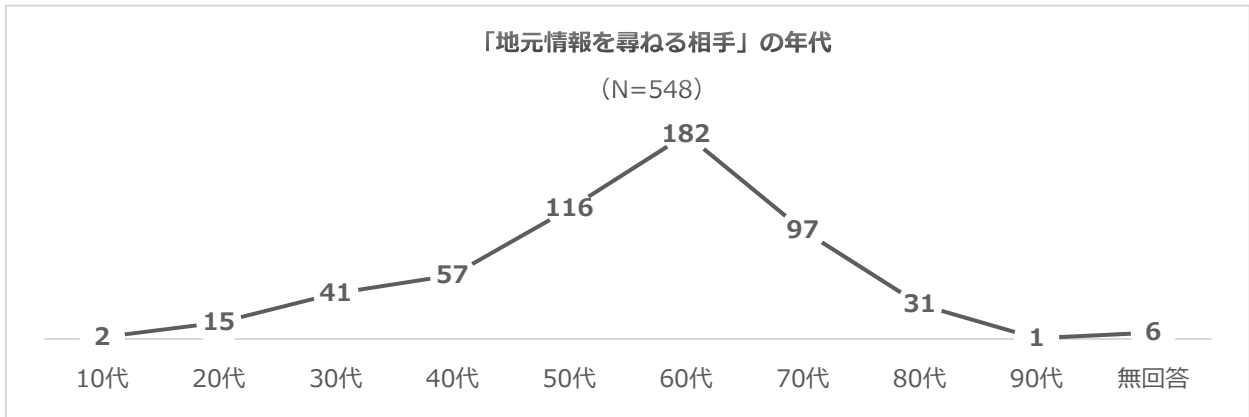
「地元情報を尋ねる相手」には、同性を選ぶ傾向がより強くあった¹。男性の同性率は68.2%、女性の同性率は72.9%と、特に女性にその傾向が強く表れている。



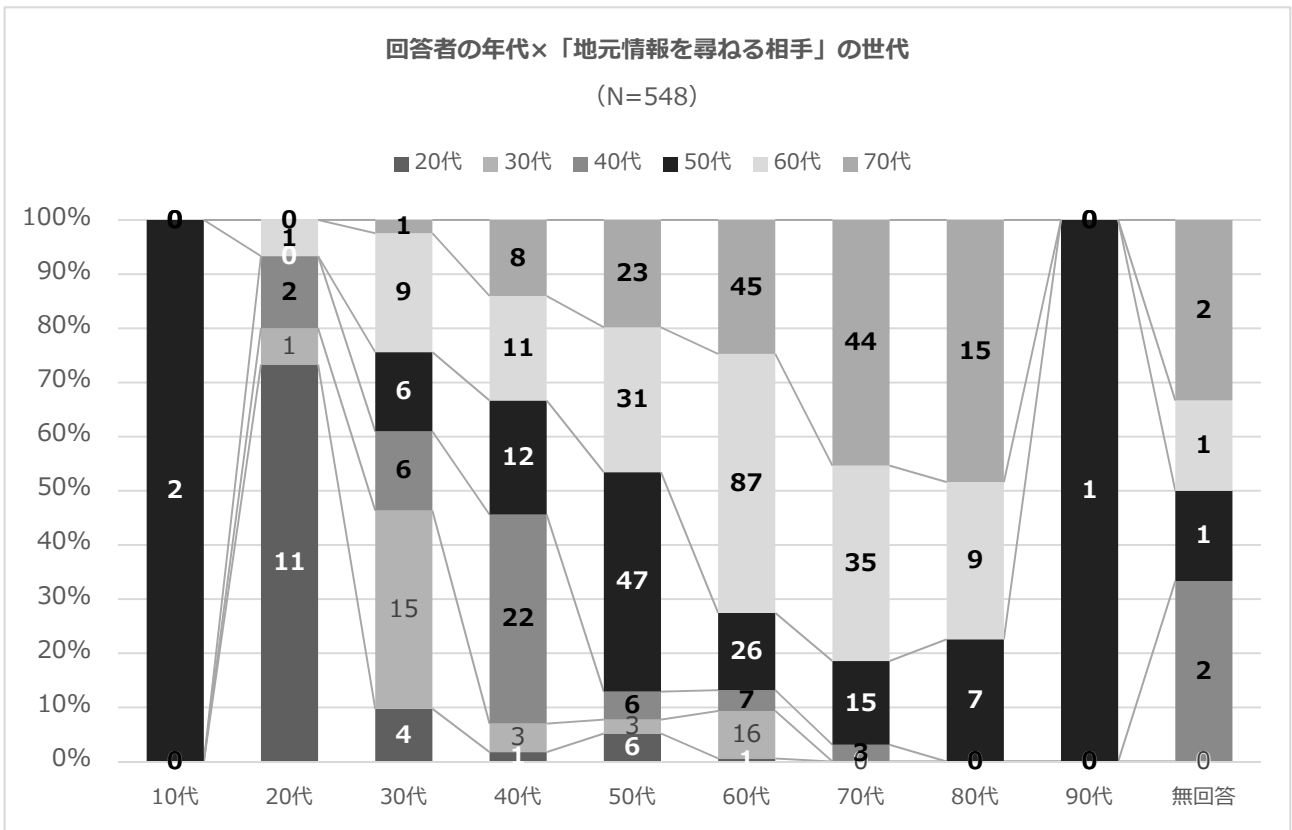
¹ 統計的にもカイ二乗検定の結果、同性を選ぶ傾向が有意 ($\chi^2=102.00, df=2, p<.001$) であった。

5. 4 年代構成

「地元情報を尋ねる相手」の平均年齢は 58.9 歳 (SD=13.97) であった。「地元情報を尋ねる相手」を年代別に集計すると下図のようになる。50 代から 70 代にかけて構成が多いのがわかる。



回答者の年代と「親密な相手」の年代との関係性を分析した。「回答者の年代×親密な相手の年代」との間に統計的に有意な関係性が確認されている²。またグラフからも、同世代の相手が最も多いことがわかる。

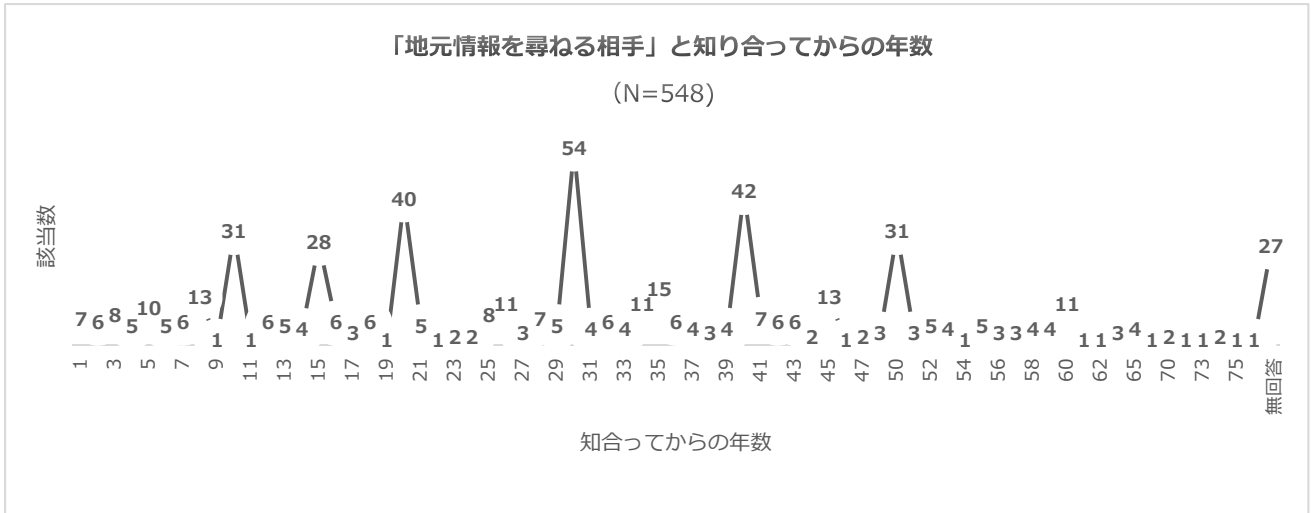


² カイ二乗検定の結果、統計的に有意な関係性があった ($\chi^2=430.554, df=45, p < .001$)。

5. 5 知り合ってから年数

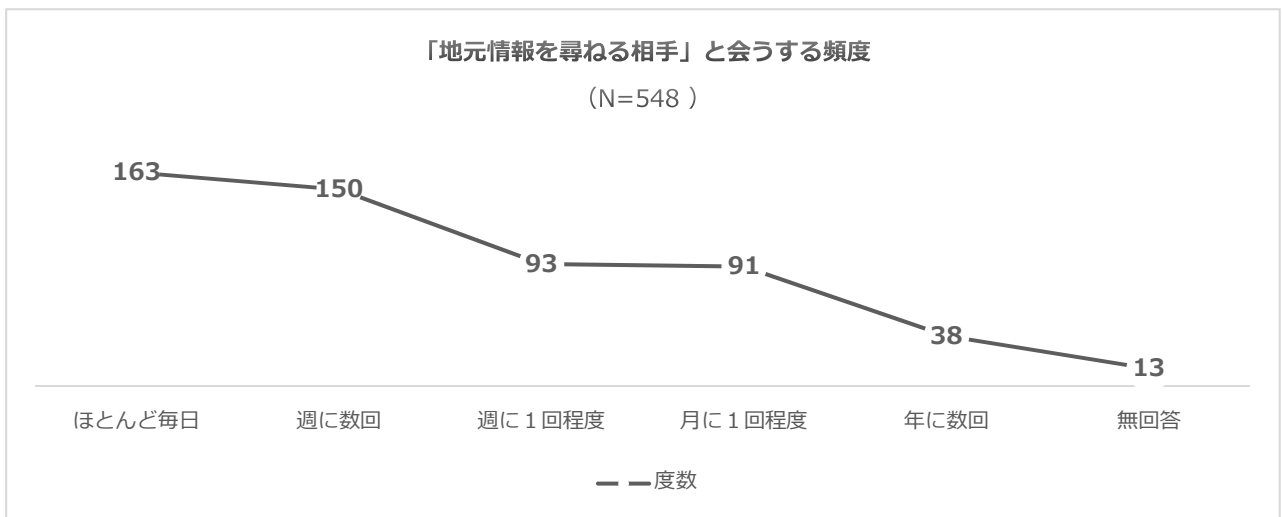
「地元情報を尋ねる」相手と知り合ってからのおよその年数を質問している。20年、30年、40年、50年など区切りの良い年数が多く選択されている。

「地元情報を尋ねる相手」との付き合いの長さの平均年数は30.1年 (SD=17.14) で、最短が1年、最長が79年であった。相手の年齢が高いほど、長い付き合いであり、回答者の年齢が高いほど、相手と長い付き合いであることもわかっている³。



5. 6 相手と会う頻度

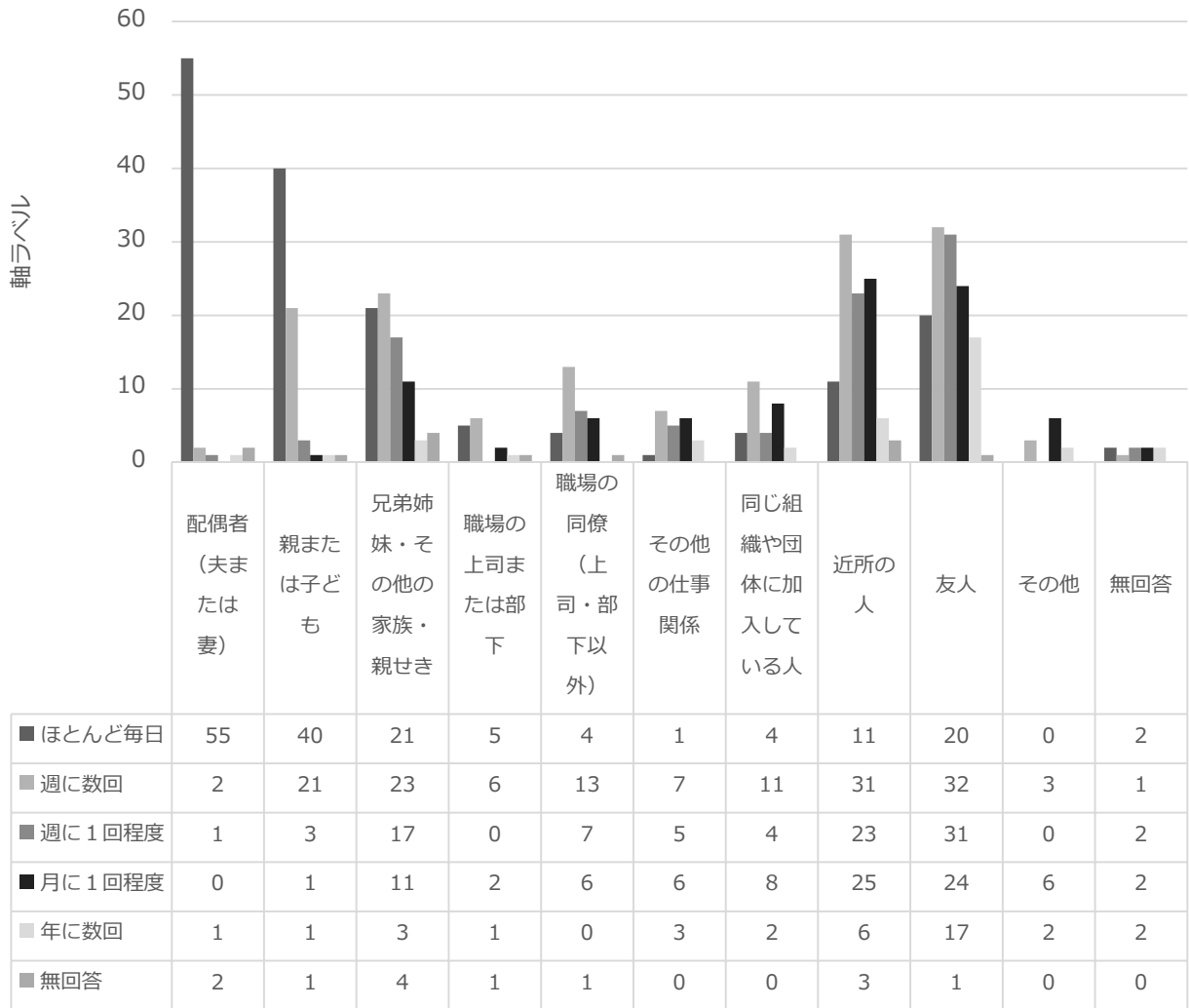
「地元情報を尋ねる相手」の163人 (29.7%) とはほぼ毎日会っていて、150人 (27.4%) とは週に数回は会っているなど、「親密な関係の相手」ほどではないが、「地元情報を尋ねる相手」と頻繁に接触していることがわかる。「地元情報を尋ねる相手」の中で構成比の高い「友人」や「近所の人」とも、多くが「ほとんど毎日」「週に数回」会っている。家族とは当然「ほとんど毎日」会うことが多いため、全体として「ほとんど毎日」会っている人の比率が高くなっていると考えられる。



³ 相手と知合ってから年数は、相手の年齢と弱い正の相関を示している ($r = .335, p < .001$)。また、回答者の年齢とも弱い正の相関を示している ($r = .358, p < .001$)。

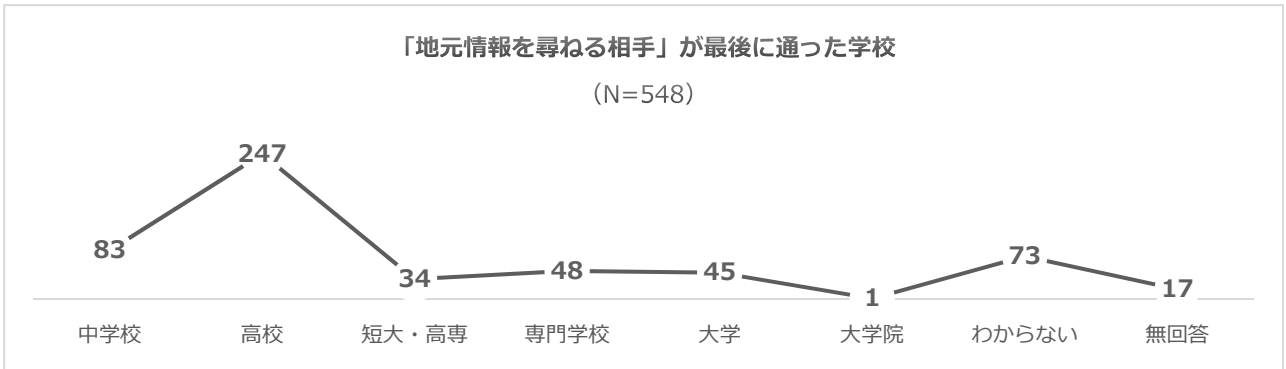
「関係性」×「会う頻度」

(N=548)



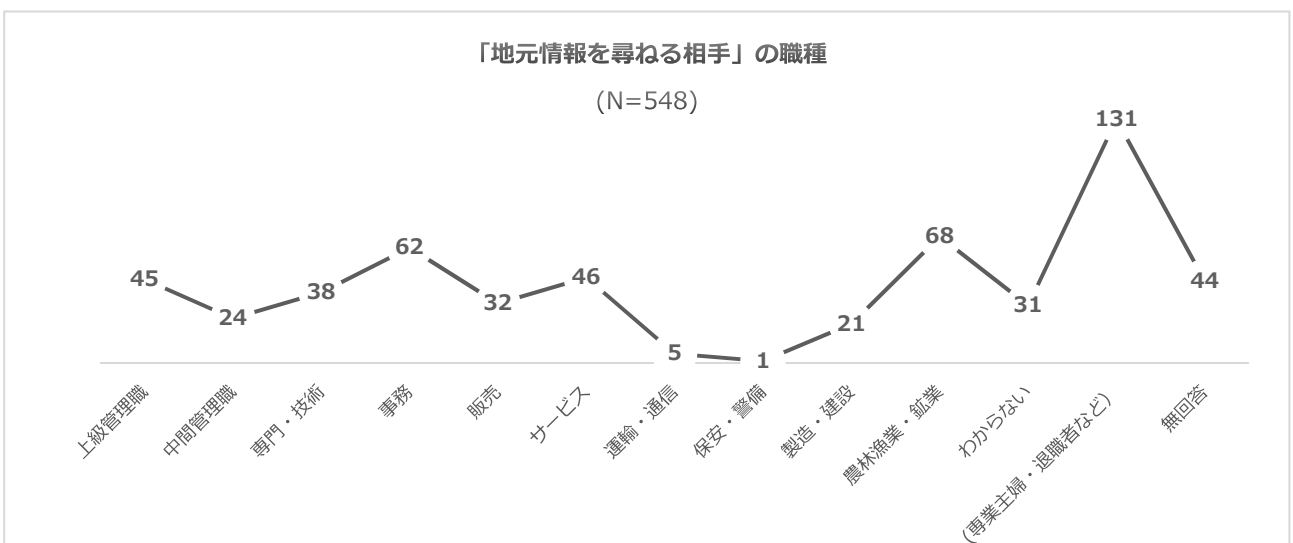
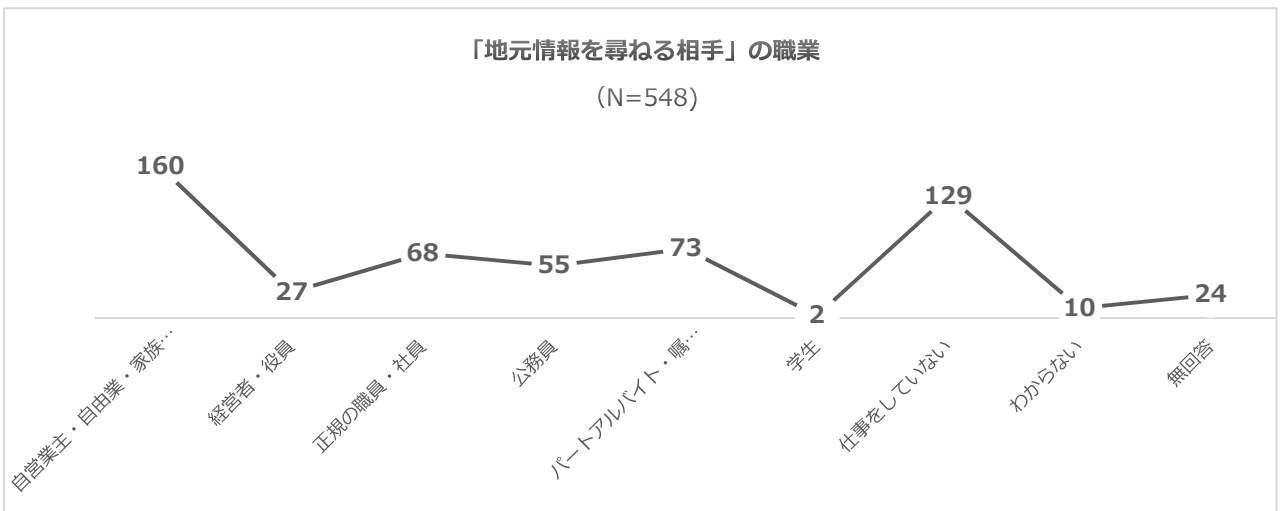
5. 7 教育歴

「地元情報を尋ねる相手」が最後に通った学校はグラフの通りである。高等学校が圧倒的に多いのがわかる。



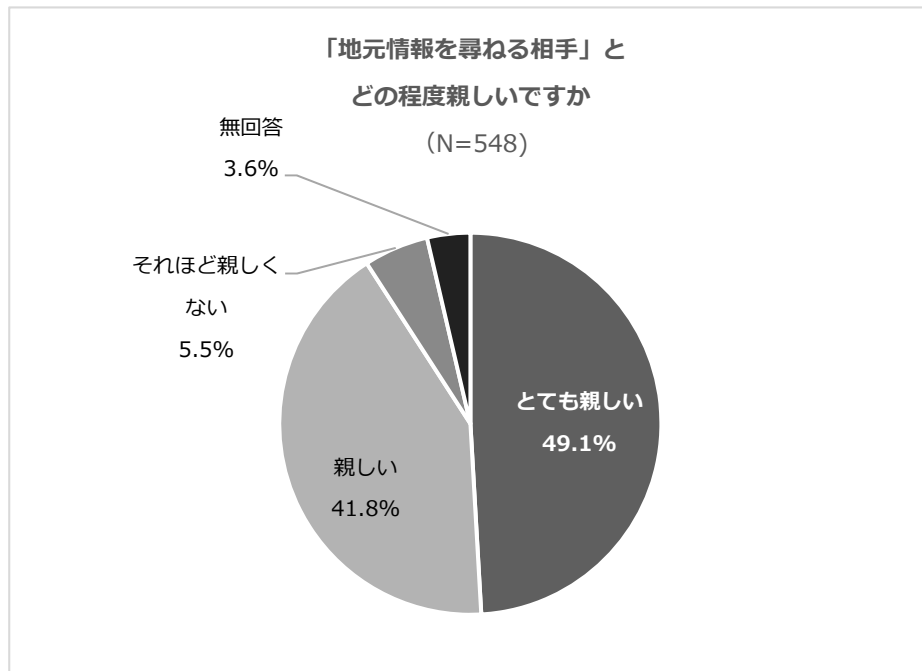
5. 8 職業・職種

「地元情報を尋ねる相手」に自営業主などが 160 人 (29.2%) で最も多かった。次に多かったのが「仕事をしていない」ケースが 129 人 (23.5%) であった。比較的時間の融通が利く立場の相手が多いようであった。

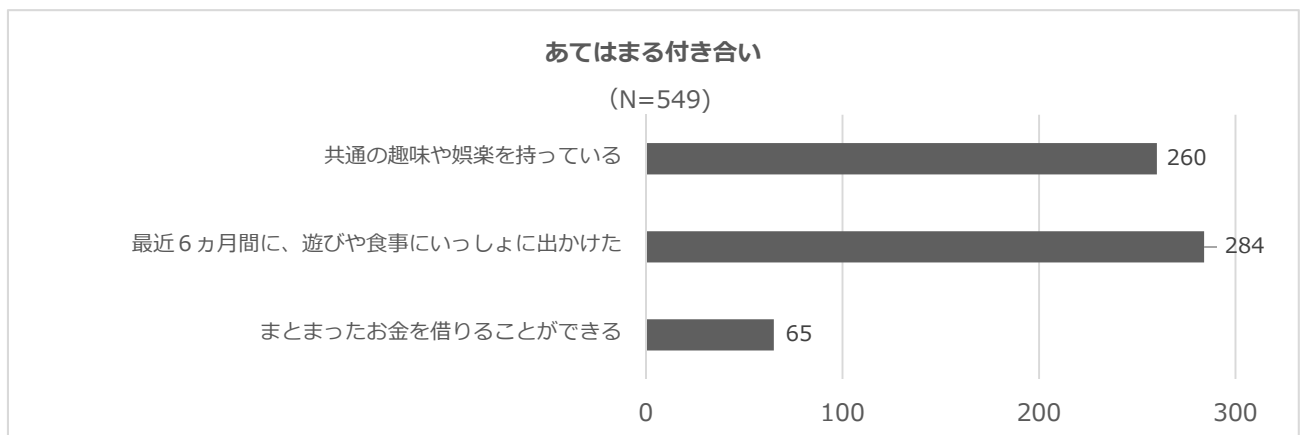


5.9 付き合いのかたち

地元に関する情報を提供してもらう相手との親密度は、半数近くが「とても親しい」間柄である一方で、5.5%は「それほど親しくない」と答えている。



また、「地元情報を尋ねる相手」と具体的にどのような「付き合い」をしているのか、「共通の趣味や娯楽を持っている」、「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」、「まとまったお金を借りることができる」の三つの選択肢から該当するものを選んでもらっている（複数回答）。「共通の趣味や娯楽を持っている」（260人、47.4%）と「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」（284人、51.7%）は5割近くが当てはまる相手であった。しかしながら、大きな信用が関わる「まとまったお金を借りることができる」（65人、11.8%）は1割程度の少数派であった。実際に「まとまったお金を借りることができる」相手は、家族・親族や友人に限定され、仕事関係や近所の人含まれていなかった。

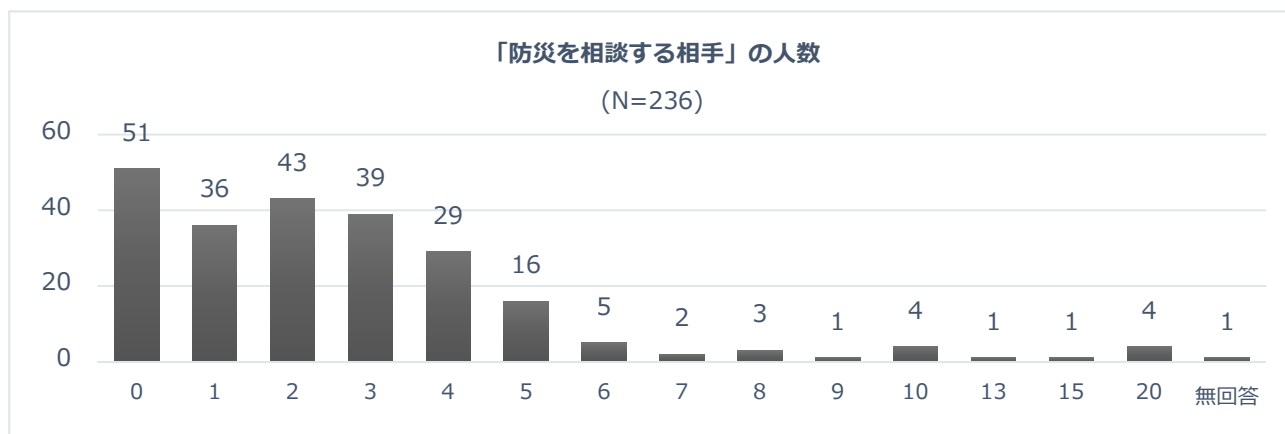


第6章 防災について相談する関係の社会ネットワーク

調査票では、回答者が「防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たち」について質問している（「防災相談の相手」）。

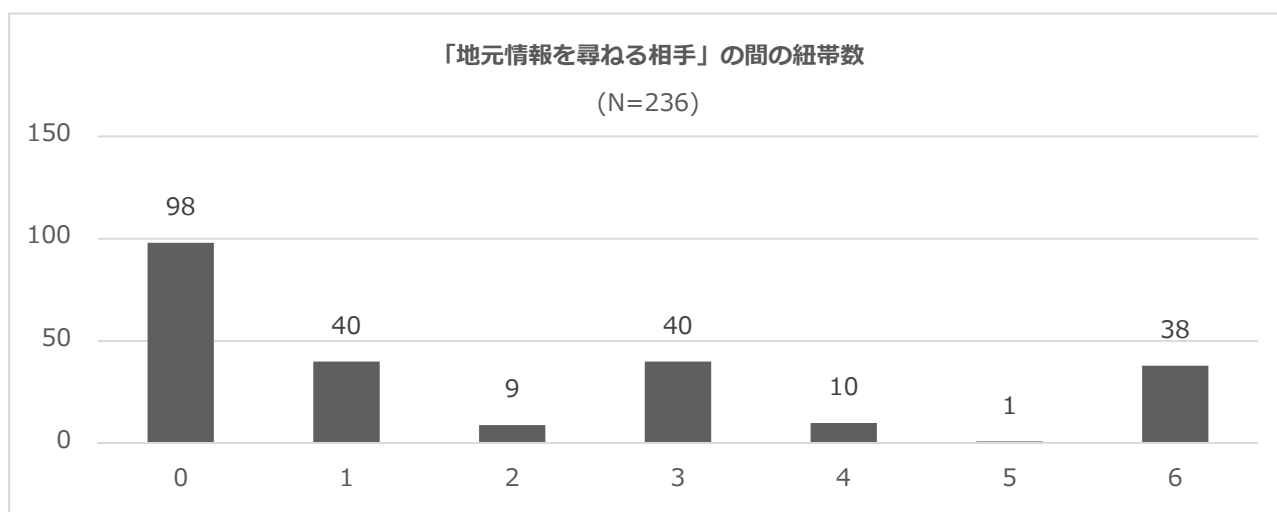
6.1 「防災の相談相手」とのつながり

回答者が防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合に相談する相手の人数について質問している。人数は自由回答であり、最小人数はゼロで、最大人数は20人であった。「防災の相談相手」がない（“孤立者”）と回答したのが51人（21.6%）もいた。集計の結果、「防災の相談相手」の平均値は2.8人（SD=3.28）で、中央値は2人であった。

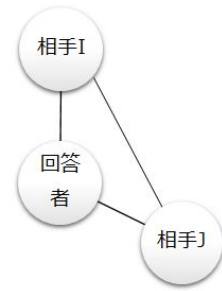


次に、回答者が提示した「防災の相談相手」の間の紐帯数についてみていく。調査票では、回答者が防災情報や災害時の備えについて相談する相手を4人まで挙げてもらい、これらの相手についての特徴や関係性を記述してもらっている。本調査では4人を上限として質問しているため、回答者と「防災の相談相手」との紐帯を除いた、「相手」同士のみの紐帯の最大数は6である。

集計の結果、「防災の相談相手」の間の紐帯数の平均値は1.9（SD=2.19）で、中央値は紐帯1であった。また、相手同士が全く“つながっていない”（つまり紐帯数0）の該当者が98人（41.5%）と最も多く（ただし、ここには相手を全く指名していない“孤立者”51人が含まれる）、次に紐帯数1（40人、16.9%）と紐帯数3（40人、16.9%）が同数で続き、最大数の6（38人、16.1%）がこれらに続いた。



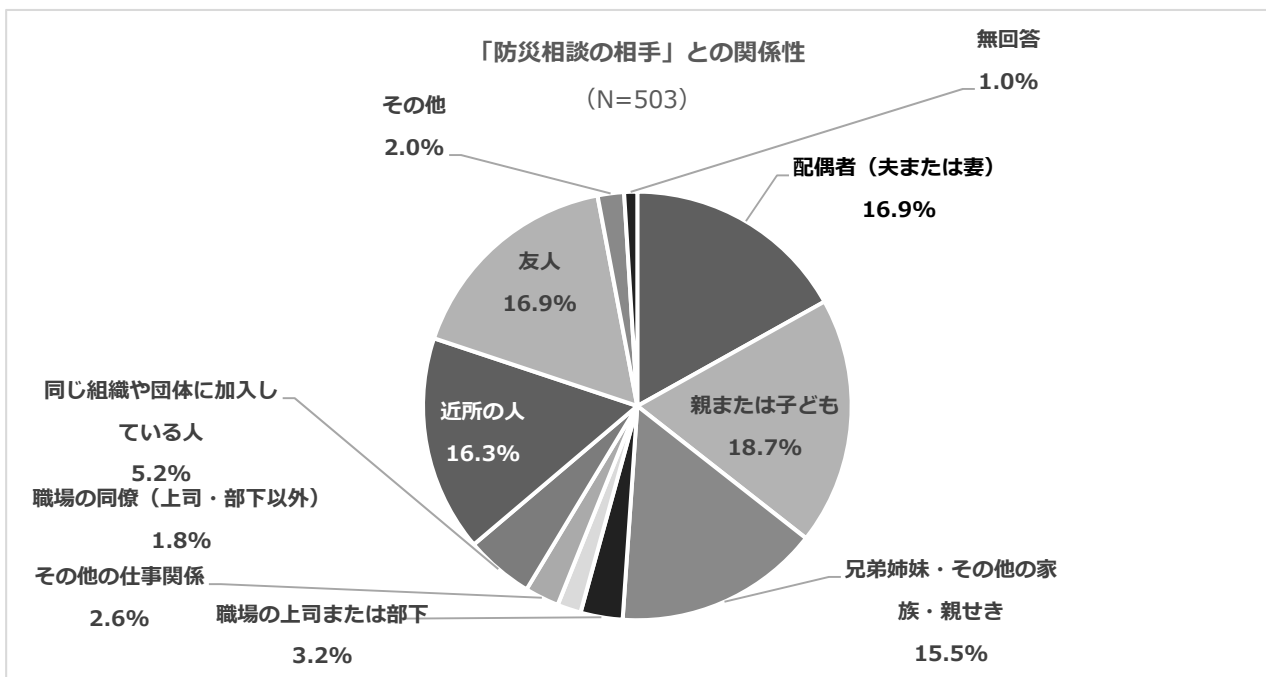
「防災の相談相手」の数と紐帯の中央値による標準的な社会ネットワーク構成は右図のようになる。中心となる回答者自身は他の2人とつながり、相手の2人の間に1つの紐帯がある(図であれば「相手I」-「相手J」も知合いである状態)。



「防災の相談相手」との標準的な社会ネットワークの図

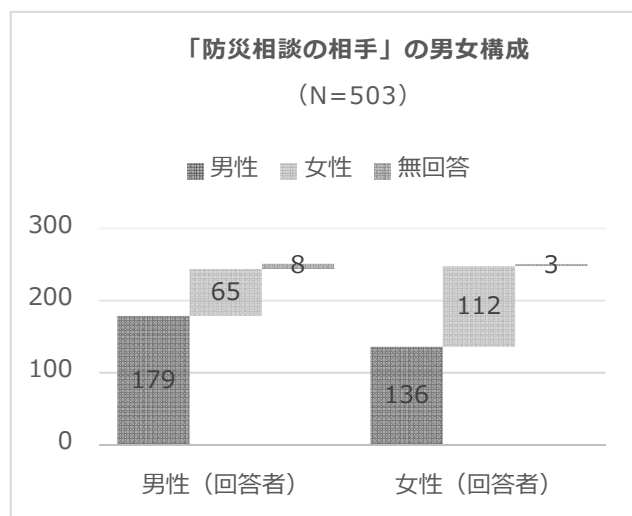
6. 2 「防災相談の相手」との関係性

防災や災害の備えについて相談する相手との関係性について質問している。最も多かったのが「親または子ども」(94人、18.7%)で、「配偶者」(85人、16.9%)と「友人」(85人、16.9%)が同数で続く。配偶者や親子・親せきなどを含めた親族の合計では257人(51.1%)と最も多くなる。



6. 3 男女構成

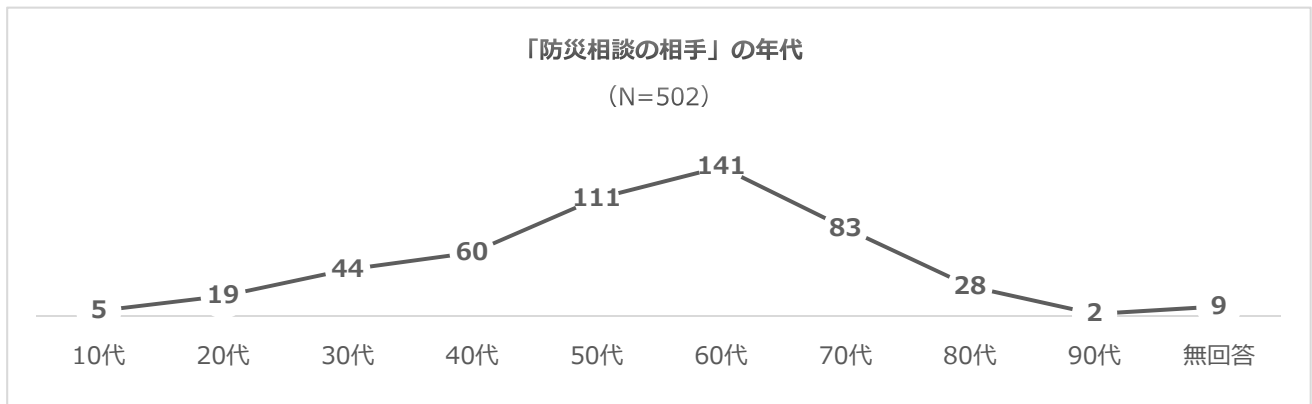
「防災相談の相手」には、同性を選ぶ傾向がより強くあった¹。男性の同性率は71.0%、女性の同性率は44.6%と、特に男性にその傾向が強く表れている。女性の同性率が低いのは、防災関連の専門知識を持っているのが男性に多いためであると推測される。



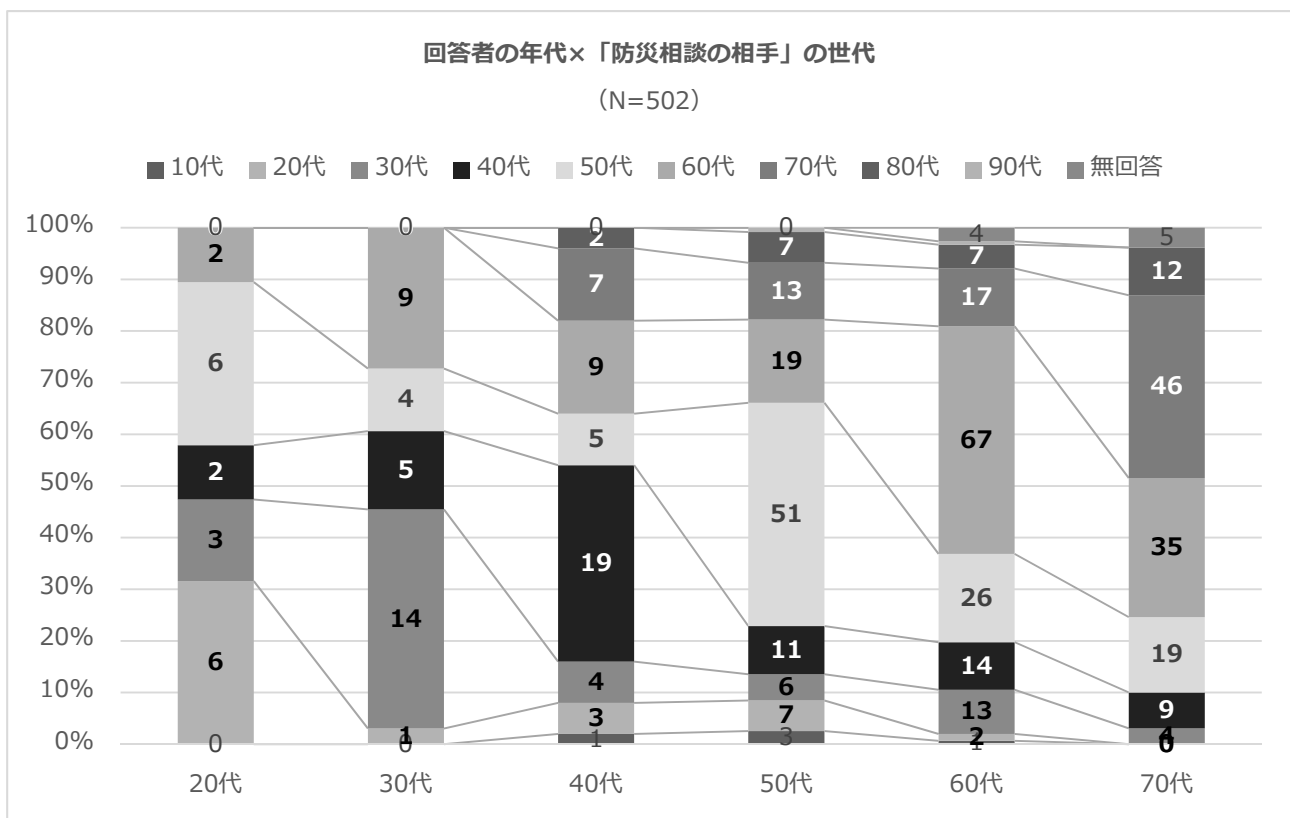
¹ 統計的にもカイ二乗検定の結果、同性を選ぶ傾向が有意 ($\chi^2=18.319, df=1, p<.001$) であった。

6. 4 年代構成

「防災相談の相手」の平均年齢は 57.3 歳 (SD=15.29) であった。「防災相談の相手」を年代別に集計すると下図のようになる。60代が最も多いが、50代、70代、40代と続く。



回答者の年代と「防災相談の相手」の年代との関係性を分析した。「回答者の年代×防災相談の相手の年代」との間に統計的に有意な関係性が確認されていて、同年代同士で相談する傾向にあった²。また、下図からは、50代は自らの家族と相談する傾向にあるのか、10代や20代の相手数が多い。

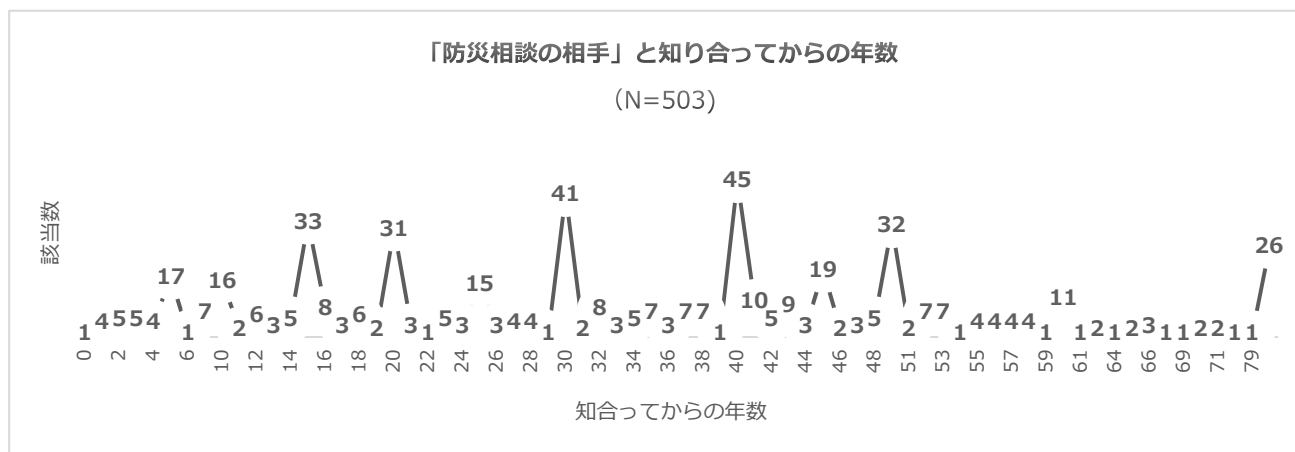


² カイ二乗検定の結果、統計的に有意な関係性があった ($\chi^2=252.741, df=45, p < .001$)。

6. 5 知り合ってから年数

防災について相談する相手と知り合ってからのおよその年数を質問している。5年、10年、15年、20年、25年、30年、40年、45年、50年など5年もしくは10年の区切りの良い年数が多く選択されている。

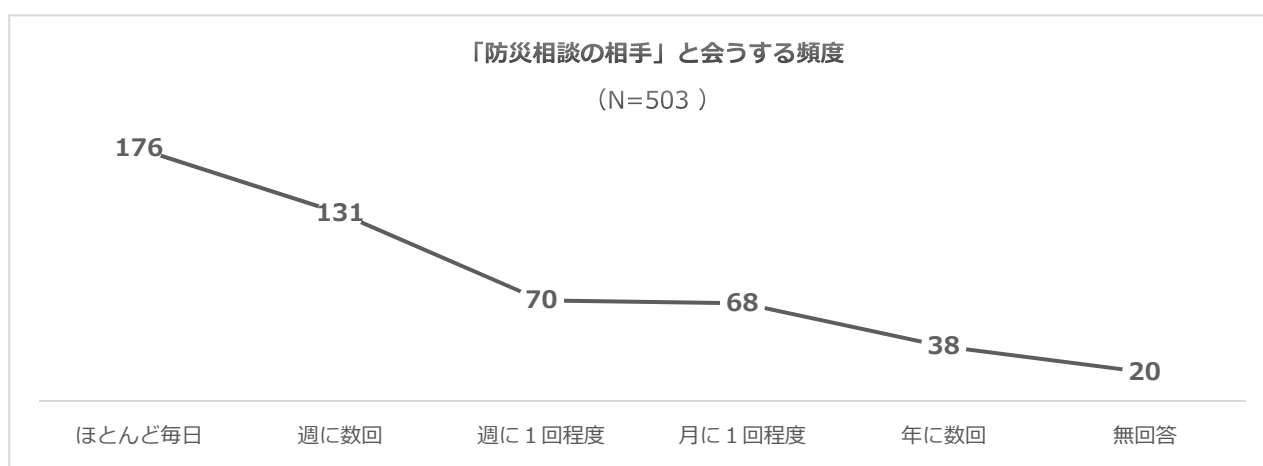
「防災相談の相手」との付き合いの長さの平均年数は31.9年（SD=17.04）で、最短が0年、最長が79年であった。また、相手の年齢が高いほど、長い付き合いであり、回答者の年齢が高いほど、相手と長い付き合いであることがわかった³。



6. 6 相手と会う頻度

「防災相談の相手」の176人（35.0%）とはほぼ毎日会っていて、131人（26.0%）とは週に数回は会っている。「ほとんど毎日」会っている相手の比率は、「親密な相手」よりは少ないが、「地元情報を尋ねる相手」よりも多い。「防災相談の相手」とも75%が最低でも週に1回は会っている。

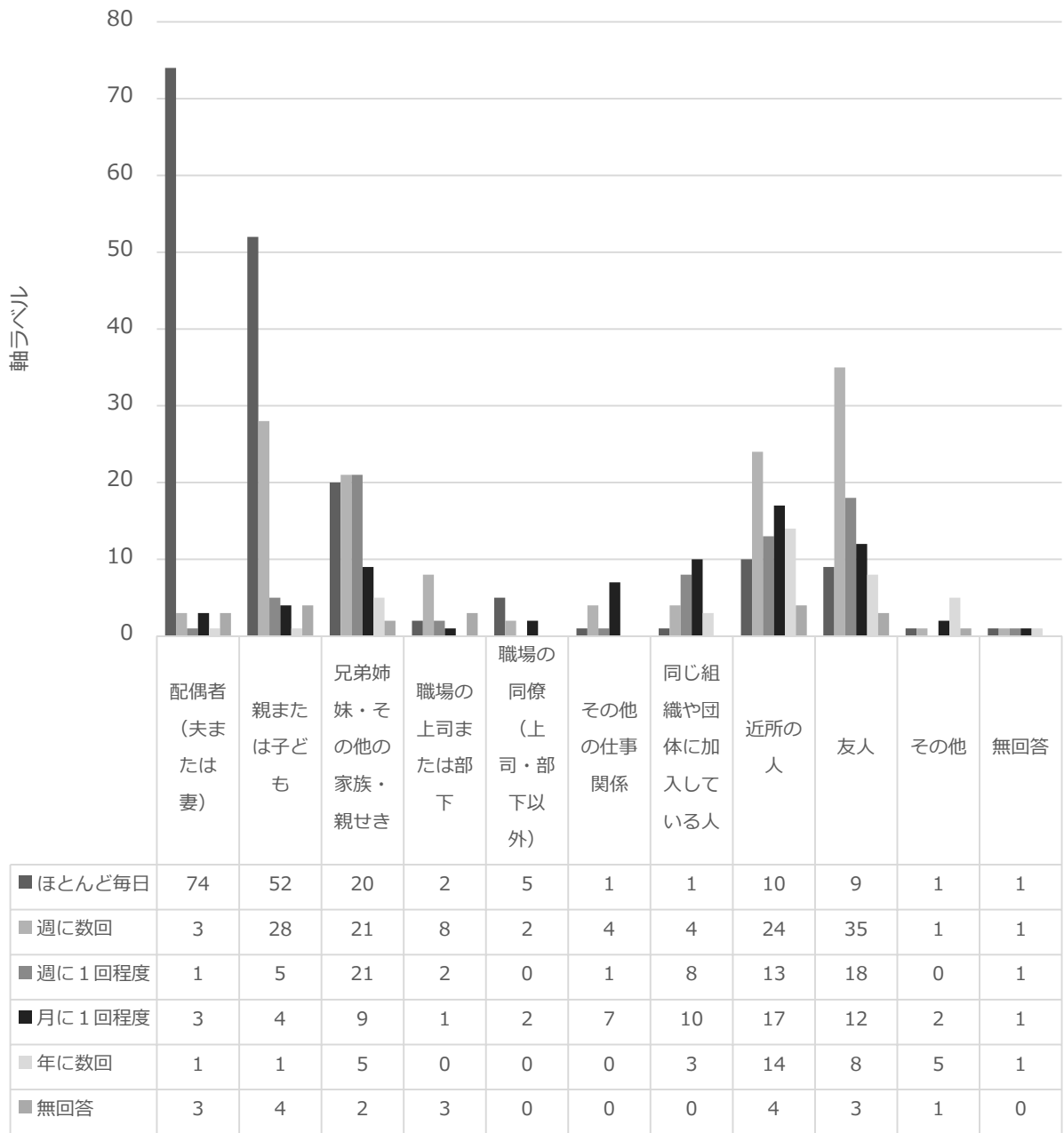
「防災相談の相手」の中で最も構成比の高い「親または子ども」や「配偶者」とは「ほとんど毎日」接するため、「ほとんど毎日」が突出していると考えられる。「友人」や「近所の人」とは、「ほとんど毎日」から「月に1回程度」まで広く頻度が分布している。



³ 相手と知合ってから年数は、相手の年齢と正の相関を示している ($r = .421, p < .001$)。また、回答者の年齢とも弱い正の相関を示している ($r = .399, p < .001$)。

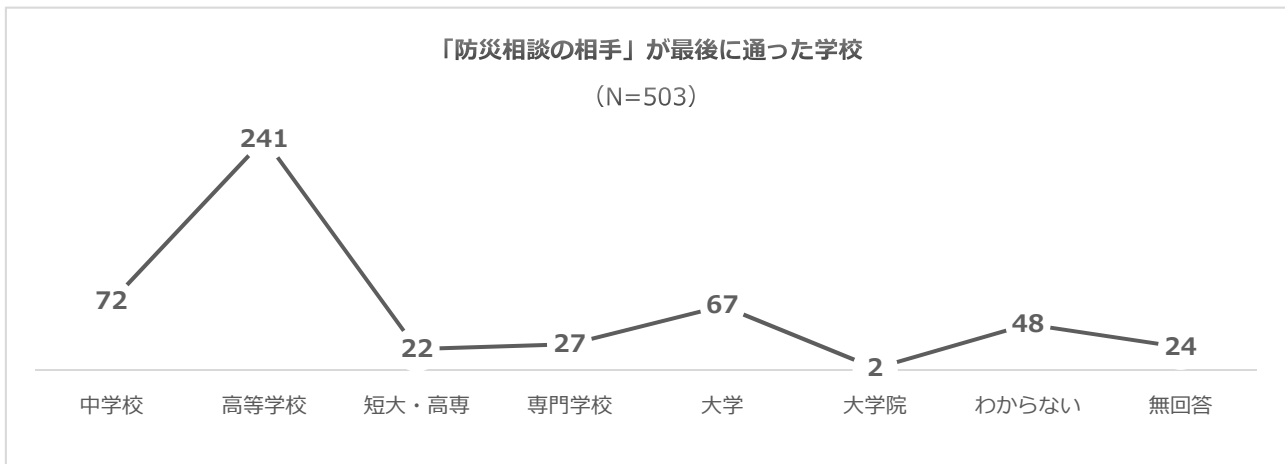
「関係性」×「会う頻度」

(N=503)



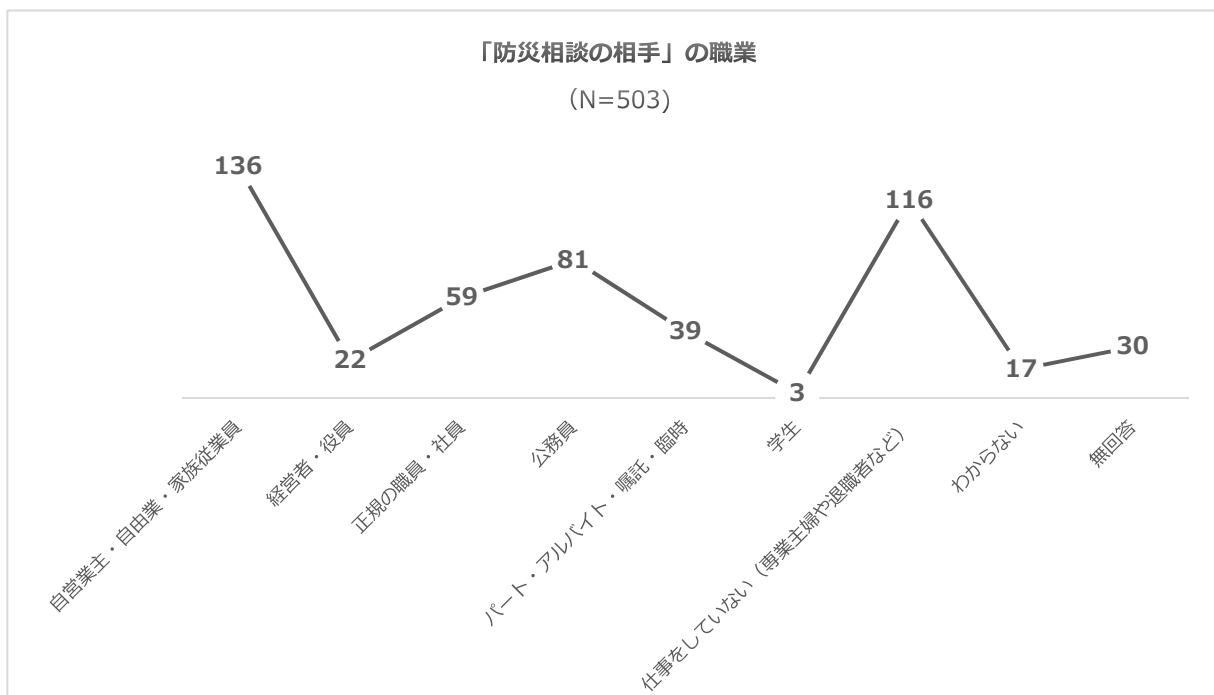
6. 7 教育歴

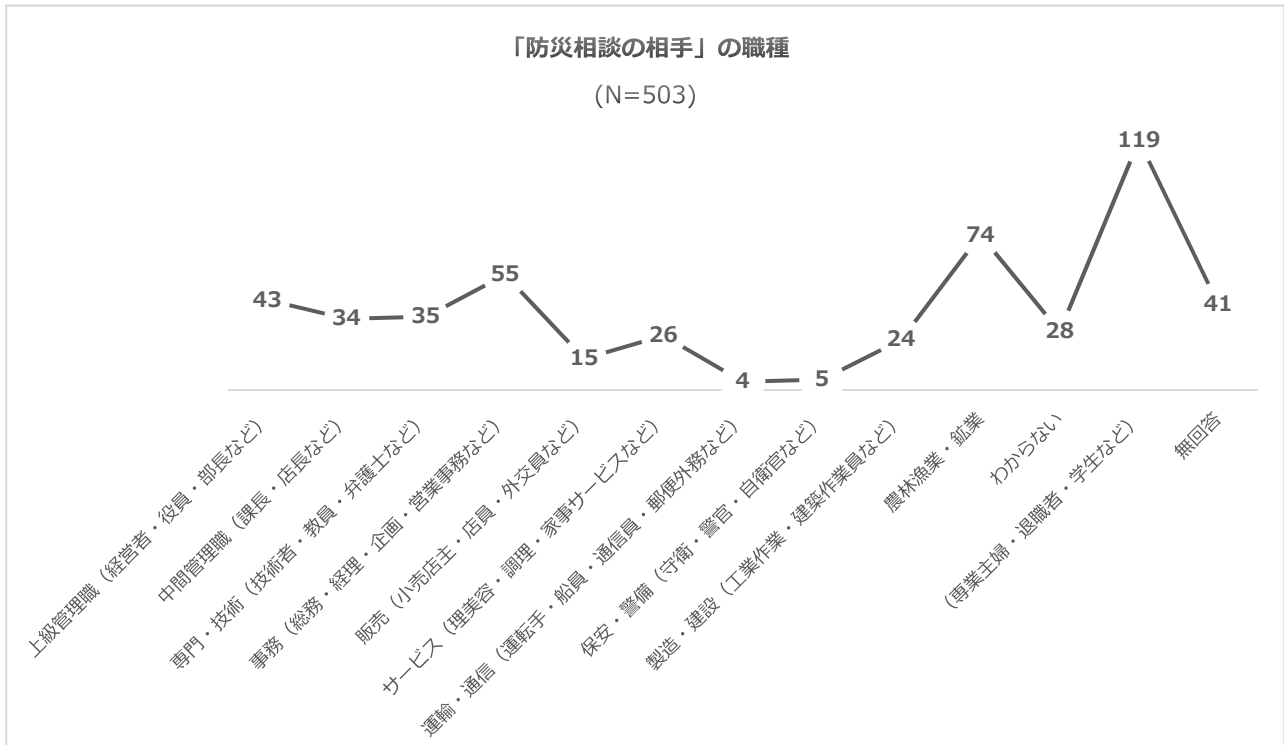
「防災相談の相手」が最後に通った学校はグラフの通りである。高等学校が最も多かった。



6. 8 職業・職種

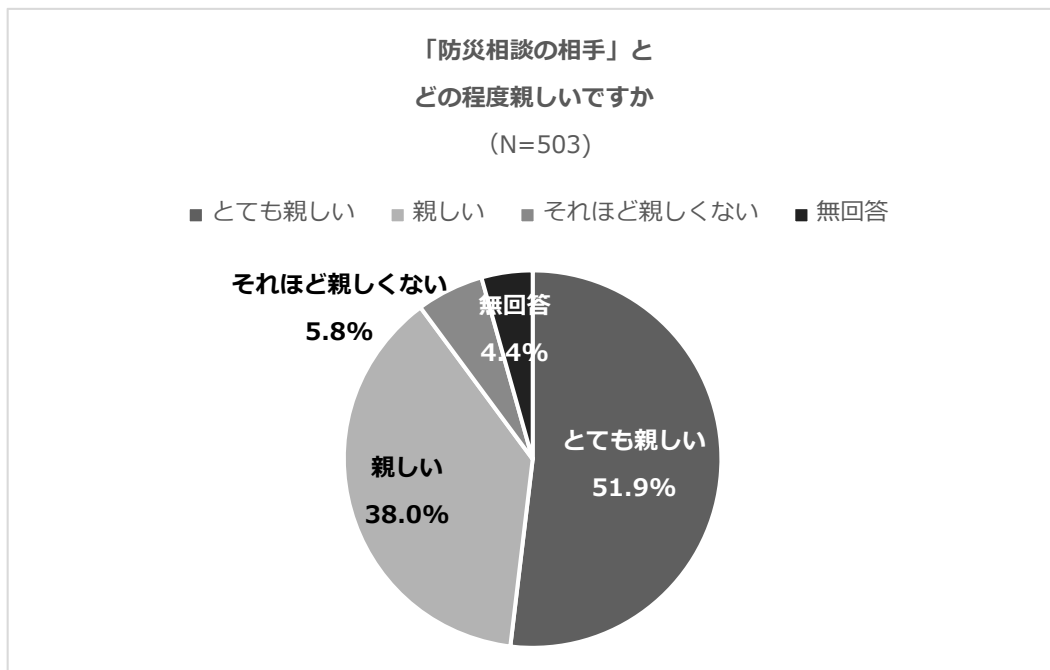
「防災相談の相手」には「自営業主など」が最も多く、次に「仕事をしていない」が多かった。両方ともに比較的時間を自由に使える立場の人であった。「仕事をしていない」が多いのは、相談相手が家族・親族で、専業主婦や退職者（親など）が多いためと推測される。三番目に多いのが「公務員」であるが、これは町の防災について公的に担う立場であり、防災計画などの知識を有するために相談されるのだと推測される。



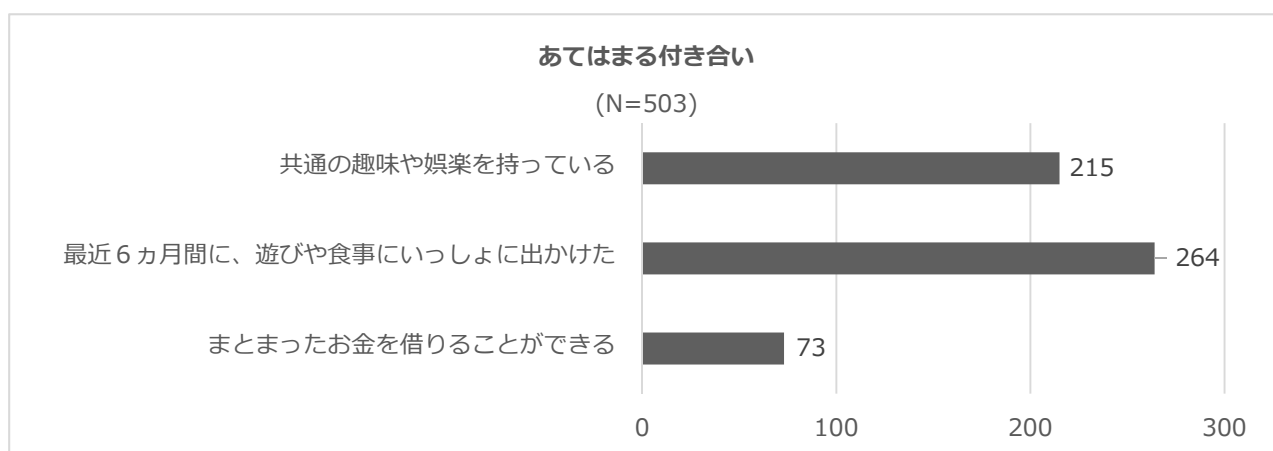


6.9 付き合いのかたち

防災について相談する相手との親密度は、過半数が「とても親しい」間柄である一方で、5.8%は「それほど親しくない」と答えている。



また、「防災相談の相手」と具体的にどのような「付き合い」をしているのか、「共通の趣味や娯楽を持っている」、「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」、「まとまったお金を借りることができる」の三つの選択肢から該当するものを選んでもらっている（複数回答）。「共通の趣味や娯楽を持っている」（215人、42.7%）は4割程度、「最近6カ月間に、遊びや食事をいっしょに出かけたことがある」（264人、52.5%）は過半数を超えていた。これらの比率は、「親密な関係」よりは低い傾向にあるが、「地元の情報を尋ねる相手」との差はほとんど見られなかった。大きな信用が関わる「まとまったお金を借りることができる」（73人、14.5%）についても14.5%ほど存在していて、「地元の情報を尋ねる相手」よりも高い比率であった。実際に「まとまったお金を借りることができる」相手は、家族に集中していて、友人や近所の人若干名のみ含まれていた。おそらく、「防災相談の相手」は家族・親族が多く含まれる一方で、仕事関連の人が少ない。一方の「地元の情報を尋ねる相手」には比較的仕事関連の人の比率が高く、これらの心理的距離間や信用性の違いが、比率の差に表れていると推測される。

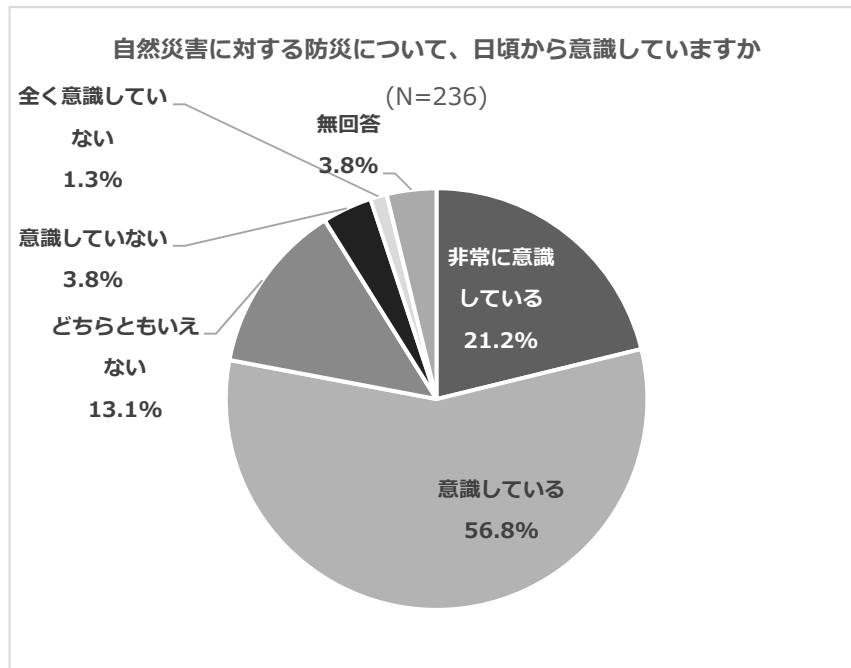


第7章 防災・災害に対する意識や備えの状況

調査票では、防災・災害への意識に関する事柄について質問している。

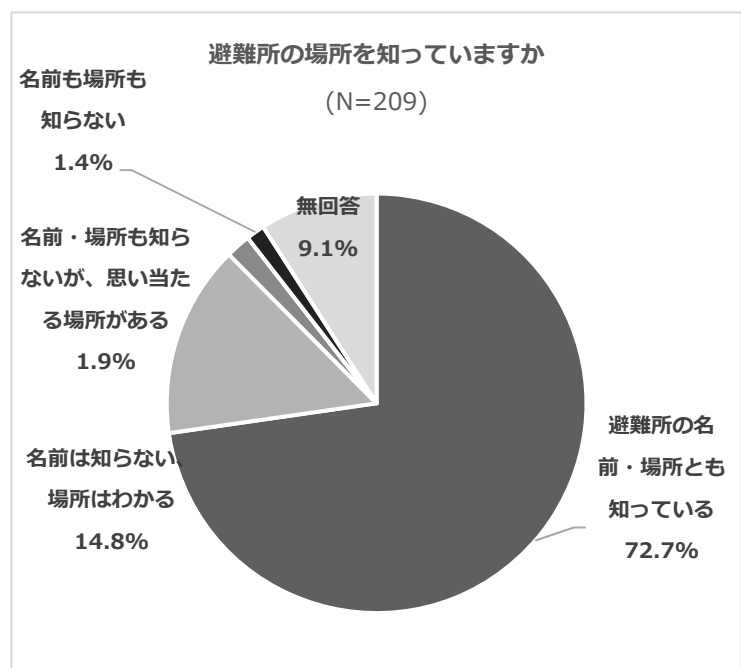
7. 1 防災意識（自己評価）

回答者の日頃の自然災害への防犯意識について五段階で質問している。防犯意識の高い人（「非常に意識している」と「意識している」）は184人（78.0）と圧倒的多数である一方で、防犯意識が希薄な人（「意識していない」「全く意識していない」）は3人（1.3）とごく少数であった。奈半利町住民が非常に高い防災意識をもっていることがわかる。



7. 2 避難所の認識

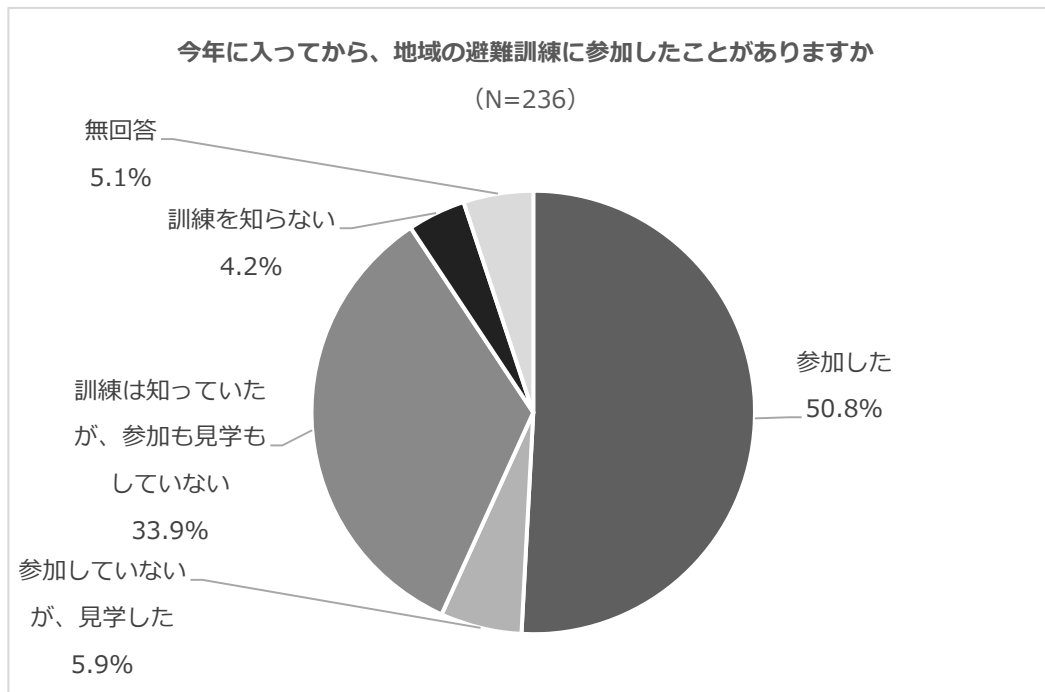
回答者の住む地域の避難所の場所に対する認識について質問している。「避難所の場所も名前とも知っている」と答えたのは152人（72.7%）であり、「名前は知らないが、場所はわかる」との答えは31人（14.8%）であった。自然災害の脅威が迫った場合、避難所を目指してすぐに行動できる準備のある人が183人（87.6%）いることになる。ただし、少数派であるが残りの26人（12.4%）への対応は今後の課題となる。



7. 3 避難訓練への参加状況

「今年に入ってから、地域の避難訓練に参加したことがありますか」という質問をし、5つの選択肢から近いものを1つ選んでもらった。選択肢は下図にある通りである。

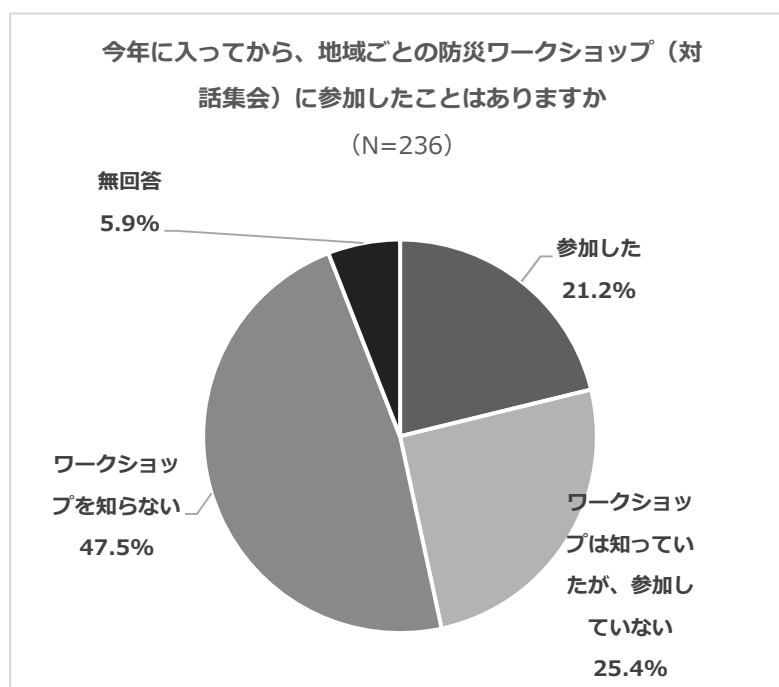
実際に参加・見学した回答者は120人（50.8%）と半数を占めた。一方で、3割以上の住民が参加・見学しておらず、これらの人びとへの対応は今後の課題となりそうである。



7. 4 防災WSへの参加状況

防災ワークショップ（WS）への参加について聞いている。集計結果は右図の通りである。

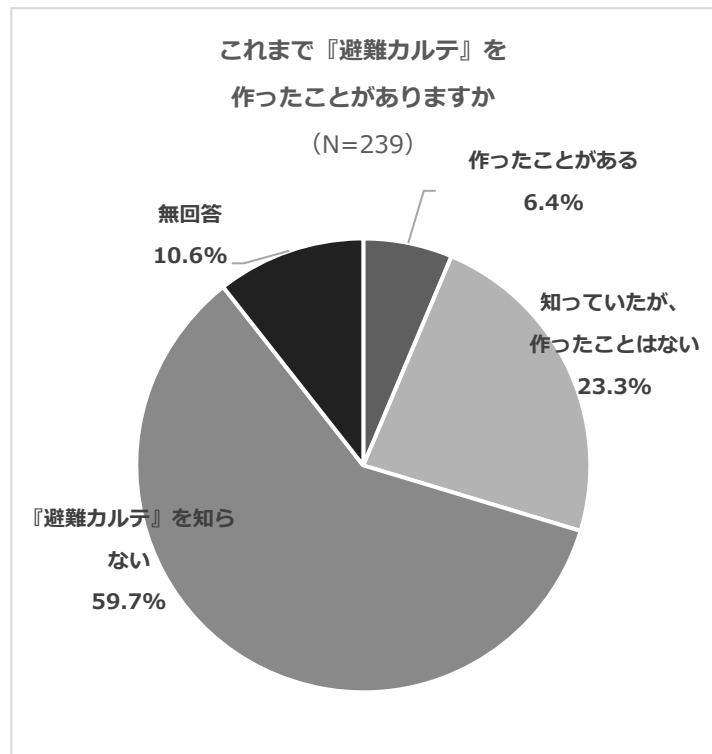
「防災ワークショップ」へ参加したと答えたのが50人（21.2%）、ワークショップについて知っていたが参加していない人が60人（25.4%）、ワークショップそのものを知らないと答えたのが112人（47.5%）であった。



7.5 『避難カルテ』の作成について

調査票では、「これまで『避難カルテ』を作ったことがありますか」と質問している。従来の想定から大幅に外れた津波想定により、地域の「面的」な一斉避難という画一的な考えではなく、各家庭の実際の環境を考慮した、家庭独自の避難計画が重要となってきたため、『避難カルテ』の作成が推奨されている。集計結果は右図の通りである。

実際に作ったことがあると答えたのは15人(6.4%)であった。経験者は1割にも満たないことがわかる。しかしながら、「知っていたが、作ったことはない」と合わせると約3割となっており、『避難カルテ』の認知度は低いことがわかる。『避難カルテ』についても地道な広報活動も重要であろうし、実際にカルテ作成の機会をいかに創るかについても検討していく必要がある。



7.6 自然災害への準備活動について

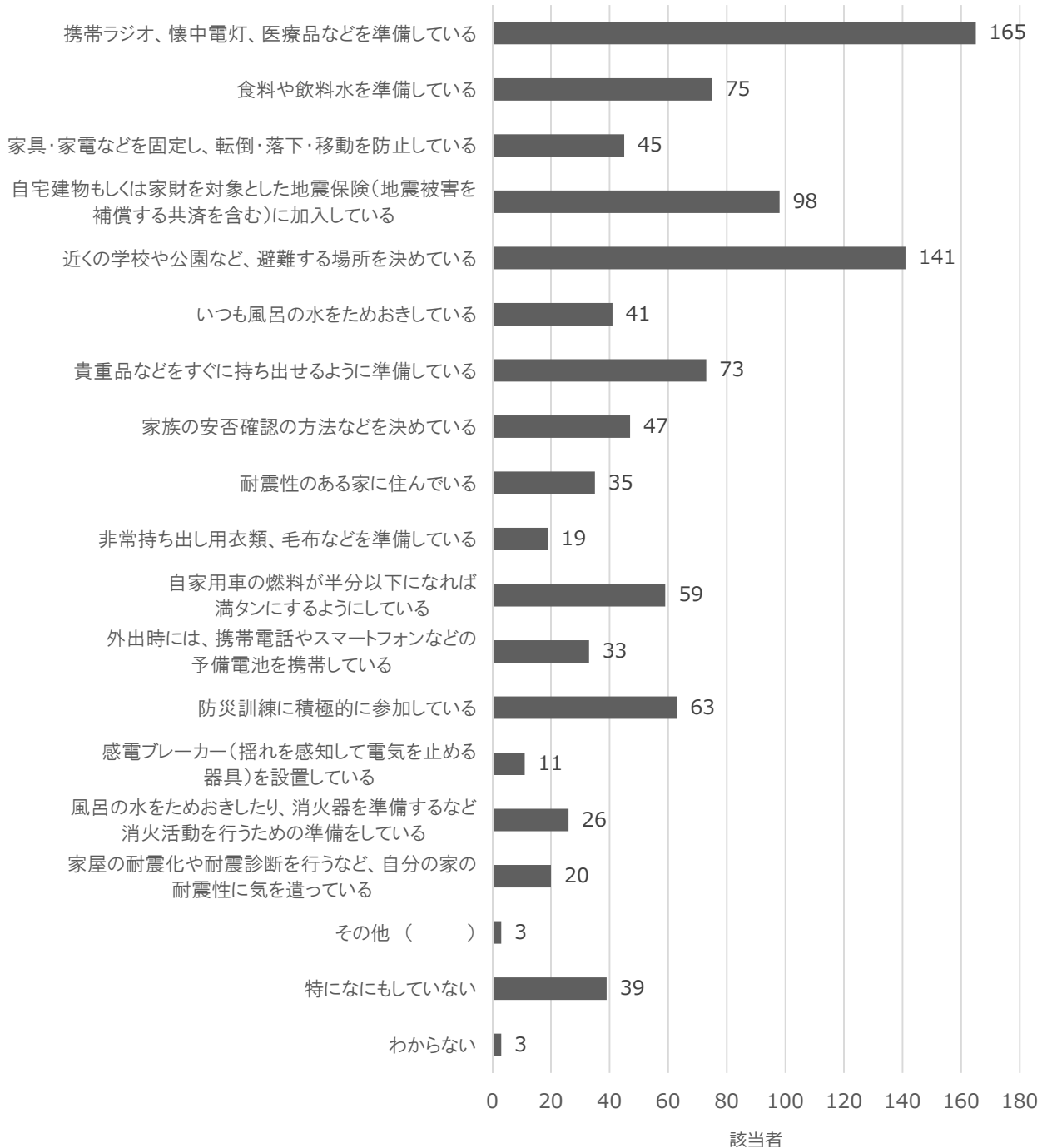
調査票では、自然災害に備えて取り組んでいる活動17項目について、実際に対処しているか否かを質問している。なお17項目については、内閣府が平成11年6月に実施した「防災と情報に関する世論調査」¹の調査票における「大地震に備えてとっている対策」の質問項目を参考に作成した。集計結果は下図の通りである。

過半数の該当数を得たのは「携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などを準備している」(該当数165、72.4%)と「近くの学校や公園など、避難する場所を決めている」(該当数141、61.8%)の二項目のみであった。続く「自宅建物もしくは家財を対象とした地震保険(地震被害を補償する共済を含む)に加入している」(該当数98、43.0%)と「食料や飲料水を準備している」(該当数75、32.9%)が続く。「防災訓練に積極的に参加している」(該当数63、27.6%)も3割近くの回答を得ている。ただし、7.3において5割の住民が実際に防災訓練に参加したと答えているので、積極性がなくとも、しっかり地域の防災訓練に多くの人が参加していると推測される。

¹ 内閣府大臣官房政府広報室「防災に関する世論調査」のHPを参照 (HP: <http://survey.gov-online.go.jp/h25/h25-bousai/index.html>; アクセス: 2016年4月22日)

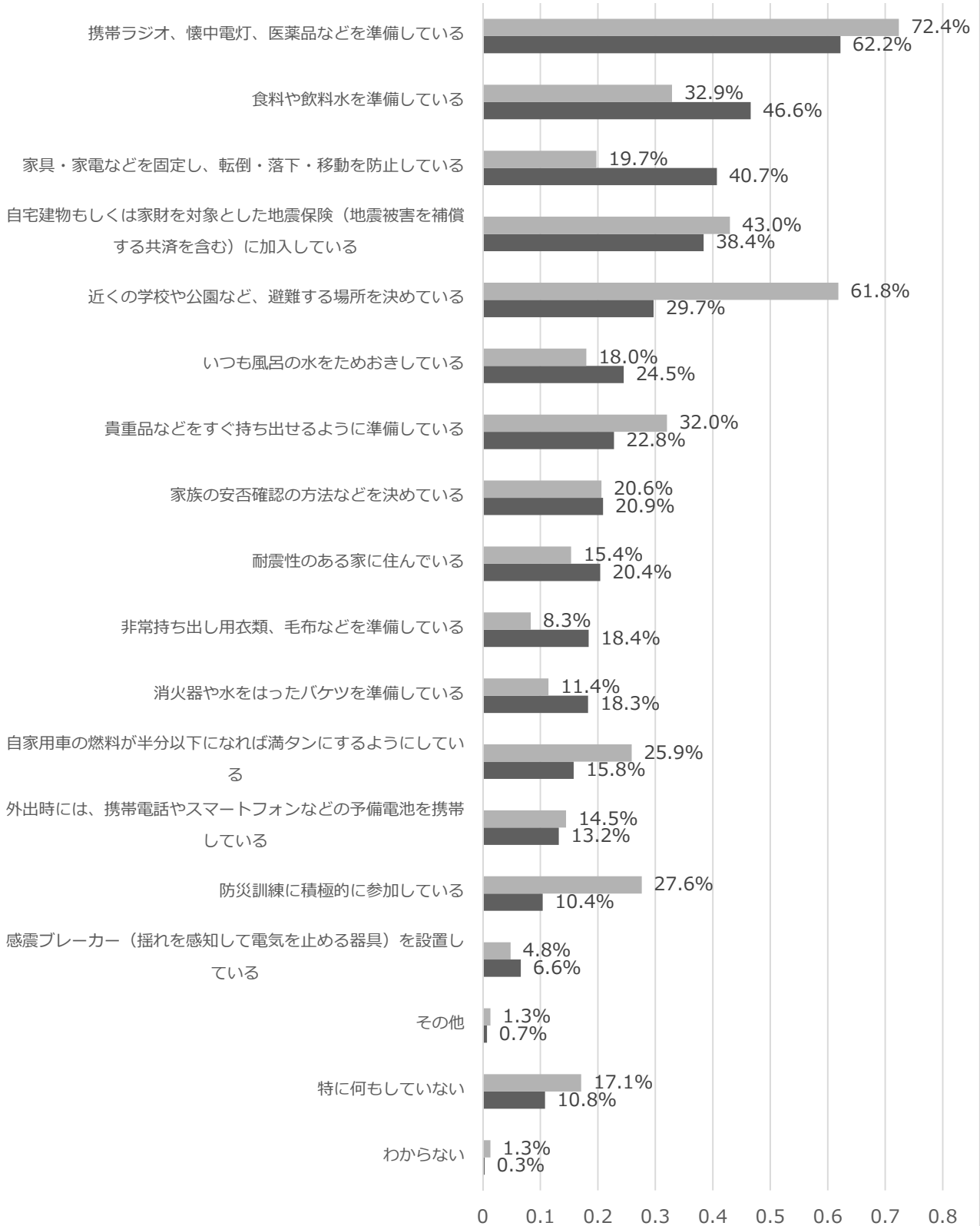
自然災害に備えてとっている対策について、
あてはまるものすべてを選んでください（複数回答）

(N=228)



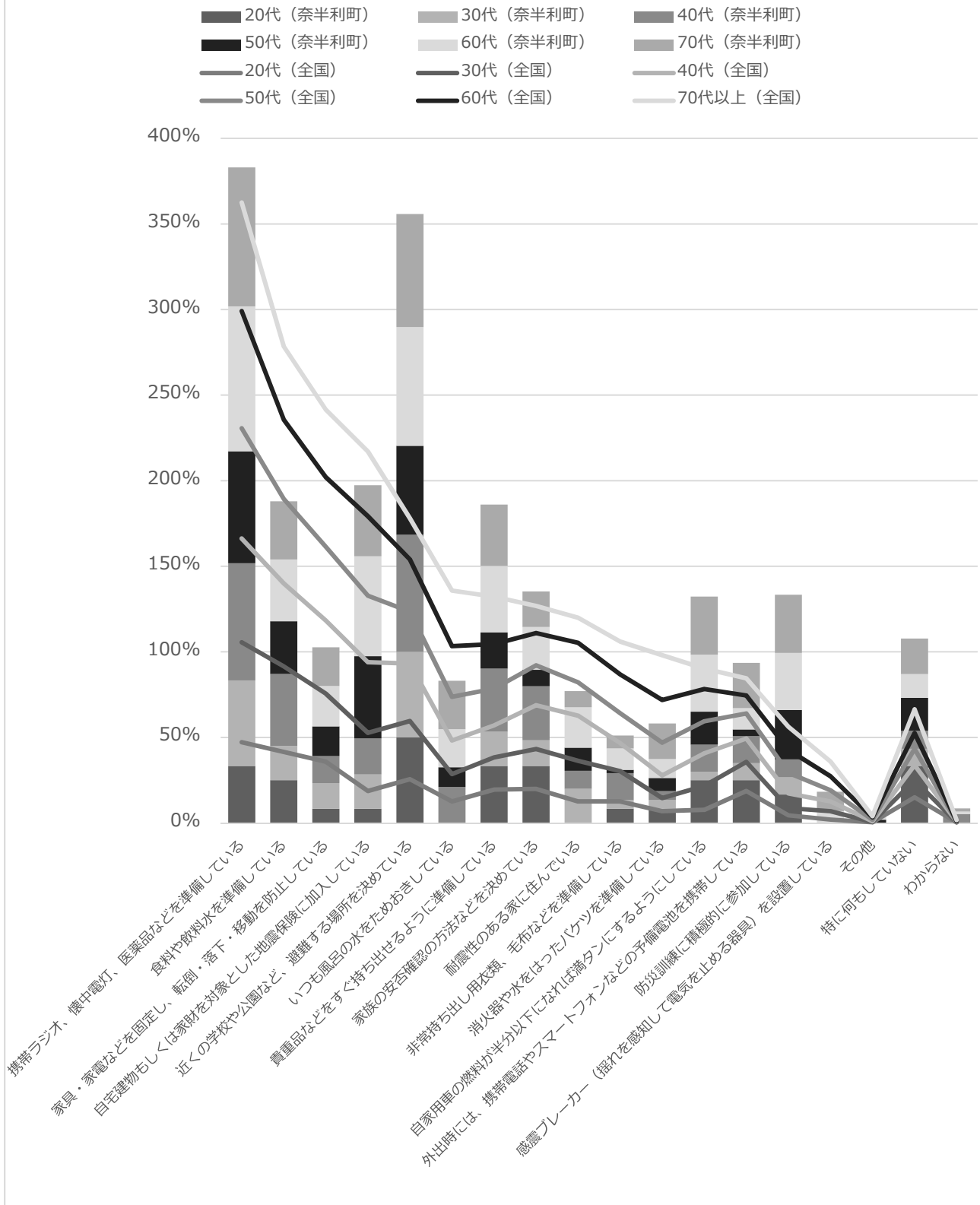
自然災害（大地震）に備えていること

■ 奈半利町(N=228) ■ 内閣府(N=3110)



自然災害（大地震）に備えていること（年代別）

（奈半利町と内閣府調査との比較）



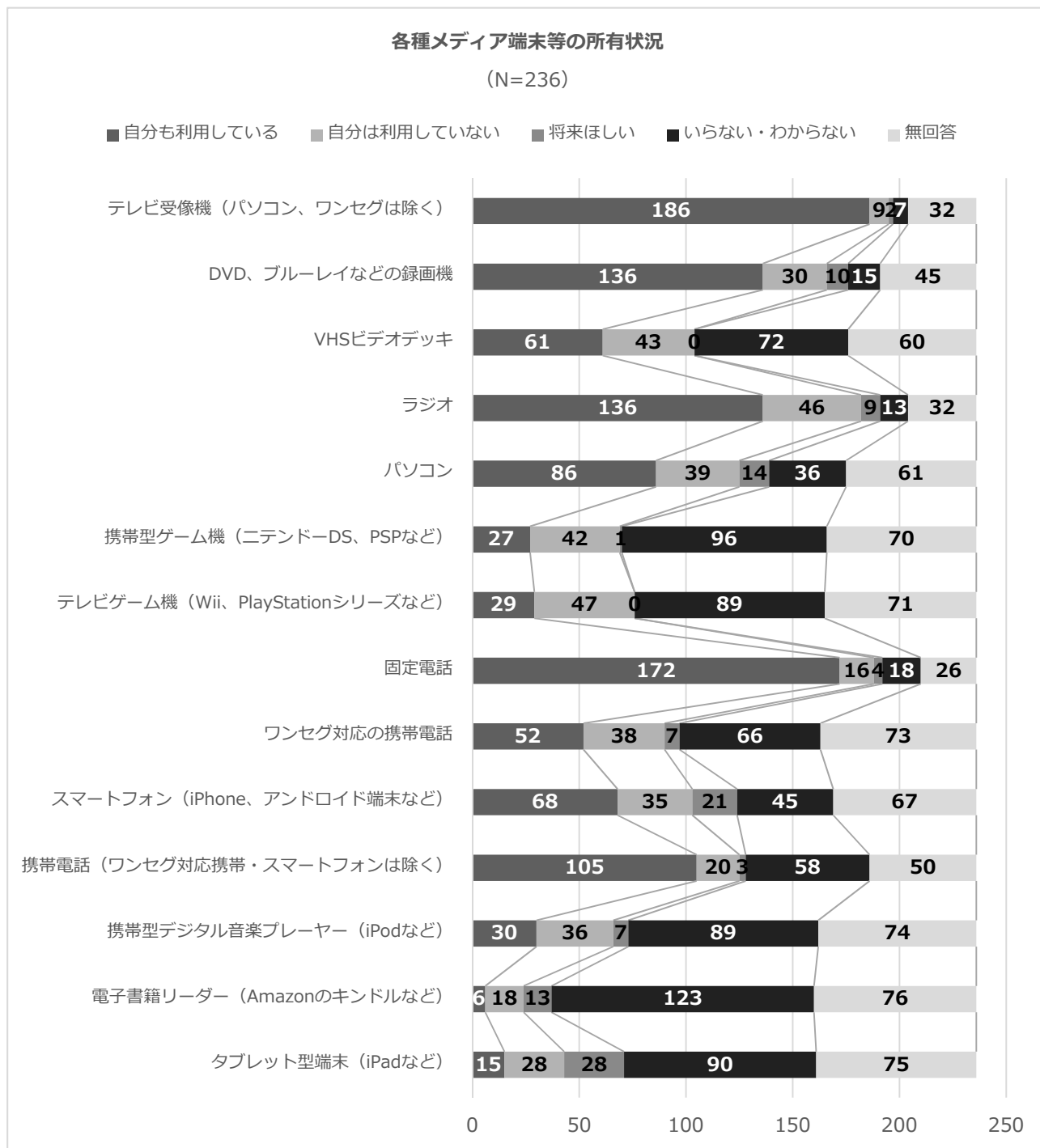
注) 「奈半利町調査」と「内閣府調査」とのそれぞれにおいて、各項目において各世代に該当する人数比率 (%) を積み上げたグラフ

第8章 日常的なコミュニケーション状況

調査票では、回答者の日常生活における多様なコミュニケーションについて質問している。

8.1 メディア機器の所有状況

各種メディアの所有状況について、「(家にあって) 自分も利用している」、「(家にあって) 自分は利用していない」、「(家になくて) 将来ほしい」、「(家になくて) いらぬい・わからない」の4択で質問している。集計結果は下図の通り。



テレビ放送関連のメディア機器の世帯普及率が高い傾向にあり、テレビ受信機（195）は世帯普及率82.6%、DVD やブルーレイの録画機（166）は70.3%であった。ラジオ（182）についても世帯普及率が77.1%と高く、放送機器の普及の高さを再確認した。

パーソナルメディアの代表である電話においては、固定電話（188）の世帯普及率が79.7%となっている一方で、何らかのケータイ（携帯電話およびスマートフォンも含む）を自分で利用している人は178人で、普及率は75.4%であった。ケータイの高い普及率も確認できる。しかしながらスマートフォンについては、自身で利用しているのが68人で、普及率は28.8%と調査時においてはそれほど高くない状況にあった。

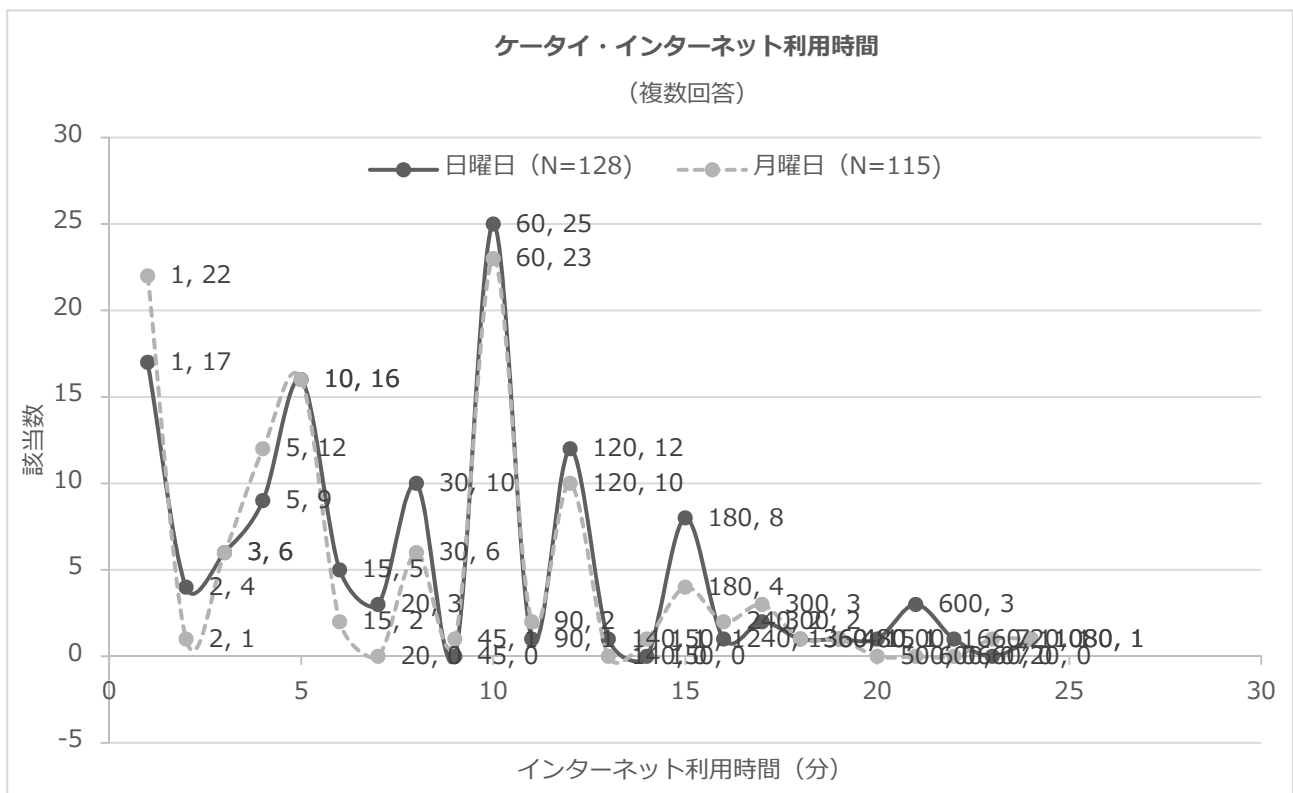
デジタルメディアについては、パソコン（125）の世帯普及率が53.0%と過半数を超えているが、その他のゲーム機（テレビゲーム（76、32.2%）、携帯型ゲーム（69、29.2%））や音楽プレーヤー（66、28.0%）、タブレット端末（43、18.2%）などの世帯普及率は3割から2割程度であった。

8. 2 “ケータイ”・インターネット・サービスの利用状況

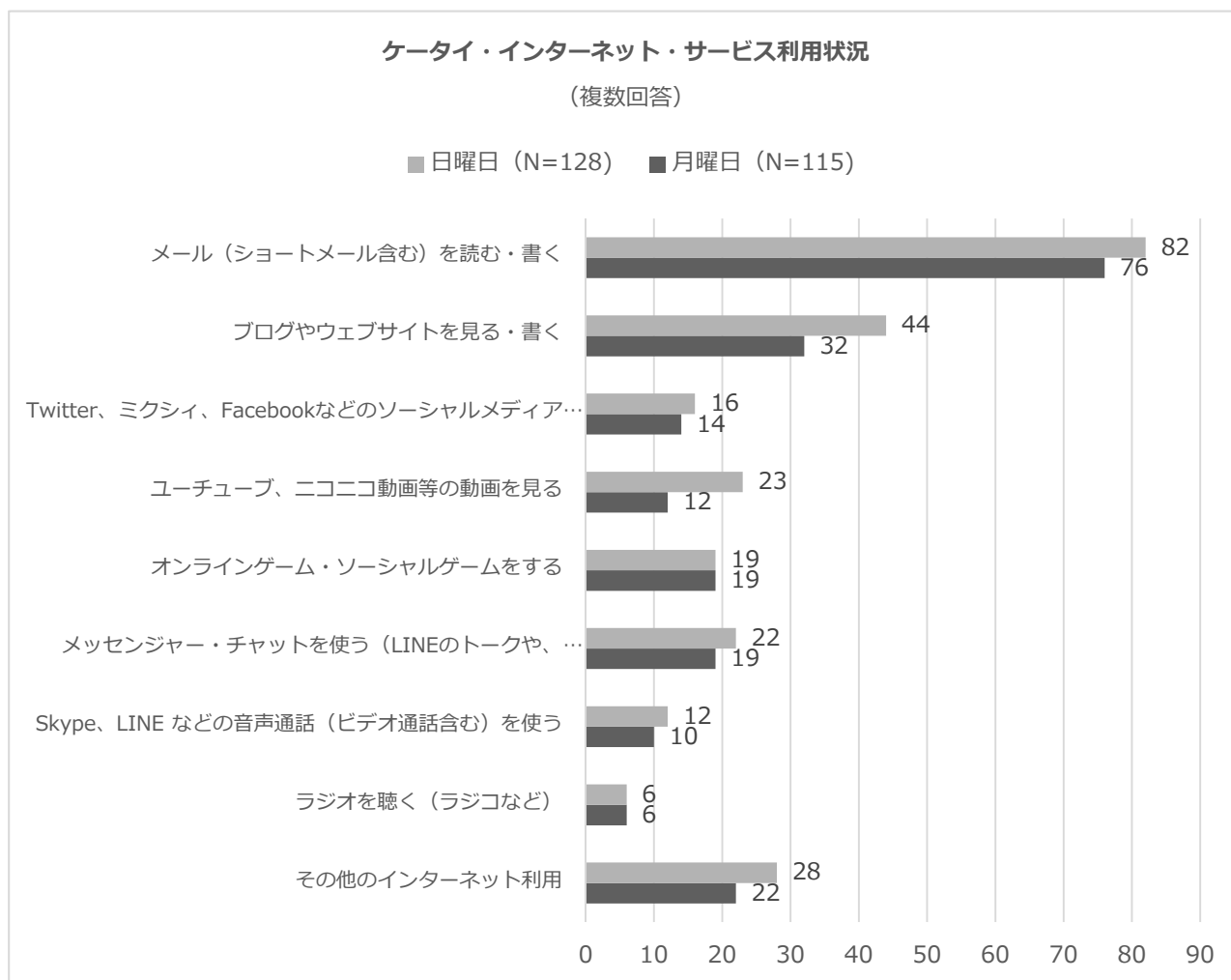
ケータイ（携帯電話やスマートフォンを含む総称として、以下では“ケータイ”と記す）からのインターネット・サービスの利用状況について質問している。

ケータイからインターネット・サービスを利用しているおよその時間について、日曜日（週末）と月曜日（平日）について質問した。日曜日のケータイ・インターネットの平均利用時間（N=128）は86.0分（SD=157.37）と1時間半弱であった。平日の月曜日のケータイ・インターネットの平均利用時間（N=115）は71.0分（SD=140.64）であり、週末の日曜日より短いことがわかった。

1時間以下の利用者数は、日曜日は95人（74.2%）で、月曜日は89人（77.4%）であった。ほとんどのケータイ・インターネット利用者は、1日に1時間程度の利用であることがわかる。1時間を超える利用者が多くないが、8時間以上の利用者が日曜日では7人（5.5%）、月曜日で3人（2.6%）おり、最長は18時間（日・月ともに1人）であった。



実際に利用しているインターネット・サービスについてしてみると、メールの読み書きが圧倒的に多いのがわかる。その次に多い利用は、ウェブページの閲覧や動画視聴、LINE やメッセージなどのチャットであり、親しい友人・知人とのコミュニケーションに利用している時間が多いことがわかる。

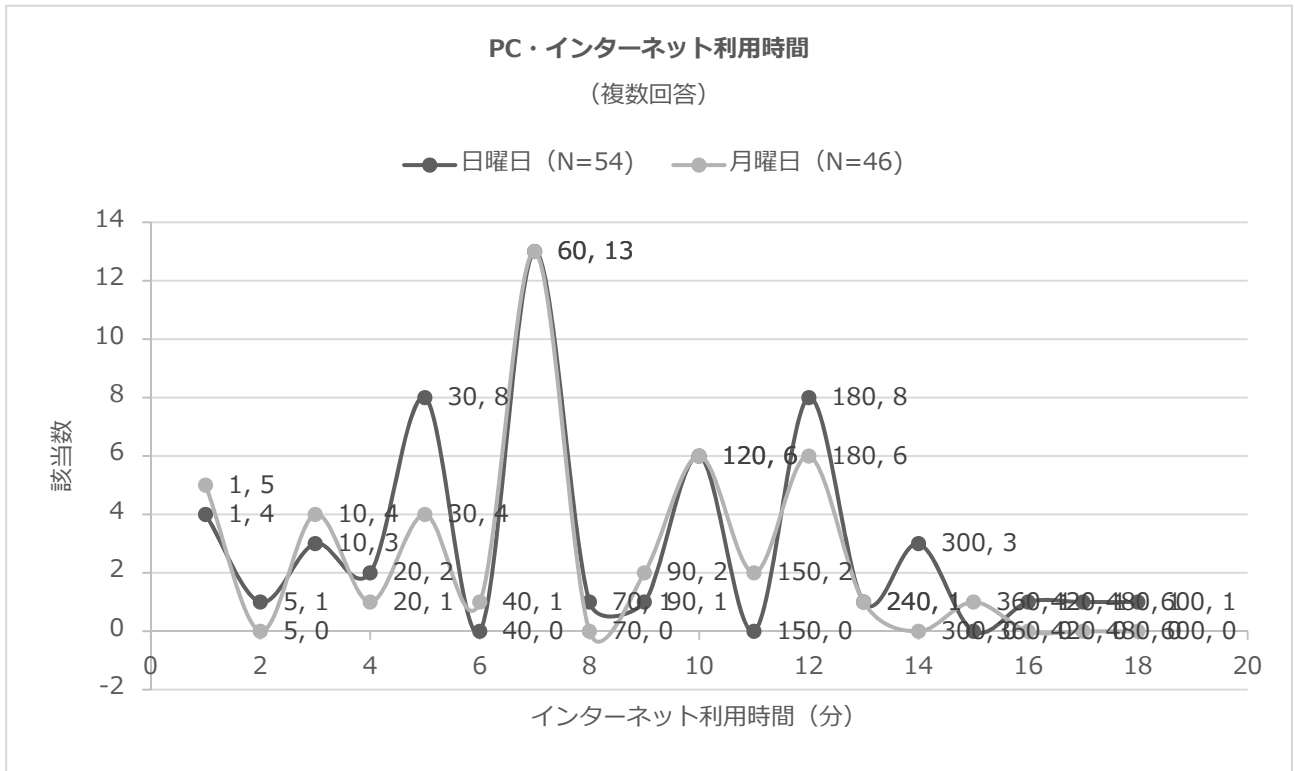


8. 3 PC インターネット・サービスの利用状況

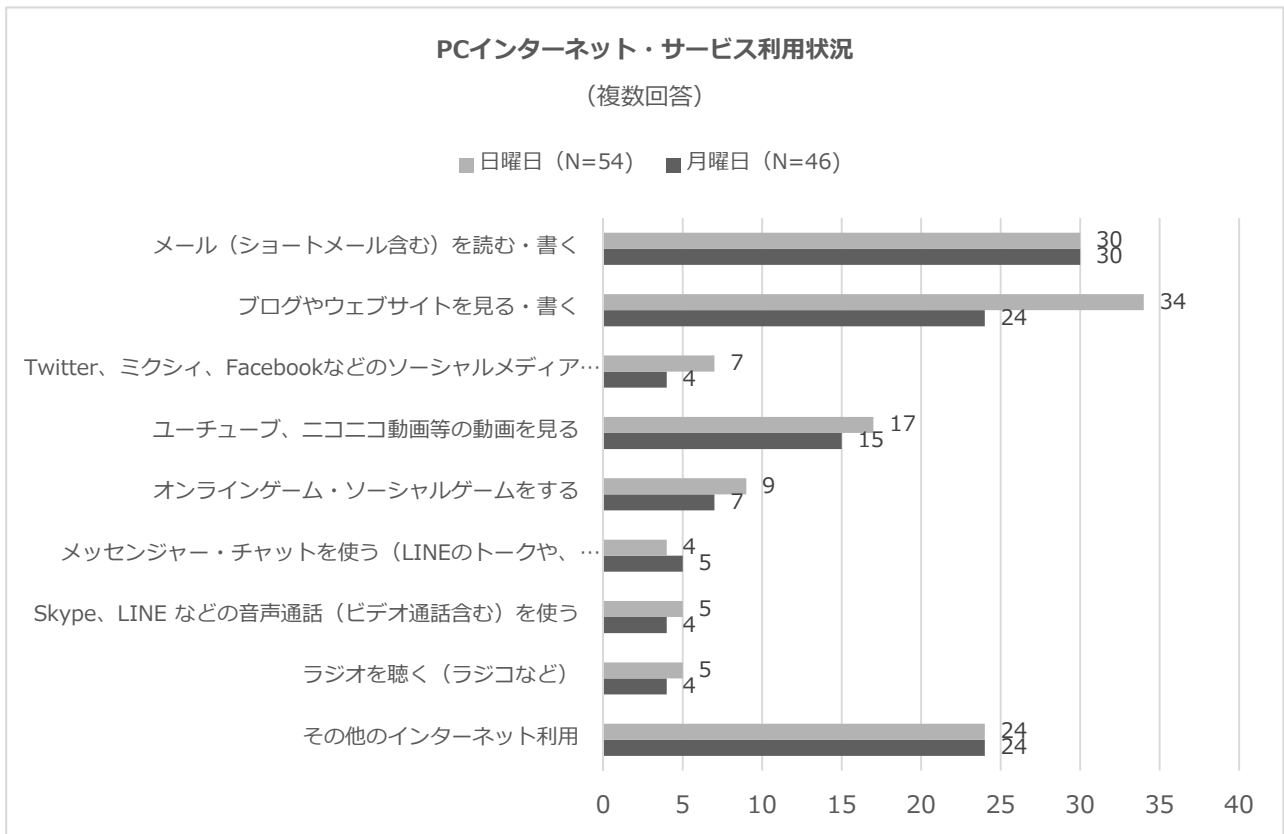
パソコン (PC) からのインターネット・サービスの利用状況について質問している。

PC からインターネット・サービスを利用しているおよその時間について、日曜日 (週末) と月曜日 (平日) について質問した。日曜日の PC インターネットの平均利用時間 (N=54) は 112.2 分 (SD=125.01) と、およそ 2 時間弱であった。平日の月曜日のケータイ・インターネットの平均利用時間 (N=46) は 84.5 分 (SD=75.11) であり、日曜日の利用時間のほうが長かった。

1 時間以下の利用者数は、日曜日は 31 人 (57.4%) で、月曜日は 28 人 (60.9%) であり、ケータイ・インターネットよりも利用時間が短い傾向が読み取れる。4 時間以上のヘビーユーザーをみると、日曜日で 7 人 (13.0%)、月曜日で 2 人 (4.3%) となっており、10%前後で存在している。ただし、ケータイのように常時携帯する機器ではないため、PC インターネット利用時間は最長でも 10 時間に留まり、超ヘビーユーザー間の比較ではケータイのほうが長くインターネットを利用していることがわかる。PC インターネット利用は、平均時間はケータイより長いものの、超ヘビーユーザーのレベルではケータイ・インターネットのほうが利用時間が長いことがわかる。

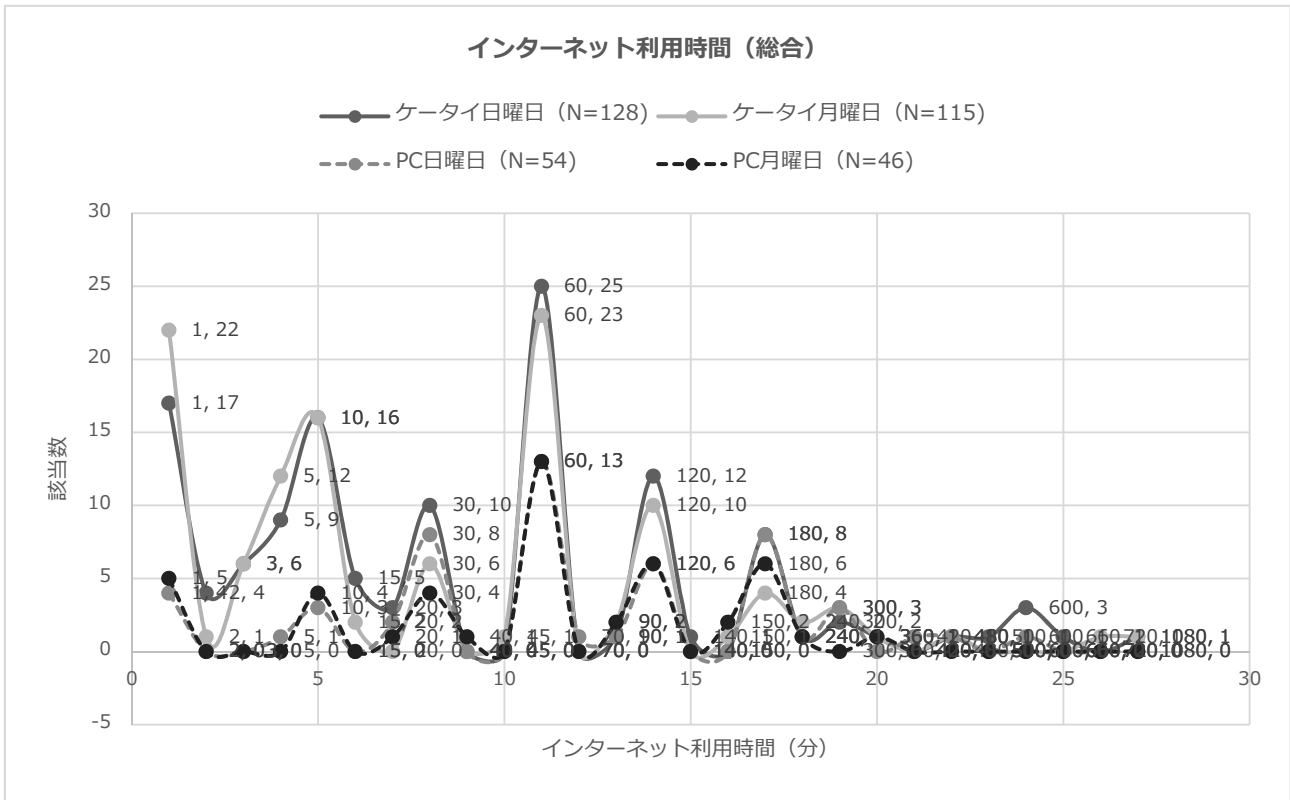


実際に利用しているインターネット・サービスについてしてみると、メールの読み書きやウェブ閲覧が圧倒的に多く、この点ではケータイ・インターネットとの差がない。しかしながら、動画視聴においてはPCからの利用が多い。また、その他の利用も多く、PCインターネット利用のほうが多様性があることがわかる。

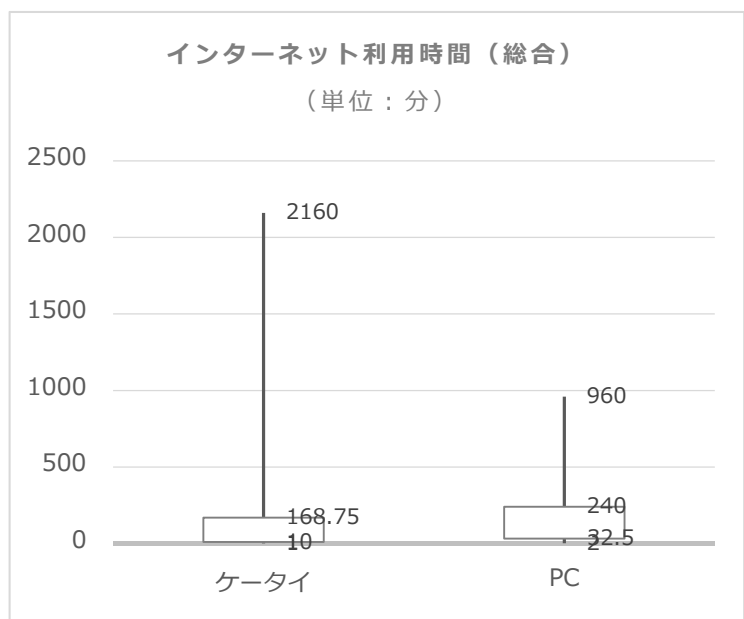


8. 4 インターネットの利用について（全体）

全体としてのインターネット利用時間について分析している。ケータイとPCとの両方の端末からのインターネット・サービス利用時間について集計した。全体の平均利用時間は218.3分（SD=334.89）で、最短が1分で、最長が1080分（18時間）であった。



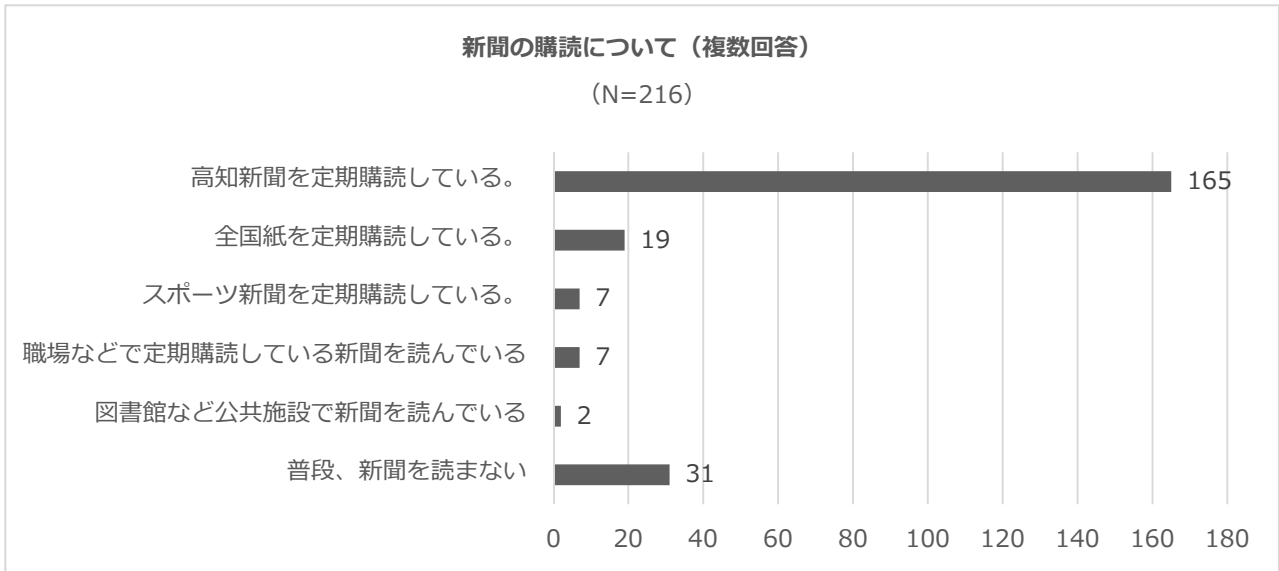
ケータイからのインターネット平均利用時間（150.6分、SD=290.48）とPCからのインターネット平均利用時間（177.6分、SD=193.33）とを比較したが、ケータイとPCとの間に統計的な有意差は確認されなかった。また、日曜日と月曜日との間にも統計的な有意差は確認されなかった。



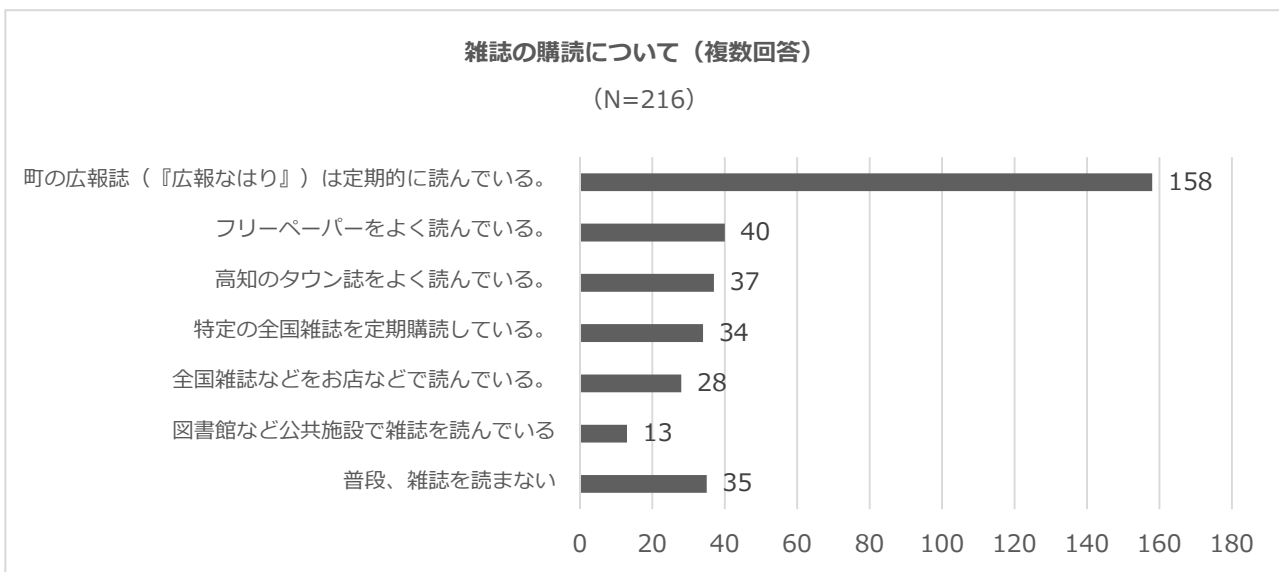
8. 5 新聞・雑誌の購読について

新聞や雑誌の購読状況について質問している。

新聞の購読については、地元紙・高知新聞を購読していると答えたのが165人(76.4%)で、7割以上の世帯で高知新聞を購読していることがわかった。一方、全国紙を購読していると回答したのは19人(8.8%)と1割にも満たない状況であった。「普段、新聞を読まない」と回答した人も31人(14.4%)もいた。



雑誌についても質問している。奈半利町が発行している広報誌『広報なほり』を定期的に読んでいると回答したのが158人(73.1%)、町民の間に浸透している現状がわかる。一方、一般に発行されている雑誌については、1~2割程度が読んでいる状況である(「フリーペーパーをよく読んでいる」(40人、18.5%)、「高知のタウン誌をよく読んでいる」(37人、17.1%)、「特定の全国雑誌を定期購読している」(34人、17.1%)、「全国雑誌などをお店などで読んでいる」(28人、13.0%)、「図書館など公共施設で雑誌を読んでいる」(13人、6.0%))。雑誌はあまり読まれていない状況がみえてくる。

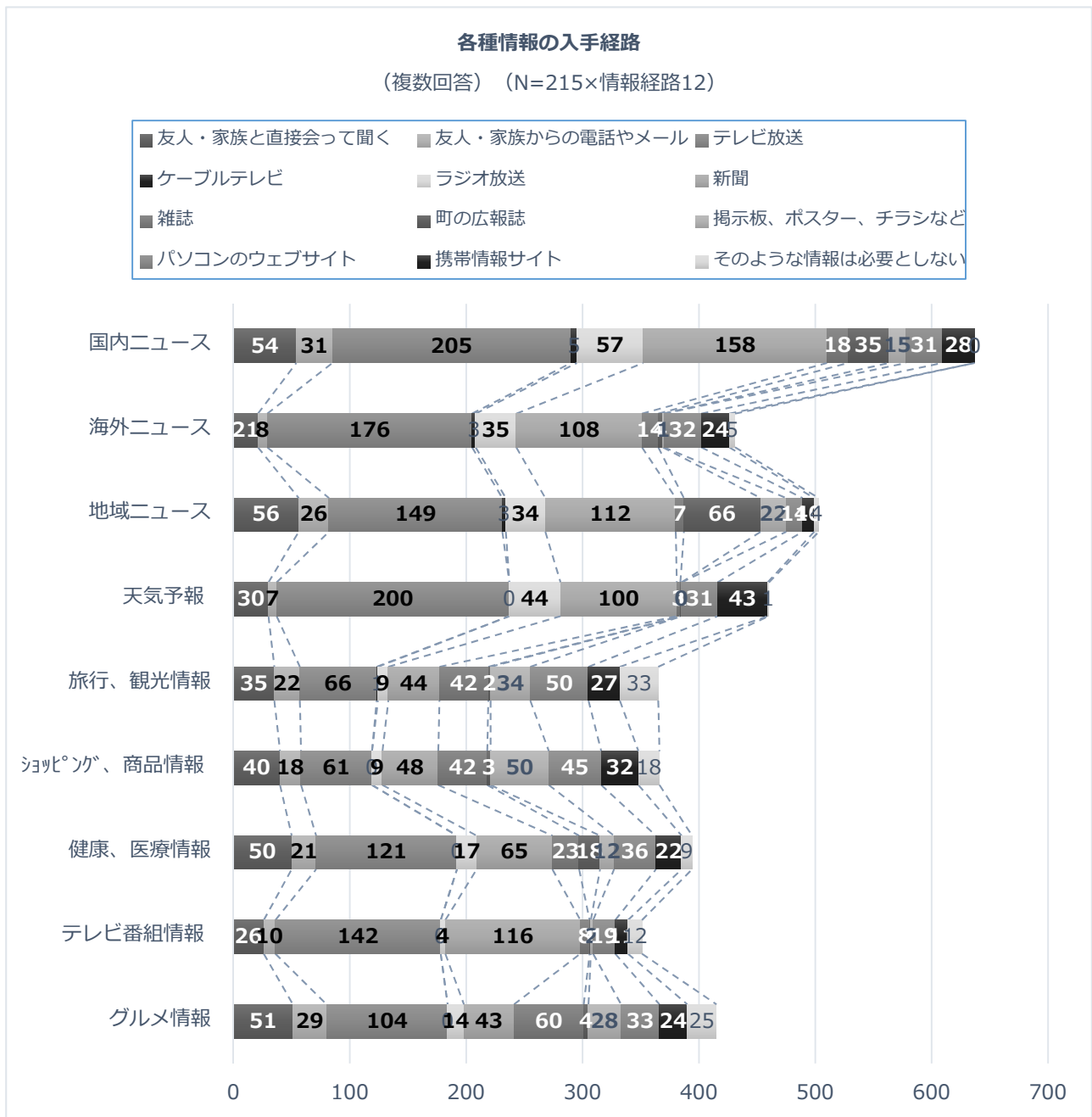


第9章 各種情報の入手経路

調査票では、回答者の日常生活における多様なコミュニケーションについて質問している。

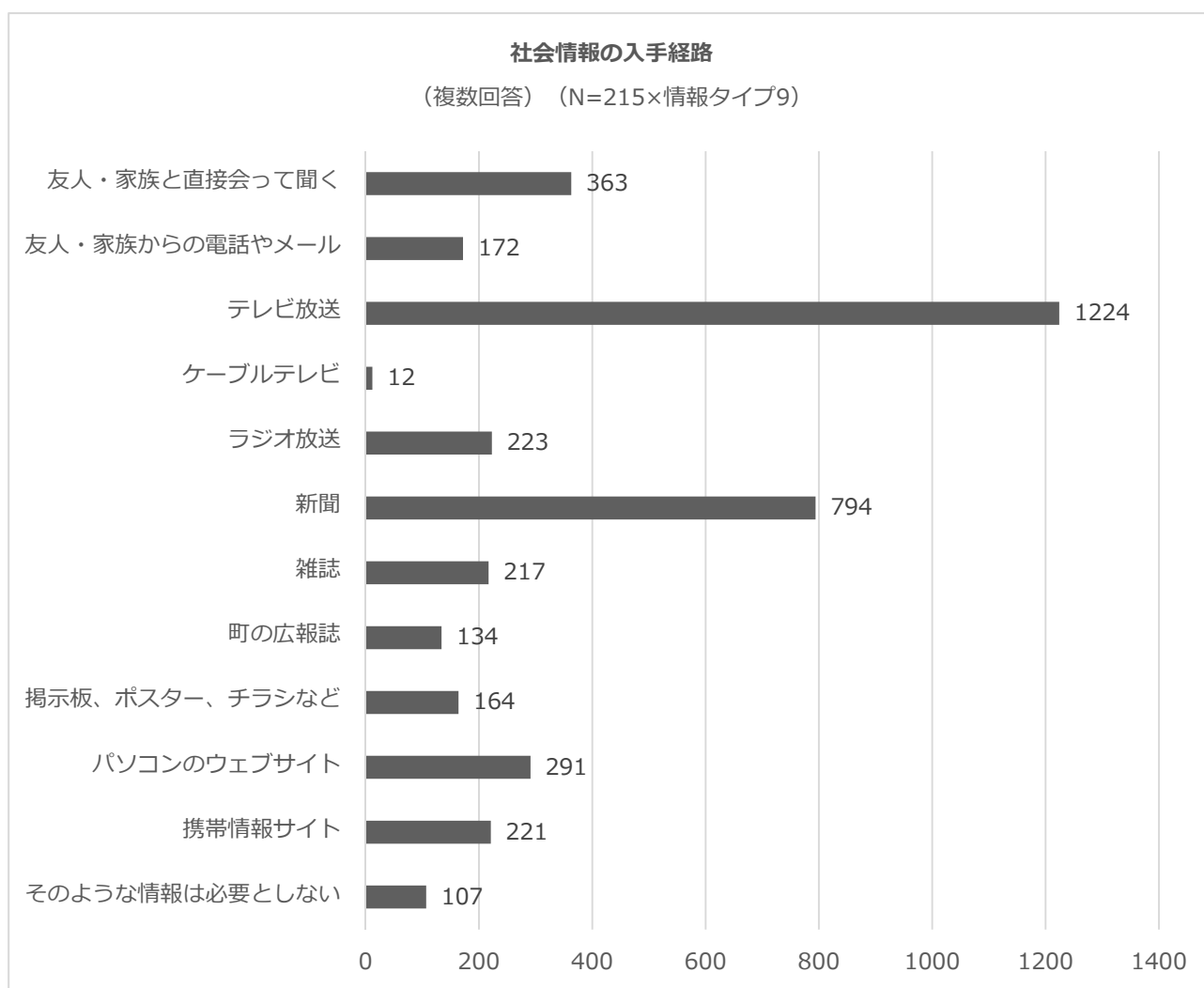
9.1 各種社会情報の入手経路

調査票では、社会情報を「国内ニュース」、「海外ニュース」、「地域（ローカル）ニュース」、「天気予報」、「旅行、観光情報」、「ショッピング、商品情報」、「健康、医療情報」、「テレビ番組情報」、「グルメ情報」の9種類に区分し、それぞれの情報入手経路について該当するもの全てを選択してもらっている。集計結果は下図の通り。最も多くの回答を得ていたのが「国内ニュース」（637、24.7%）、それに「地域（ローカル）ニュース」（503、19.5%）、「天気予報」（460、17.8%）、「海外ニュース」（431、16.7%）、「健康、医療情報」（394、15.3%）が続く。これらの情報が多くの回答者の関心事となっていることがわかる。



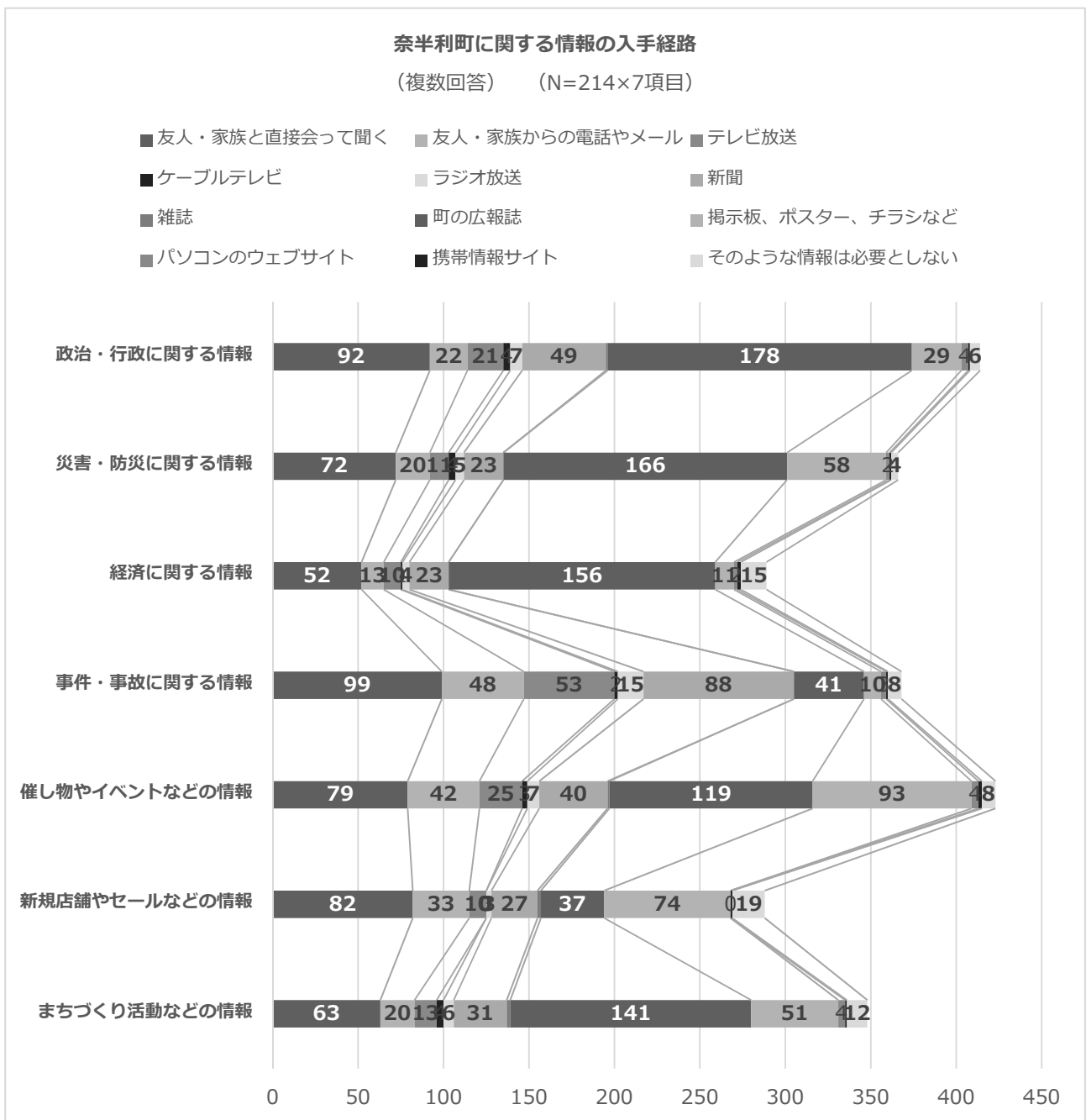
ほぼ全ての情報区分においてテレビと新聞が主要な情報経路となっていることがわかる。また、「地域（ローカル）ニュース」では町の広報誌もテレビや新聞の次に選ばれており、重要な情報源なっていることがわかる。さらに、「健康・医療情報」においては「友人・家族と直接会って聞く」の回答が多く、健康については身近な人に尋ねる傾向が読み取れる。

一方、情報入手経路別に集計したものが下図である。最も多く選ばれた情報経路は「テレビ放送」（1224、63.3%）、次に「新聞」（794、41.0%）であった。マスメディアの主要媒体2つが圧倒的な上位を占めており、テレビや新聞が日常生活に必要とされる多くの情報の入手経路として定着していることがわかる。これらに続くのが「友人・家族と直接会って聞く」（363、18.8%）であり、人伝いに情報を入手する経路で、いわゆるクチコミに該当する。テレビ、新聞、クチコミ以降の情報経路についてはそれ程大きな差がみられない。ラジオや雑誌といったマスメディア媒体同様に、インターネット上の情報（PC ウェブサイトや携帯サイト）や地元密着の媒体（町の広報誌や掲示板など）も利用されている実態がわかる。



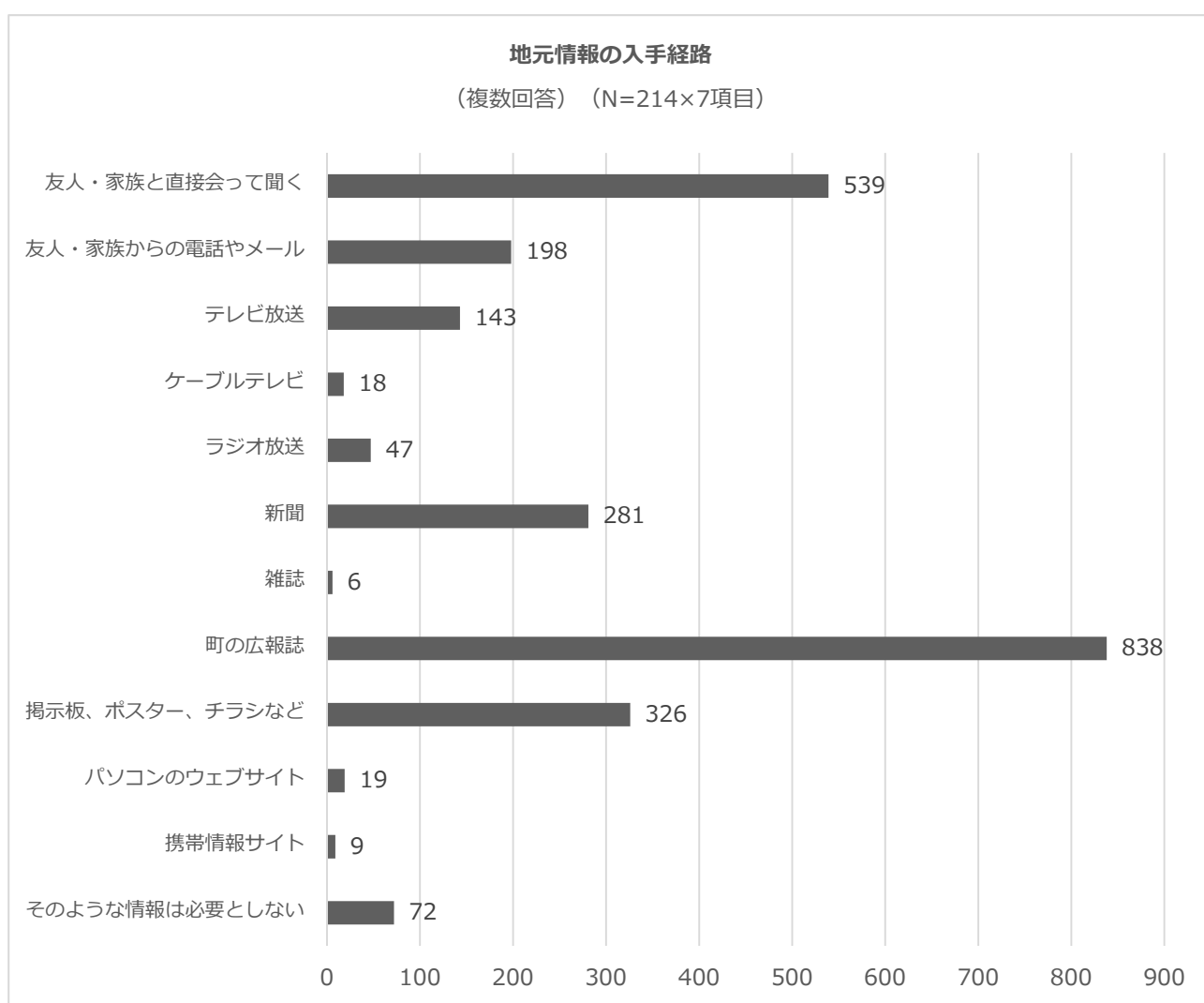
9. 2 地元情報の入手経路

調査票では、地元・奈半利町に関する情報を「奈半利町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）」、「奈半利町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報」、「奈半利町の経済状況に関する情報」、「奈半利町における事件・事故などに関する情報」、「奈半利町において開催される催し物やイベントなどの情報」、「奈半利町における新規店舗や新商品、セールなどの情報」、「奈半利町におけるまちづくり活動などの情報」の7種類に区分して、それぞれの情報入手経路について該当するもの全てを選択してもらっている。集計結果は下図の通り。最も多くの回答を得ていたのが「催し物やイベントなどの情報」（423、28.2%）で、「政治・行政に関する情報」（414、27.6%）、「事件・事故に関する情報」（368、24.6%）と続く。全般的に情報区分間の差がそれ程大きくなく、地元に関しては多様な情報への関心が高く存在している傾向が読み取れる。



また、全般的に地元に着した情報の入手経路として町の広報誌の存在が大きいのが確認できる。さらに、「友人・家族と直接会って聞く」という人伝えによる情報入手や、町ケーブルテレビ経由の情報入手も高い傾向にあることも見て取れる。地元密着情報は、マスメディア媒体よりも、町の広報誌・クチコミ・地元ケーブルテレビが重要な情報経路になっている。

一方、情報入手経路別に集計したものが下図である。「町の広報誌」(838、55.9%)が圧倒的に利用されているのがわかる。次に多かったのが「友人・家族と直接会って聞く」(539、36.0%)で、「友人・家族からの電話やメール」(198、13.2%)を加えると、いわゆるクチコミ経路が5割弱を占めていて、重要な地元情報の流通経路となっていることがわかる。その他、「掲示板、ポスター、チラシなど」(326、21.8%)、「新聞」(281、18.8%)、「テレビ放送」(143、9.5%)、も地元情報源として重要な役割を果たしている。一般的社会情報入手がマスメディア経由であることと比較して、ローカル情報の入手経路が町の広報誌や掲示板などが中心となっていて、これらの情報経路が独自の存在感を示している。

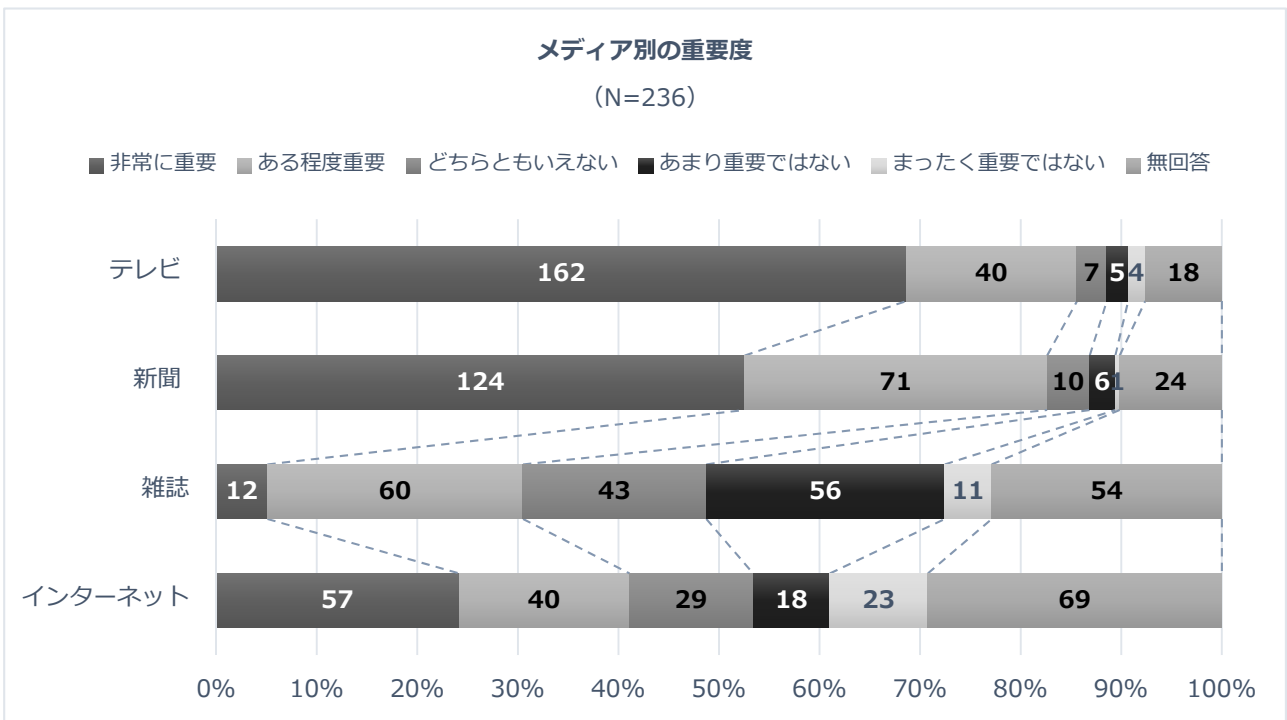


9.3 情報メディアの重要度

調査票では、主要な情報源と考えられる「テレビ」「新聞」「雑誌」「インターネット」の4メディアに対する「重要度」について5段階で質問している。

情報メディアとして最も重要とされたのが「テレビ」であり、「非常に重要」(162、68.6%)と「ある程度重要」(40、16.9%)とを合わせると全体の85.6%が重要と回答していて圧倒的である。次に重要度が高かったのは「新聞」であり、「非常に重要」(124、52.5%)と「ある程度重要」(71、30.1%)とを合わせると全体の82.6%が重要と回答している。

一方、「雑誌」の重要度は高くなく、「非常に重要」(12、5.1%)と「ある程度重要」(60、25.4%)とを合わせても30.5%と3割程度にとどまる。「インターネット」も「非常に重要」(57、24.2%)と「ある程度重要」(40、16.9%)とを合わせても41.1%と重要度はそれほど高くなかった。



次にメディア別の重要度を年代別に分析してみた。統計的には、テレビについては年代差が確認されなかった。新聞の重要度については、20代と比べて60代・70代が、さらに30代と比べて60代が新聞を重要視していることが統計的に有意であった¹。雑誌については40代が70代よりも重要視していることが統計的に有意であった²。インターネットについては、70代と比較して20代～50代が、さらに60代と比較して20代・30代の重要度が統計的に有意に大きかった³。情報メディアとしてのインターネットの重要性について、若い世代は重要視しているが、高齢者においては低く位置づけられていることがわかった。

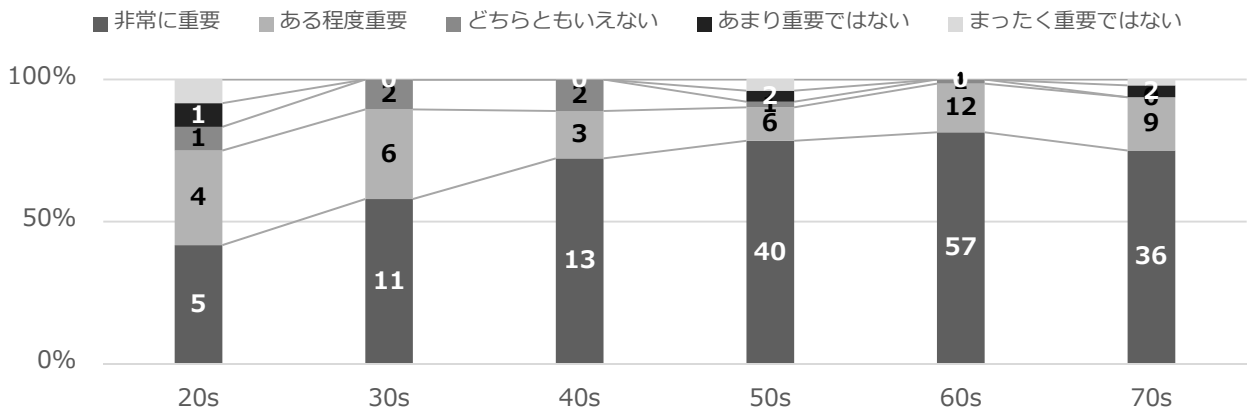
¹ Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=21.00, df=5, p<.01$) の結果が有意であったため、多重比較を行い、「60代・70代」>20代、60代>30代の関係性が有意であった。

² Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=14.82, df=5, p<.05$) の結果が有意であったため、多重比較を行い、40代>70代の関係性が有意であった。

³ Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=53.50, df=5, p<.001$) の結果が有意であったため、多重比較を行い、「20代・30代・40代・50代>70代」、「20代・30代>60代」の関係性が有意であった。

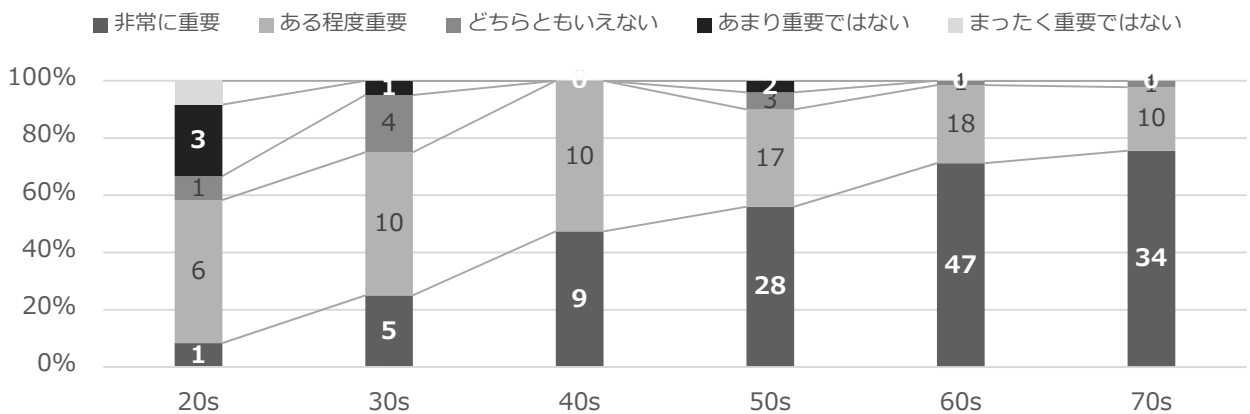
メディア重要度 (テレビ)

(N=218)



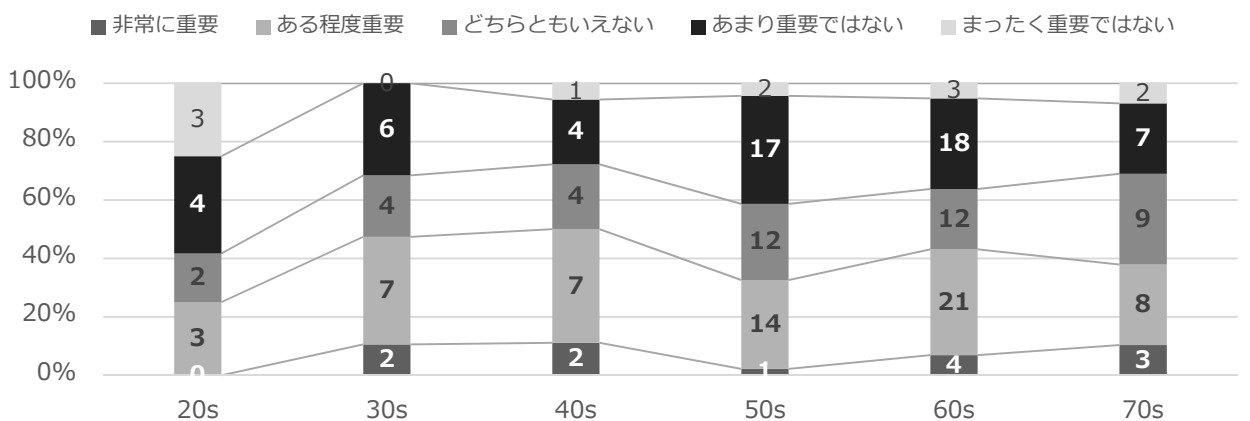
メディア重要度 (新聞)

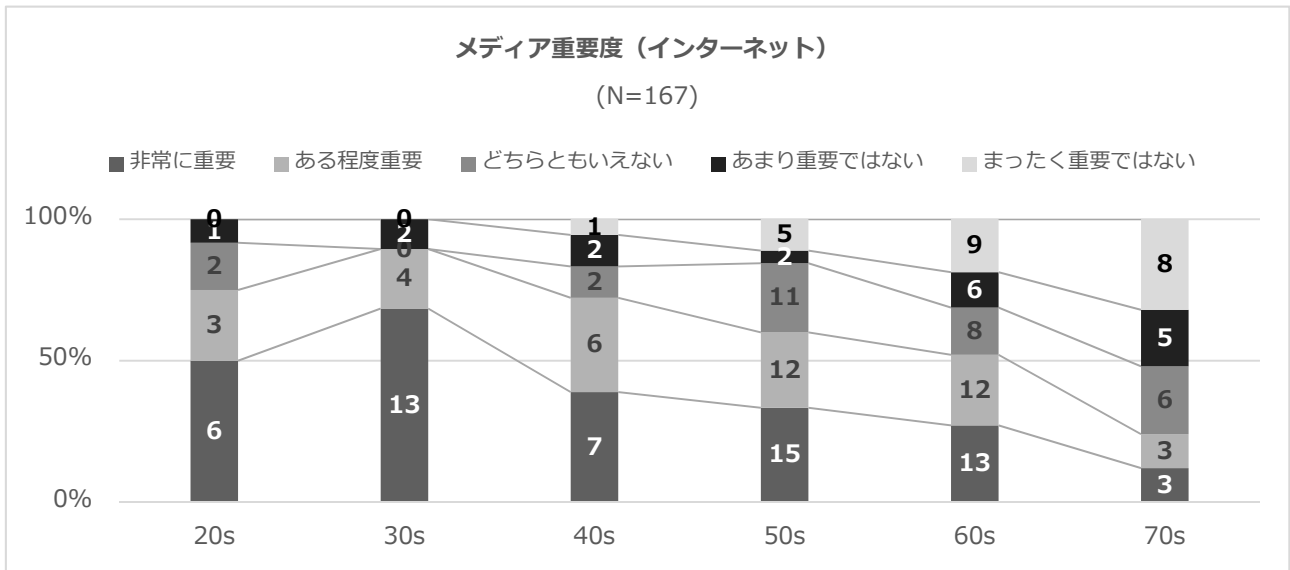
(N=212)



メディア重要度 (雑誌)

(N=182)

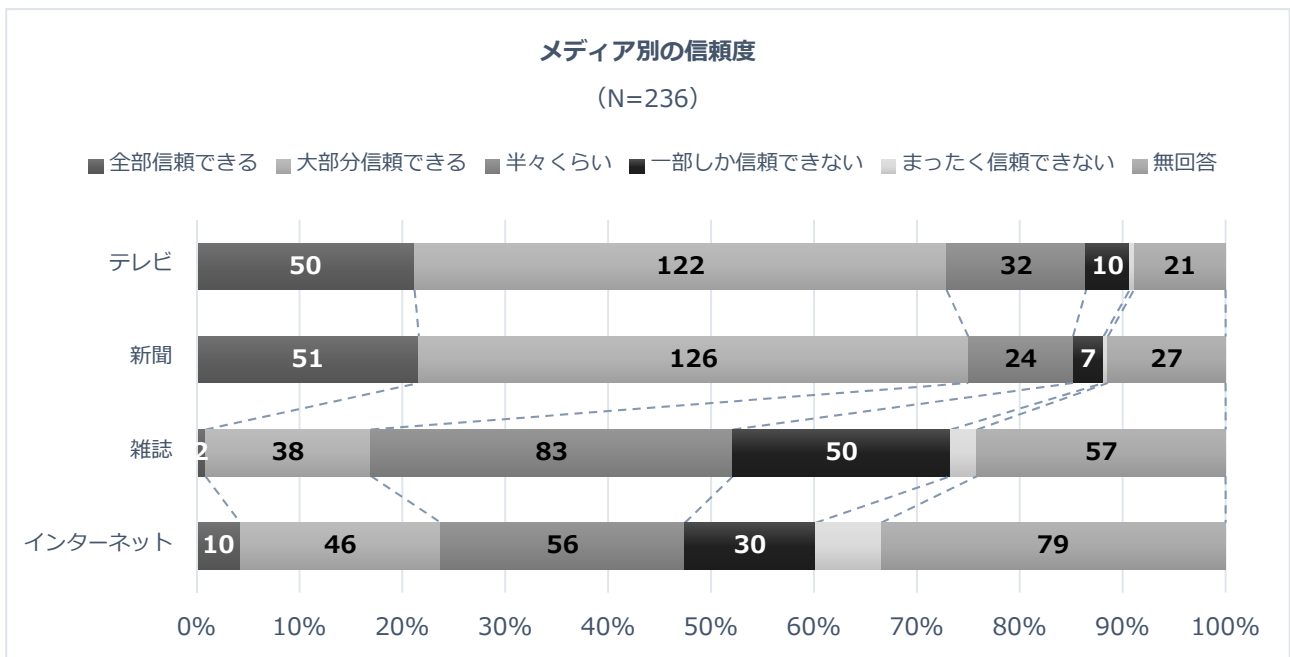




9.4 メディア別の信頼度

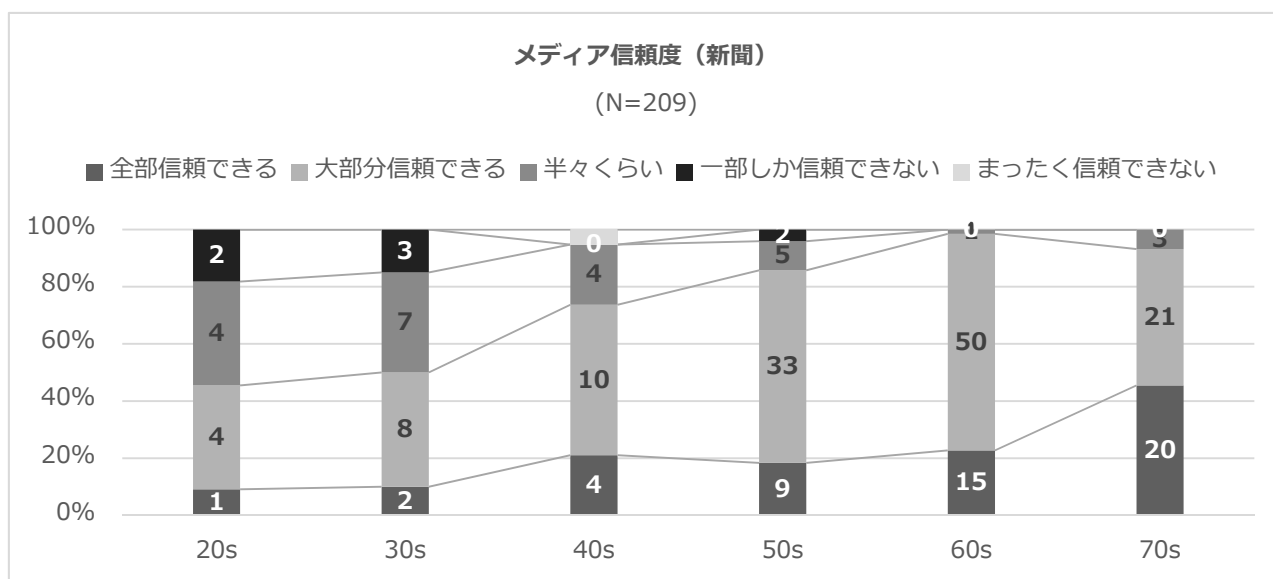
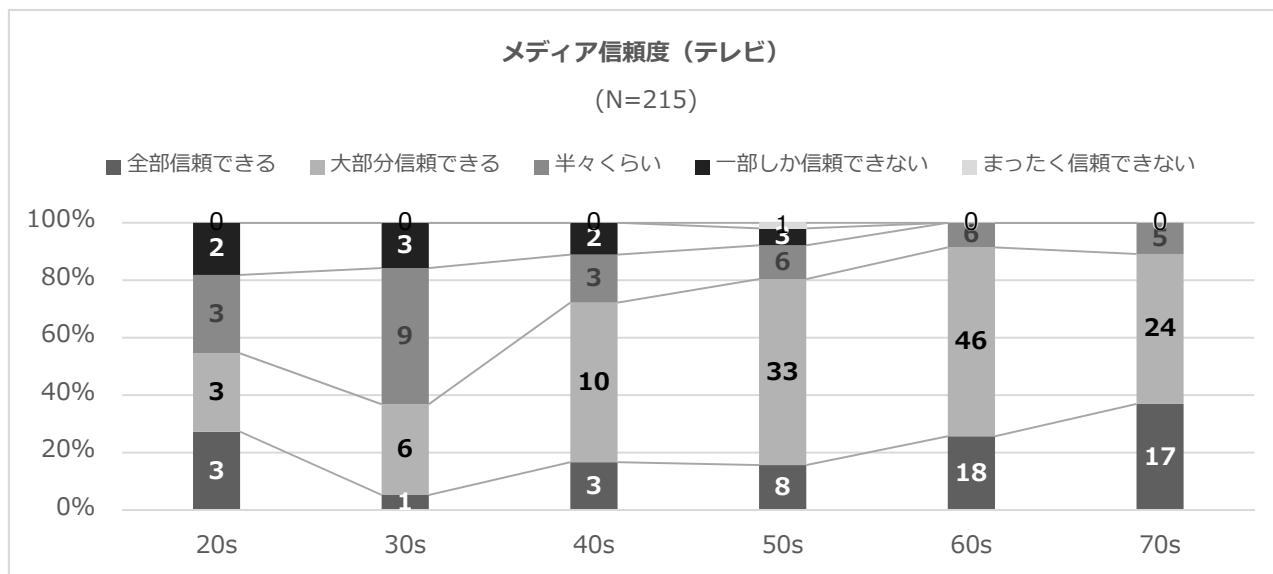
調査票では、主要な情報源と考えられる「テレビ」「新聞」「雑誌」「インターネット」の4メディアに対する「信頼度」について5段階で質問している。

特徴的なのは、テレビと新聞への信頼度の高さである。テレビは「全部信頼できる」(50、21.2%)、「大部分信頼できる」(122、51.7%)と合わせて72.97%を占めている。新聞も「全部信頼できる」(51、21.6%)、「大部分信頼できる」(126、53.4%)と合わせて75.0%を占めていて、2大媒体の信頼度が非常に高いことがわかる。



一方、雑誌およびインターネットへの信頼度となると、相対的に低い傾向が読み取れる。雑誌については、信頼できない(56、23.7%)（「一部しか信頼できない」と「まったく信頼できない」の合計）が、信頼できる(40、16.9%)（「全部信頼できる」と「大部分信頼できる」の合計）より多い。インターネットへの信頼度についても、信頼できる(56、23.7%)が信頼できない(45、19.1%)よりも多いが、それでも信頼度は23.7%に留まっている。

次にメディア別の信頼度を年代別に分析してみた。統計的には、4媒体すべてにおいて年代差が確認された。テレビについては、60代・70代が30代よりも高い信頼を置いていた⁴。新聞についてもテレビ同様に、60代・70代が30代よりも高い信頼を置いていた⁵。



雑誌については、40代が70代よりも高い信頼を置いていた⁶。インターネットへの信頼性については、20代～50代が70代よりも高い信頼を置き、さらに40代が60代よりも高い信頼を置いている状況が明らかとなった⁷。雑誌およびインターネットに対しては、60代以上はあまり信頼を置いていないことがわかった。

⁴ Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=22.16$, $df=5$, $p<.001$) の結果が有意であったため、多重比較を行い、「60代・70代」>30代の関係性が有意であった。

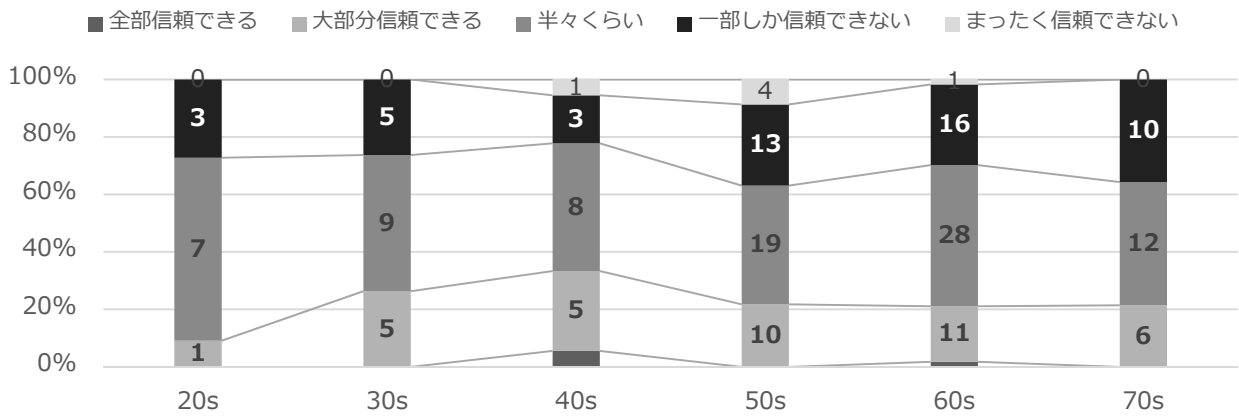
⁵ Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=15.69$, $df=5$, $p<.01$) の結果が有意であったため、多重比較を行い、「60代・70代」>30代の関係性が有意であった。

⁶ Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=18.77$, $df=5$, $p<.01$) の結果が有意であったため、多重比較を行い、40代>70代の関係性が有意であった。

⁷ Kruskal Wallis 検定 ($\chi^2=41.27$, $df=5$, $p<.001$) の結果が有意であったため、多重比較を行い、「20代・30代・40代・50代」>70代、40代>60代の関係性が有意であった。

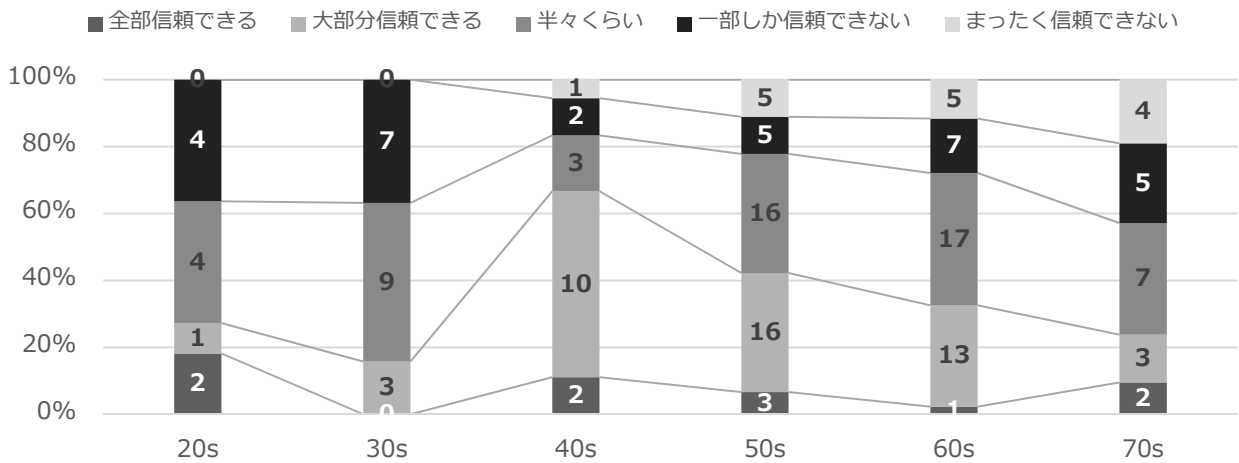
メディア信頼度（雑誌）

(N=179)



メディア信頼度（インターネット）

(N=157)



【付 録】

資料1 「地域コミュニケーション調査 調査票」および単純集計

地域コミュニケーション調査 調査票

(2015(平成27)年 5月～7月)

ご協力をお願い

高知大学人文学部遠山研究室では、地域コミュニティにおけるコミュニケーション状況を明らかにしようと研究をすすめてまいりました。今回の調査目的は、高知県沿岸に位置する町村の住民のみなさまのコミュニケーション状況を把握することです。住民のみなさんの普段のお付き合いや会話、あるいは防災に対する関心などについて明らかにしたいと考えております。

このような地域住民の地域コミュニケーション実態の解明は、地域に関するさまざまな情報がどのように住民のみなさんへ届いているのかを理解するのに役立ちます。最終的には地域コミュニケーションの実態を把握した上で、防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発・提言を目指します。

今回、調査対象になるかたは、安芸郡奈半利町にお住みの有権者のなかからくじびきの方法で選ばせていただきました。調査の結果はすべて数字の形で統計的に処理します。また調査票は無記名で、どなたがお答えになったかがわからないようになっていますので、皆様方および家族の方のことが外部に漏れることはありません。秘密をまもることをかたくお約束しますので、ありのままをおこたえくださいますようお願いいたします。

ご記入にあたっては、かならずご本人様をご回答ください。最後まで回答いただいた調査票は、高知大学生の社会調査員が6月13日(土)・20日(土)・27日(土)の日程でお宅へ訪問して回収いたします。

このアンケート調査の結果は、後日、報告書としてまとめる予定です。結果報告書を希望されるかたは、同封の別紙に宛先を記入して、調査票といっしょに社会調査員へ返却ください。報告書が出来次第、お送りいたします。

お時間をとらせて申し訳ありませんが、ご協力をよろしくお願いいたします。

研究代表 高知大学人文学部 教授 遠山 茂樹

ご記入上のお願い

- ・ 本冊子の質問をお読みいただき、回答は別紙の「平成27年度 地域コミュニケーション調査(奈半利町)回答用紙」(色のついた用紙)へ記入ください。
- ・ 必ず、あなたご自身をご回答ください。
- ・ ご記入は鉛筆または黒・青のボールペンでお願いいたします。
- ・ 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねするものがありますが、その場合は(⇒)などの指示にそってお願いいたします。
- ・ お答えは、回答用紙の該当する回答欄へご記入ください。お答えは、あてはまる回答を選んでその番号をご記入いただく場合と、数字をご記入いただくものがあります。「その他」にあてはまる場合は、その番号を記入の上、カッコ[]の中に具体的な内容をご記入ください。
- ・ お答えになりにくい質問には無理にご回答いただかなくてもかまいません。
- ・

※調査に関するお問い合わせ

電話&FAX:088-844-8183 (高知大学人文学部遠山研究室)

※月曜日～金曜日:10:00～17:00

E-MAIL: s-toyama@kochi-u.ac.jp

第1部 あなたについておうかがいします。

問1 (Q01AGE) あなたの年齢をご記入ください。(N=238)

満 歳 (平均年齢：58.1歳、SD=14.52)

問2 (Q02SEX) あなたの性別にあてはまるもの1つに○をつけてください。(N=238)

1 男 2 女 (男：112名(47.1%)、女：126名(52.9%))

問3 (Q03YRLV) あなたは、現在と同じ市町村に何年くらいお住まいですか。(N=234)

約 年 (平均年：38.5年、SD=19.09)

問4 (Q04STTLV) あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(親など家族名義の場合は自己所有としてお答えください)(N=238)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1 持ち家(一戸建て・集合住宅・分譲マンション) | (192 (80.7%)) |
| 2 賃貸住宅(一戸建て・集合住宅・賃貸マンション) | (12 (5.0%)) |
| 3 公団・県営・町営住宅 | (25 (10.5%)) |
| 4 官舎・社宅・寮(借上げ社宅を含む) | (2 (0.8%)) |
| 5 その他(具体的に) | (6 (2.5%)) |
| [無回答] | (1 (0.4%)) |

問5 あなたのご両親は現在、どちらにお住まいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(N=238)

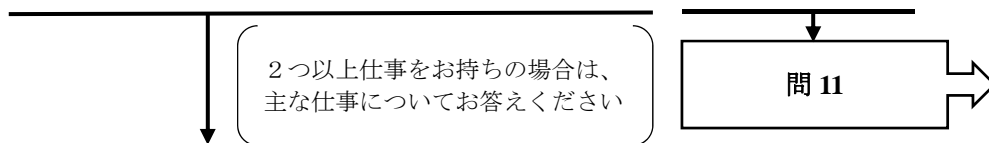
	お父さま (Q05FTLV)	回答数	お母さま (Q05MTLV)	回答数
あなたと同じ建物あるいは同じ敷地内	1	38 (16.0%)	1	54 (22.7%)
あなたと同じ小学校区	2	5 (2.1%)	2	5 (2.1%)
あなたと同じ市町村内	3	13 (5.5%)	3	32 (13.4%)
高知県内	4	14 (5.9%)	4	21 (8.8%)
高知県以外の四国地方内(愛媛県・香川県・徳島県)	5	0 (0.0%)	5	2 (0.8%)
上記以外の地域	6	3 (1.3%)	6	7 (2.9%)
いない(死亡など)	7	153 (64.3%)	7	112 (47.1%)
わからない	8	1 (0.4%)	8	0 (0.0%)
[無回答]		11 (4.6%)		5 (2.1%)

問6 (Q06EDU) あなたが最後に通った学校は次のどれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、中退または在学中の場合も卒業と同じ扱いでお答えください。(N=238)

1	中学校(旧制小学校)	54 (22.7%)	4	専門学校	31 (13.0%)
2	高校(旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	114 (47.9%)	5	大学(旧制高校・大学)	31 (13.0%)
3	短大・高専	8 (3.4%)	6	大学院	0 (0.0%)
			7	[無回答]	0 (0.0%)

問 7 (Q07WORK) あなたは、現在、収入をとまなう仕事についていますか。(N=238)

1	2	3	[無回答]
ついている 145 (60.9%)	ついているが休職中 3 (1.3%)	ついていない 89 (37.4%)	1 (0.4%)



問 8 (Q08OCCU) その仕事は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=148)

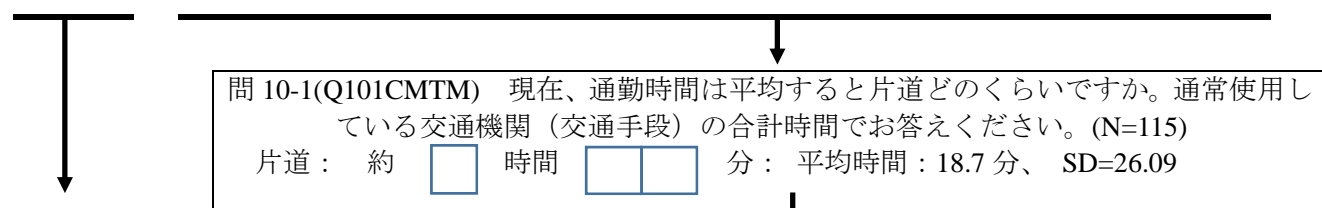
1	自営業主・自由業・家族従業員	49 (20.6%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	43 (18.1%)
2	経営者・役員	6 (2.5%)	6	学生	0 (0.0%)
3	正規の職員・社員	28 (11.8%)	7	その他 (具体的に)	5 (2.1%)
4	公務員	15 (6.3%)		無回答	2 (0.8%)

問 9 (Q09TYPJB) その仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=148)

1	上級管理職 (経営者・役員・部長など)	6 (2.5%)	7	運輸・通信 (運転手・船員・通信員・郵便外務など)	3 (1.3%)
2	中間管理職 (課長・店長など)	7 (2.9%)	8	保安・警備 (守衛・警官・自衛官など)	3 (1.3%)
3	専門・技術 (技術者・教員・弁護士など)	11 (4.6%)	9	製造・建設 (工業作業・建築作業員など)	15 (6.3%)
4	事務 (総務・経理・企画・営業事務など)	17 (7.1%)	10	農林漁業・鉱業	27 (11.3%)
5	販売 (小売店主・店員・外交員など)	19 (8.0%)	11	その他 (具体的に)	21 (8.8%)
6	サービス (理美容・調理・家事サービスなど)	16 (6.7%)		[無回答]	3 (1.2%)

問 10 (Q10PLWK) あなたが主にお仕事をなさっている場所はどこですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=148)

1	2	3	4	5	[無回答]
自宅 23 (15.5%)	お住まいと同じ 小学校区内 11 (7.4%)	お住まいと同じ 市町村内 62 (41.9%)	高知県内 51 (34.5%)	その他の都道府県 (具体的に) 1 (0.7%)	0 (0.0%)



問 11 (Q11INCM) あなたの昨年 1 年間 (1 月～12 月) の収入 (税込み) は、次のうちどれに近いですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=238)

1	なし: 23 (9.7%)	5	500～700 万円未満: 9 (3.8%)	9	1300 万円以上: 1 (0.4%)
2	100 万円未満: 52 (21.8%)	6	700～900 万円未満: 2 (0.8%)	10	わからない: 4 (1.7%)
3	100～300 万円未満: 84 (35.3%)	7	900～1100 万円未満: 3 (1.3%)	11	答えたくない: 11 (4.6%)
4	300～500 万円未満: 30 (12.6%)	8	1100～1300 万円未満: 2 (0.8%)		[無回答]: 17 (7.1%)

問 12 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。それぞれについてあてはまるもの1つに○をつけてください。
(N=237)

兄(Q12ELBR) [N=83] : 平均人数=1.41 人、SD=0.86 1 人 (58; 24.5%)、2 人 (21; 8.9%)、3 人 (2; 0.8%)、4 人 (1; 0.4%)、7 人 (1; 0.4%)
姉(Q12ELST) [N=92] : 平均人数=1.48 人、SD=0.82 1 人 (63; 26.6%)、2 人 (18; 7.6%)、3 人 (7; 3.0%)、4 人 (4; 1.7%)
弟(Q12YGBR) [N=92] : 平均人数=1.30 人、SD=0.71 1 人 (73; 30.8%)、2 人 (13; 5.5%)、3 人 (4; 1.7%)、4 人 (1; 0.4%)、5 人 (1; 0.4%)
妹(Q12YGST) [N=74] : 平均人数=1.45 人、SD=0.67 1 人 (48; 20.3%)、2 人 (19; 8.0%)、3 人 (7; 3.0%)

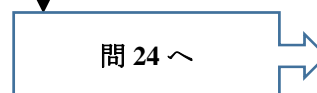
第 2 部 あなたのご結婚・配偶者・ご家族についておうかがいします。

※結婚には、婚姻届を出していない関係も含みます。

※配偶者とは、あなたのご主人、パートナーの方などをさします。

問 13(Q13SPSE) あなたには、現在、配偶者の方がいますか。 (N=238)

1	2	3	[無回答]
配偶者がいる	いない (離別・死別)	いない (結婚したことがない)	
156 (65.5%)	43 (18.1%)	38 (16.0%)	1 (0.4%)



問 14(Q14SPAG) 配偶者の方の年齢をご記入ください。

満 歳 平均年齢 : 59.9 歳、SD=12.67 (N=155)

問 15(Q15SPED) あなたの配偶者が最後に通った学校は次のどれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、中退または在学中の場合も卒業と同じ扱いでお答えください。

(N=156)

1	中学校 (旧制小学校)	34 (21.8%)	5	大学 (旧制高校・大学)	16 (10.3%)
2	高校 (旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	76 (48.7%)	6	大学院	0 (0.0%)
3	短大・高専	20 (12.8%)	7	わからない	2 (1.3%)
4	専門学校	8 (5.1%)		無回答	0 (0.0%)

問 16(Q16SPLV) 配偶者の方は、現在、あなたといっしょにお住まいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。 (N=156)

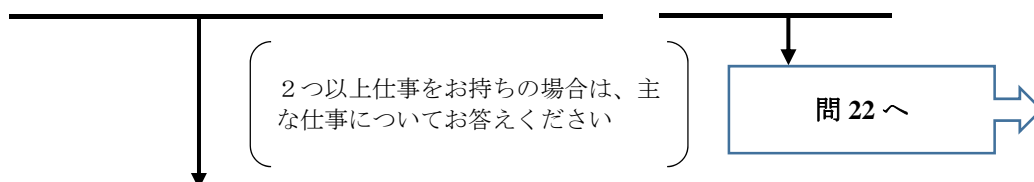
1	2	3	[無回答]
いっしょに住んでいる	別居 (単身赴任など)	その他 (具体的に)	
150 (96.2%)	6 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

問 17 配偶者の方のご両親は現在、どちらにお住まいですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=156)

	お義父さま (Q17SPFTLV)	回答数	お義母さま (Q17SPMTLV)	回答数
あなたと同じ建物あるいは同じ敷地内	1	6件 (3.8%)	1	9件 (5.8%)
あなたと同じ小学校区	2	3件 (1.9%)	2	6件 (3.8%)
あなたと同じ市町村内	3	11件 (7.1%)	3	18件 (11.5%)
高知県内	4	19件 (12.2%)	4	27件 (17.3%)
高知県以外の四国地方内 (愛媛県・香川県・徳島県)	5	0件 (0.0%)	5	0件 (0.0%)
上記以外の地域	6	3件 (1.9%)	6	4件 (1.7%)
いない (死亡など)	7	107件 (68.6%)	7	88件 (56.4%)
わからない	8	1件 (0.6%)	8	2件 (1.3%)
[無回答]		6件 (3.8%)		2件 (1.3%)
合計		156件 (100.0%)		156件 (100.0%)

問 18(Q18SPWK) 配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事についていますか。(N=156)

1	2	3	[無回答]
ついている 98 (62.8%)	ついているが休職中 1 (0.6%)	ついていない 56 (35.9%)	1 (0.6%)



問 19(Q19SPOC) 配偶者の方の仕事は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=99)

1	自営業主・自由業・家族従業員	33 (33.3%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	16 (16.2%)
2	経営者・役員	5 (5.1%)	6	学生	0 (0.0%)
3	正規の職員・社員	24 (24.2%)	7	その他 (具 88 体的に)	9 (9.1%)
4	公務員	11 (11.1%)		[無回答]	1 (1.0%)

問 20(Q20SPJB) 配偶者の方の仕事の種類は、大きく分けて次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=99)

1	上級管理職 (経営者・役員・部長など)	4 (4.0%)	7	運輸・通信 (運転手・船員・通信員・郵便外務など)	1 (1.0%)
2	中間管理職 (課長・店長など)	6 (6.1%)	8	保安・警備 (守衛・警官・自衛官など)	1 (1.0%)
3	専門・技術 (技術者・教員・弁護士など)	6 (6.1%)	9	製造・建設 (工業作業・建築作業員など)	11 (11.1%)
4	事務 (総務・経理・企画・営業事務など)	13 (13.1%)	10	農林漁業・鉱業	21 (21.2%)
5	販売 (小売店主・店員・外交員など)	10 (10.1%)	11	その他 (具体的)	11 (11.1%)
6	サービス (理美容・調理・家事サービスなど)	14 (14.1%)		[無回答]	1 (1.0%)

問 21(Q21PLWP) 配偶者の方が主にお仕事をなさっている場所はどこですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=99)

1	2	3	4	5	[無回答]
自宅 16 (16.2%)	お住まいと同じ 小学校区内 5 (5.1%)	お住まいと同じ 市町村内 34 (34.3%)	高知県内 39 (39.4%)	その他の都道府県 (具体的に) 3 (3.0%)	2 (2.0%)

問 21-1(Q211SPCM) 配偶者の方の通勤時間は平均すると片道どのくらいですか。通常使用している交通機関 (交通手段) の合計時間でお答えください。(N=80)

片道： 約 時間 分 : 平均時間=19.3 分、SD=22.49

問 22(Q22SPIN) 配偶者の方の昨年 1 年間 (1 月~12 月) の収入 (税込み) は、次のうちどれに近いですか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=156)

1 なし : 21 (13.5%)	5 500~700 万円未満 : 12 (7.7%)	9 1300 万円以上 : 2 (1.3%)
2 100 万円未満 : 25 (16.0%)	6 700~900 万円未満 : 4 (2.6%)	10 わからない : 7 (4.5%)
3 100~300 万円未満 : 45 (28.8%)	7 900~1100 万円未満 : 1 (0.6%)	11 答えたくない : 6 (3.8%)
4 300~500 万円未満 : 24 (15.4%)	8 1100~1300 万円未満 : 2 (1.3%)	[無回答] : 7 (4.5%)

問 23 配偶者の方の兄弟姉妹は何人ですか。それぞれについてあてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=156)

兄(Q231ELBR) [N=58] : 平均人数=1.24 人、SD=0.60 1 人 (48; 30.8%)、2 人 (7; 4.5%)、3 人 (2; 1.3%)、4 人 (1; 0.6%)
姉(Q12ELST) [N=54] : 平均人数=1.30 人、SD=0.79 1 人 (45; 28.8%)、2 人 (5; 3.2%)、3 人 (2; 1.3%)、4 人 (1; 0.6%)、5 人 (1; 0.6%)
弟(Q12YGBR) [N=75] : 平均人数=1.27 人、SD=0.58 1 人 (59; 37.8%)、2 人 (13; 8.3%)、3 人 (2; 1.3%)、4 人 (1; 0.6%)
妹(Q12YGST) [N=52] : 平均人数=1.31 人、SD=0.58 1 人 (39; 25.0%)、2 人 (10; 6.4%)、3 人 (3; 1.9%)

問 24(Q24CHLD) あなたには、現在、子どもはいますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。(N=209)

1	2	[無回答]
はい、います 180 (75.6%)	いいえ、いません 56 (23.5%)	2 (0.8%)

問 27 ~

問 25(Q25CHNO) あなたの子どもの人数をご記入ください。(N=180)

人 : 平均人数=2.2 人、SD=0.68
1 人 (20; 11.1%)、2 人 (108; 60.0%)、3 人 (46; 25.6%)、4 人 (6; 3.3%)

問 26 あなたの子どもについて、年長者から順に4人目までのお子さまについて、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。お子さまの年齢につきましても各自の満年齢をご記入ください。もし、5人以上お子さまがいる場合でも、4人目までの記入で結構です。

	一人目 (N=180)	二人目 (N=160)	三人目 (N=52)	四人目 (N=5)
年齢	(Q261AGE) 満()歳 平均年齢=34.6歳 SD=12.97	(Q262AGE) 満()歳 平均年齢=32.8歳 SD=12.16	(Q263AGE) 満()歳 平均年齢=26.2歳 SD=11.67	(Q264AGE) 満()歳 平均年齢=27.8歳 SD=12.64
性別	(Q261SX) 1 男: 94 (52.2%) 2 女: 85 (47.2%) 無回答: 1 (0.6%)	(Q262SX) 1 男: 76 (47.5%) 2 女: 83 (51.9%) 無回答: 1 (0.6%)	(Q263SX) 1 男: 25 (48.1%) 2 女: 27 (51.9%) 無回答: 0 (0.0%)	(Q264SX) 1 男: 2 (40.0%) 2 女: 3 (60.0%) 無回答: 0 (0.0%)
住まい	(Q261LV) 1 同居、同じ敷地内 53 (29.4%) 2 別居、同じ町内 21 (11.7%) 3 別居、高知県内 55 (30.6%) 4 別居、高知県外 48 (26.7%) 無回答: 3 (1.7%)	(Q262LV) 1 同居、同じ敷地内 43 (26.9%) 2 別居、同じ町内 19 (11.9%) 3 別居、高知県内 46 (28.7%) 4 別居、高知県外 49 (30.6%) 無回答: 3 (1.9%)	(Q263LV) 1 同居、同じ敷地内 19 (36.5%) 2 別居、同じ町内 7 (13.5%) 3 別居、高知県内 12 (23.1%) 4 別居、高知県外 12 (23.1%) 無回答: 2 (3.8%)	(Q264LV) 1 同居、同じ敷地内 2 (40.0%) 2 別居、同じ町内 0 (0.0%) 3 別居、高知県内 1 (20.0%) 4 別居、高知県外 2 (40.0%) 無回答: 0 (0.0%)
最後に通った学校	(Q261EDU) 1 未就学児 7 (3.9%) 2 小学校 2 (1.1%) 3 中学校 9 (5.0%) 4 高等学校 70 (38.9%) 5 短大・高専 21 (11.7%) 6 専門学校 23 (12.8%) 7 大学 41 (22.8%) 8 大学院 4 (2.2%) 無回答: 3 (1.7%)	(Q262EDU) 1 未就学児 4 (2.5%) 2 小学校 2 (1.3%) 3 中学校 10 (6.3%) 4 高等学校 57 (35.6%) 5 短大・高専 17 (10.6%) 6 専門学校 20 (12.5%) 7 大学 38 (23.8%) 8 大学院 8 (5.0%) 無回答: 4 (2.5%)	(Q263EDU) 1 未就学児 2 (3.8%) 2 小学校 3 (5.8%) 3 中学校 7 (13.5%) 4 高等学校 15 (28.8%) 5 短大・高専 2 (3.8%) 6 専門学校 6 (11.5%) 7 大学 13 (25.0%) 8 大学院 1 (1.9%) 無回答: 3 (5.8%)	(Q264EDU) 1 未就学児 0 (0.0%) 2 小学校 0 (0.0%) 3 中学校 1 (20.0%) 4 高等学校 1 (20.0%) 5 短大・高専 2 (40.0%) 6 専門学校 1 (20.0%) 7 大学 0 (0.0%) 8 大学院 0 (0.0%) 無回答: 0 (0.0%)
仕事	(Q261JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 20 (11.1%) 2 経営者・役員 3 (1.7%) 3 正規の職員・社員 53 (29.4%) 4 公務員 26 (14.4%)	(Q262JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 15 (9.4%) 2 経営者・役員 0 (0.0%) 3 正規の職員・社員 61 (38.1%) 4 公務員 19 (11.9%)	(Q263JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 2 (3.8%) 2 経営者・役員 1 (1.9%) 3 正規の職員・社員 12 (23.1%) 4 公務員 5 (9.6%)	(Q264JOB) 1 自営業主・自由業・家族従業員 0 (0.0%) 2 経営者・役員 0 (0.0%) 3 正規の職員・社員 4 (80.0%) 4 公務員 0 (0.0%)

5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣 32 (17.8%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣 22 (13.8%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣 7 (13.5%)	5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣 0 (0.0%)
6	学生 12 (6.7%)	6	学生 19 (11.9%)	6	学生 14 (26.9%)	6	学生 1 (20.0%)
7	仕事をしていない（専業主婦・退職者など） 16 (8.9%)	7	仕事をしていない（専業主婦・退職者など） 9 (5.6%)	7	仕事をしていない（専業主婦・退職者など） 5 (9.6%)	7	仕事をしていない（専業主婦・退職者など） 0 (0.0%)
8	わからない 6 (3.3%)	8	わからない 5 (3.1%)	8	わからない 1 (1.9%)	8	わからない 0 (0.0%)
	[未就学児]: 7 (3.9%) 無回答: 5 (2.8%)		[未就学児]: 4 (2.5%) 無回答: 6 (3.8%)		[未就学児]: 2 (3.8%) 無回答: 3 (5.8%)		[未就学児]: 0 (0.0%) 無回答: 0 (0.0%)

第3部 あなたが日ごろから親しくしている人たちについておうかがいします。

問 27(Q27KIN) あなたの家族（配偶者、子ども、両親、兄弟姉妹）以外で、日常的に交流のある親せきは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=228)

人：平均人数=6.5 人、SD=8.66

問 28(Q28WKFR) あなたの仕事の関係上で、プライベートでも親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=201)

人：平均人数=5.0 人、SD=6.76

問 29(Q29CHFR) あなたの子どもたちを通じて知り合い、現在もプライベートで親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=186)

人：平均人数=2.7 人、SD=4.08

問 30(Q30LCFR) 地元の活動や共通の趣味などを通じて知り合い、あなたが現在もプライベートで親しくしている人たちは何人いますか。おおよその人数をご記入ください。(N=213)

人：平均人数=6.0 人、SD=16.59

問 31(Q31LCAC) あなたは、次のような活動に参加していますか。過去1年間のあいだに参加されたことがあるものすべてに○をつけてください。いずれの活動にも参加していない方は、「8」に○をつけてください。(N=236) [複数回答]

		参加したことがある
1	自治会・町内会・婦人会などの地域活動	80 (33.9%)
2	幼稚園・保育園・学童クラブの父母会、学校のPTAの活動	21 (8.9%)
3	子育てに関連したグループでの活動	11 (4.7%)
4	趣味やスポーツのグループでの活動	66 (28.0%)
5	ボランティア活動	52 (22.0%)
6	市民運動・消費者運動のグループでの活動	9 (3.8%)
7	宗教の団体や教会での活動	11 (4.7%)
8	いずれの活動にも参加していない	98 (41.5%)

第4部 あなたが普段よく話す方たちで、重要なことを話したり、悩みを相談する方たちについてお伺いします。

問 32(Q32INMT) あなたがよく話をする人たちについておうかがいします。あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=235)

人：平均人数=3.3人、SD=2.84

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんとします。ただし、A～Dとは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん

問 33 あなたが重要なことを話したり、悩みを相談したりする方たちについてお伺いします。先ほど思い浮かべたAさん～Dさんについて、あなたとそれの方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	Aさん (Q33ARK) (N=214)	Bさん (Q33BRL) (N=187)	Cさん (Q33CRL) (N=145)	Dさん (Q33DRL) (N=97)	全体 (N=643)
配偶者(夫または妻)	88 (41.1%)	9 (4.8%)	2 (1.4%)	4 (4.1%)	103 (16.0%)
親または子ども	31 (14.5%)	73 (39.0%)	29 (20.0%)	10 (10.3%)	143 (22.2%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	31 (14.5%)	34 (18.2%)	48 (33.1%)	19 (19.6%)	132 (20.5%)
職場の上司または部下	3 (1.4%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	4 (4.1%)	10 (1.6%)
職場の同僚(上司・部下以外)	7 (3.3%)	5 (2.7%)	4 (2.8%)	3 (3.1%)	19 (3.0%)
その他の仕事関係	1 (0.5%)	6 (3.2%)	8 (5.5%)	4 (4.1%)	19 (3.0%)
同じ組織や団体に加入している人	3 (1.4%)	3 (1.6%)	5 (3.4%)	6 (6.2%)	17 (2.6%)
近所の人	4 (1.9%)	10 (5.3%)	7 (4.8%)	5 (5.2%)	26 (4.0%)
友人	41 (19.2%)	40 (21.4%)	41 (28.3%)	39 (40.2%)	161 (25.0%)
その他	3 (1.4%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	2 (2.1%)	8 (1.2%)
無回答	2 (0.9%)	1 (0.5%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	5 (0.8%)

問 34 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	Aさん (Q34ASX) (N=214)	Bさん (Q34BSX) (N=187)	Cさん (Q34CSX) (N=145)	Dさん (Q34SDX) (N=97)	全体 (N=643)
男性	99 (46.3%)	81 (43.3%)	63 (43.4%)	45 (46.4%)	288 (44.8%)
女性	115 (53.7%)	104 (55.6%)	81 (55.9%)	52 (53.6%)	352 (54.7%)
無回答	0 (0.0%)	2 (1.1%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	3 (0.5%)

問 35 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	A さん (Q35AAGE) (N=210)	B さん (Q35BAGE) (N=183)	C さん (Q35CAGE) (N=143)	D さん (Q35DAGE) (N=95)	全体 (N=643)
平均年齢	57.6, SD=14.39	56.4, SD=17.40	56.5, SD=16.20	56.3, SD=16.36	56.8, SD=15.99

問 36 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	A さん (Q36AKNYR) (N=196)	B さん (Q36BKNYR) (N=172)	C さん (Q36CKNYR) (N=133)	D さん (Q36DKNYR) (N=95)	全体 (N=596)
平均年数	33.6, SD=16.15	35.9, SD=17.39	35.6, SD=18.84	32.4, SD=16.75	34.5, SD=17.24

問 37 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
AB「A さんと B さんは、知り合い ですか」(Q37KNAB) (N=187)	158 (84.5%)	22 (11.8%)	1 (0.5%)	6 (3.2%)
AC「A さんと C さんは、知り合い ですか」(Q37KNAC) (N=145)	122 (84.1%)	18 (12.4%)	0 (0.0%)	5 (3.4%)
AD「A さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNAD) (N=97)	74 (76.3%)	19 (19.6%)	2 (2.1%)	2 (2.1%)
BC「B さんと C さんは、知り合い ですか」(Q37KNBC) (N=145)	111 (76.6%)	23 (15.9%)	3 (2.1%)	8 (5.5%)
BD「B さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNBD) (N=97)	67 (69.1%)	17 (17.5%)	5 (5.2%)	8 (8.2%)
CD「C さんと D さんは、知り合い ですか」(Q37KNCD) (N=97)	68 (70.1%)	17 (17.5%)	3 (3.1%)	9 (9.3%)

問 38 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。

	A さん (Q38ACTFR) (N=214)	B さん (Q38BCTFR) (N=187)	C さん (Q38CCTFR) (N=145)	D さん (Q38DCTFR) (N=97)	全体 (N=643)
ほとんど毎日	128 (59.8%)	60 (32.1%)	26 (17.9%)	20 (20.6%)	234 (36.4%)
週に数回	38 (17.8%)	62 (33.2%)	38 (26.2%)	29 (29.9%)	167 (26.0%)
週に 1 回程度	18 (8.4%)	39 (20.9%)	32 (22.1%)	17 (17.5%)	106 (16.5%)
月に 1 回程度	14 (6.5%)	16 (8.6%)	36 (24.8%)	25 (25.8%)	91 (14.2%)
年に数回	12 (5.6%)	7 (3.7%)	13 (9.0%)	6 (6.2%)	38 (5.9%)
無回答	4 (1.9%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (1.1%)

問 39 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	A さん (Q39AEDU) (N=214)	B さん (Q39BEDU) (N=187)	C さん (Q39CEDU) (N=145)	D さん (Q39DEDU) (N=97)	全体 (N=643)
中学校（旧制小学校）	41 (19.2%)	30 (16.0%)	28 (19.3%)	14 (14.4%)	113 (17.6%)
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	97 (45.3%)	94 (50.3%)	66 (45.5%)	44 (45.4%)	301 (46.8%)
短大・高専	17 (7.9%)	13 (7.0%)	9 (6.2%)	3 (3.1%)	42 (6.5%)
専門学校	14 (6.5%)	7 (3.7%)	9 (6.2%)	8 (8.2%)	38 (5.9%)
大学（旧制高校・大学）	24 (11.2%)	26 (13.9%)	22 (15.2%)	23 (23.7%)	95 (14.8%)
大学院	1 (0.5%)	3 (1.6%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)	6 (0.9%)
わからない	15 (7.0%)	11 (5.9%)	8 (5.5%)	5 (5.2%)	39 (6.1%)
無回答	5 (2.3%)	3 (1.6%)	1 (0.7%)	3 (3.4%)	9 (1.4%)

問 40 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生（6）」を選んでください。

	A さん (Q40AWRK) (N=214)	B さん (Q40BWRK) (N=187)	C さん (Q40CWRK) (N=145)	D さん (Q40DWRK) (N=97)	全体 (N=643)
自営業主・自由業・家族従業員	56 (26.2%)	39 (20.9%)	34 (23.4%)	22 (22.7%)	151 (23.5%)
経営者・役員	3 (1.4%)	7 (3.7%)	3 (2.1%)	1 (1.0%)	14 (2.2%)
正規の職員・社員	40 (18.7%)	31 (16.65%)	31 (21.4%)	22 (22.7%)	124 (19.3%)
公務員	19 (8.9%)	16 (8.6%)	12 (8.3%)	7 (7.2%)	54 (8.4%)
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	27 (12.6%)	28 (15.0%)	18 (12.4%)	15 (15.5%)	88 (13.7%)
学生	0 (0.0%)	1 (0.5%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	3 (0.5%)
仕事をしていない（専業主婦・退職者など）	59 (27.6%)	57 (30.5%)	42 (29.0%)	24 (24.7%)	182 (28.3%)
わからない	3 (1.4%)	3 (1.6%)	3 (2.1%)	4 (4.1%)	13 (2.0%)
無回答	7 (3.3%)	5 (2.7%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	14 (2.2%)

問 41 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○ をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	Aさん (Q41AJB) (N=214)	Bさん (Q41BJB) (N=187)	Cさん (Q41CJB) (N=145)	Dさん (Q41DJB) (N=97)	全体 (N=643)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	11 (5.1%)	7 (3.7%)	7 (4.8%)	9 (9.3%)	34 (5.3%)
中間管理職（課長・店長など）	8 (3.7%)	9 (4.8%)	4 (2.8%)	3 (3.1%)	24 (3.7%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	15 (7.0%)	16 (8.6%)	17 (11.7%)	13 (13.4%)	61 (9.5%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	23 (10.7%)	17 (9.1%)	14 (9.7%)	8 (8.2%)	62 (9.6%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	16 (7.5%)	11 (5.9%)	8 (5.5%)	8 (8.2%)	43 (6.7%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	16 (7.5%)	17 (9.1%)	12 (8.3%)	3 (3.1%)	48 (7.5%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	2 (0.9%)	4 (2.1%)	3 (2.1%)	1 (1.0%)	10 (1.6%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	1 (0.5%)	1 (0.5%)	2 (1.4%)	1 (1.0%)	5 (0.8%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	14 (6.5%)	9 (4.8%)	7 (4.8%)	4 (4.1%)	34 (5.3%)
農林漁業・鉱業	26 (12.1%)	19 (10.2%)	16 (11.0%)	13 (13.4%)	74 (11.5%)
わからない	12 (5.6%)	5 (2.7%)	4 (2.8%)	4 (4.1%)	25 (3.9%)
記入不要（問41で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	59 (27.6%)	58 (40.0%)	43 (29.7%)	25 (25.7%)	185 (28.8%)
無回答	11 (5.1%)	14 (7.5%)	8 (5.5%)	5 (5.2%)	38 (5.9%)

問42 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	Aさん (Q42AINT) (N=214)	Bさん (Q42BINT) (N=187)	Cさん (Q42CINT) (N=145)	Dさん (Q42DINT) (N=97)	全体 (N=643)
とても親しい	167 (78.0%)	134 (71.7%)	106 (73.1%)	67 (69.1%)	474 (73.7%)
親しい	37 (17.3%)	45 (24.1%)	36 (24.8%)	26 (26.8%)	144 (22.4%)
それほど親しくない	2 (0.9%)	2 (1.1%)	1 (0.7%)	3 (3.1%)	8 (1.2%)
無回答	8 (3.7%)	6 (3.2%)	2 (1.4%)	1 (1.0%)	17 (2.6%)

問43 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。[複数回答]

	Aさん (Q43ARLS) (N=213)	Bさん (Q43BRLS) (N=187)	Cさん (Q43CRLS) (N=145)	Dさん (Q43DRLS) (N=99)	全体 (N=644)
共通の趣味や娯楽を持っている	131 (61.5%)	83 (44.4%)	76 (52.4%)	58 (58.6%)	348 (54.0%)
最近6ヵ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	127 (59.6%)	109 (58.3%)	89 (61.4%)	63 (63.6%)	388 (60.2%)
まとまったお金を借りることができる	50 (23.5%)	29 (15.5%)	21 (14.5%)	11 (11.1%)	111 (17.2%)

第5部 あなたが地元・奈半利町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこそこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについてお伺いします。

問 44(Q44LCINF) あなたが地元・奈半利町の詳しい情報（近々どのような行事が行われるのか、どこそこに新しいお店が開店したのか、町がどのような現状にあるのか、など）について知りたい場合、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=235)

人: 平均人数=3.3 人、SD=4.84

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Eさん、Fさん、Gさん、Hさん)とします。ただし、E～Hとは優先順位を意味しているわけではありません。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消しただだいて構いません。)

Eさん	Fさん	Gさん	Hさん

問 45 あなたが地元・奈半利町の詳しい情報について知りたい場合に、それについて尋ねたりよく話をしたりする方たちについてお伺いします。先ほど思い浮かべたEさん～Hさんについて、あなたとその方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	Eさん (Q45ERL) (N=193)	Fさん (Q45FRL) (N=158)	Gさん (Q45GRL) (N=115)	Hさん (Q45HRL) (N=81)	全体 (N=548)
配偶者（夫または妻）	59 (30.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	61 (11.1%)
親または子ども	23 (11.9%)	31 (19.6%)	8 (6.9%)	5 (6.2%)	67 (12.2%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	29 (15.0%)	24 (15.2%)	21 (18.1%)	5 (6.2%)	79 (14.4%)
職場の上司または部下	4 (2.1%)	6 (3.8%)	3 (2.6%)	2 (2.5%)	15 (2.7%)
職場の同僚（上司・部下以外）	9 (4.7%)	9 (5.7%)	7 (6.0%)	6 (7.4%)	31 (5.7%)
その他の仕事関係	5 (2.6%)	8 (5.1%)	7 (6.0%)	2 (2.5%)	22 (4.0%)
同じ組織や団体に加入している人	8 (4.1%)	9 (5.7%)	9 (7.8%)	3 (3.7%)	29 (5.3%)
近所の人	19 (9.8%)	30 (19.0%)	26 (22.4%)	24 (29.6%)	99 (18.1%)
友人	30 (15.5%)	35 (22.2%)	31 (26.7%)	29 (35.8%)	125 (22.8%)
その他	3 (1.6%)	3 (1.9%)	3 (2.6%)	2 (2.5%)	11 (2.0%)
無回答	4 (2.1%)	2 (1.3%)	1 (0.9%)	2 (2.5%)	9 (1.6%)

問 46 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	Eさん (Q46ESX) (N=193)	Fさん (Q46FSX) (N=158)	Gさん (Q46GSX) (N=116)	Hさん (Q46HSX) (N=81)	全体 (N=548)
男性	86 (44.6%)	72 (45.6%)	56 (48.3%)	38 (46.9%)	252 (46.0%)
女性	106 (54.9%)	84 (53.2%)	57 (49.1%)	40 (49.4%)	287 (52.4%)
無回答	1 (0.5%)	2 (1.3%)	3 (2.6%)	3 (3.7%)	9 (1.6%)

問 47 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	E さん (Q47EAGE) (N=192)	F さん (Q47FAGE) (N=155)	G さん (Q47GAGE) (N=114)	H さん (Q47HAGE) (N=81)	全体 (N=542)
平均年齢	59.6, SD=13.68	57.5, SD=14.37	58.8, SD=14.63	60.1, SD=12.90	58.9, SD=13.97

問 48 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	E さん (Q48EKNYR) (N=186)	F さん (Q48FKNYR) (N=150)	G さん (Q48GKNYR) (N=108)	H さん (Q48HKNYR) (N=77)	全体 (N=521)
平均年数	33.1, SD=16.74	29.7, SD=17.57	27.0, SD=17.06	27.8, SD=16.46	30.1, SD=17.14

問 49 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
EF「E さんと F さんは、知り合いですか」(Q49KNEF) (N=158)	138 (87.3%)	11 (7.0%)	3 (1.9%)	6 (3.8%)
EG「E さんと G さんは、知り合いですか」(Q49KNEG) (N=116)	97 (83.6%)	11 (9.5%)	5 (4.3%)	3 (2.6%)
EH「E さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNEH) (N=81)	70 (86.4%)	9 (11.1%)	1 (1.2%)	1 (1.2%)
FG「F さんと G さんは、知り合いですか」(Q49KNFG) (N=116)	91 (78.4%)	14 (12.1%)	6 (5.2%)	5 (4.3%)
FH「F さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNFH) (N=81)	60 (74.1%)	9 (11.1%)	2 (2.5%)	10 (12.3%)
GH「G さんと H さんは、知り合いですか」(Q49KNGH) (N=81)	62 (76.5%)	7 (8.6%)	1 (1.2%)	11 (13.6%)

問 50 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

	E さん (Q50ECTFR) (N=193)	F さん (Q50FCTFR) (N=158)	G さん (Q50GCTFR) (N=116)	H さん (Q50HCTFR) (N=81)	全体 (N=548)
ほとんど毎日	97 (50.3%)	35 (22.2%)	18 (15.5%)	13 (16.0%)	163 (29.7%)
週に数回	42 (21.8%)	61 (38.6%)	28 (24.1%)	19 (23.5%)	150 (27.4%)
週に 1 回程度	18 (9.3%)	29 (18.4%)	27 (23.3%)	19 (23.5%)	93 (17.0%)
月に 1 回程度	22 (11.4%)	21 (13.3%)	28 (24.1%)	20 (24.7%)	91 (16.6%)
年に数回	8 (4.1%)	9 (5.7%)	13 (11.2%)	8 (9.9%)	38 (6.9%)
無回答	6 (3.1%)	3 (1.9%)	2 (1.7%)	2 (2.5%)	13 (2.4%)

問 51 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	Eさん (Q51EEDU) (N=193)	Fさん (Q51FEDU) (N=158)	Gさん (Q51GEDU) (N=116)	Hさん (Q51HEDU) (N=81)	全体 (N=548)
中学校 (旧制小学校)	30 (15.5%)	20 (12.7%)	19 (16.4%)	14 (17.3%)	83 (15.1%)
高校 (旧制中学校・高等 女学校・実業学校・師範 学校)	88 (45.6%)	83 (52.5%)	47 (40.5%)	29 (35.8%)	247 (45.1%)
短大・高専	15 (7.8%)	8 (5.1%)	8 (6.9%)	3 (3.7%)	34 (6.2%)
専門学校	18 (9.3%)	14 (8.9%)	5 (4.3%)	11 (13.6%)	48 (8.8%)
大学 (旧制高校・大学)	16 (8.3%)	9 (5.7%)	12 (10.3%)	8 (9.9%)	45 (8.2%)
大学院	0 (0.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)
わからない	22 (11.4%)	19 (12.0%)	20 (17.2%)	12 (14.8%)	73 (13.3%)
無回答	4 (2.1%)	4 (2.5%)	5 (4.3%)	4 (4.9%)	17 (3.1%)

問 52 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしているますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生 (6)」を選んでください。

	Eさん (Q52EWRK) (N=193)	Fさん (Q52FWRK) (N=158)	Gさん (Q52GWRK) (N=116)	Hさん (Q52HWRK) (N=81)	全体 (N=548)
自営業主・自由業・家族 従業員	53 (27.5%)	43 (27.2%)	36 (31.0%)	28 (34.6%)	160 (29.2%)
経営者・役員	5 (2.6%)	14 (8.9%)	4 (3.4%)	4 (4.9%)	27 (4.9%)
正規の職員・社員	25 (13.0%)	23 (14.6%)	13 (11.2%)	7 (8.6%)	68 (12.4%)
公務員	22 (11.4%)	15 (9.5%)	10 (8.6%)	8 (9.9%)	55 (10.0%)
パート・アルバイト・嘱 託・臨時・派遣	31 (16.1%)	16 (10.1%)	15 (12.9%)	11 (13.6%)	73 (13.3%)
学生	0 (0.0%)	2 (1.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)
仕事をしていない(専業 主婦・退職者など)	48 (24.9%)	37 (23.4%)	27 (23.3%)	17 (21.0%)	129 (23.5%)
わからない	2 (1.0%)	3 (1.9%)	2 (1.7%)	3 (3.7%)	10 (1.8%)
無回答	7 (3.6%)	5 (3.2%)	9 (7.8%)	3 (3.7%)	24 (4.4%)

問 53 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	Eさん (Q53EJB) (N=193)	Fさん (Q53FJB) (N=158)	Gさん (Q53GJB) (N=116)	Hさん (Q53HJB) (N=81)	全体 (N=548)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	14 (7.3%)	15 (9.5%)	8 (6.9%)	8 (9.9%)	45 (8.2%)
中間管理職（課長・店長など）	9 (4.7%)	6 (3.8%)	6 (5.2%)	3 (3.7%)	24 (4.4%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	7 (3.6%)	11 (7.0%)	10 (8.6%)	10 (12.3%)	38 (6.9%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	23 (11.9%)	18 (11.4%)	10 (8.6%)	11 (13.6%)	62 (11.3%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	12 (6.2%)	9 (5.7%)	7 (6.0%)	4 (4.9%)	32 (5.8%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	19 (9.8%)	13 (8.2%)	9 (7.8%)	5 (6.2%)	46 (8.4%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	2 (1.0%)	1 (0.6%)	1 (0.9%)	1 (1.2%)	5 (0.9%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	1 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (1.5%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	5 (2.6%)	7 (4.4%)	5 (4.3%)	4 (4.9%)	38 (6.9%)
農林漁業・鉱業	25 (13.0%)	24 (15.2%)	11 (9.5%)	8 (9.9%)	49 (8.9%)
わからない	14 (7.3%)	5 (3.2%)	8 (6.9%)	4 (4.9%)	28 (5.1%)
記入不要（問52で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	48 (24.9%)	37 (23.4%)	27 (23.3%)	17 (21.0%)	129 (23.5%)
無回答	14 (7.3%)	10 (6.3%)	14 (12.1%)	6 (7.4%)	44 (8.0%)

問54 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

	Eさん (Q54EINT) (N=193)	Fさん (Q54FINT) (N=158)	Gさん (Q54GINT) (N=116)	Hさん (Q54HINT) (N=81)	全体 (N=548)
とても親しい	120 (62.2%)	75 (47.5%)	40 (34.5%)	34 (42.0%)	269 (49.1%)
親しい	52 (26.9%)	69 (43.7%)	69 (59.5%)	39 (48.1%)	229 (41.8%)
それほど親しくない	11 (5.7)	9 (5.7%)	4 (3.4%)	6 (7.4%)	30 (5.5%)
無回答	10 (5.2%)	5 (3.2%)	3 (2.6%)	2 (2.5%)	20 (3.6%)

問55 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。[複数回答]

	Eさん (Q55ERLS) (N=193)	Fさん (Q55FRLS) (N=158)	Gさん (Q55GRLS) (N=116)	Hさん (Q55HRLS) (N=82)	全体 (N=548)
共通の趣味や娯楽を持っている	99 (51.3%)	73 (46.2%)	50 (43.1%)	38 (46.3%)	260 (47.4%)
最近6ヵ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	104 (53.9%)	79 (50.0%)	59 (50.9%)	42 (51.2%)	284 (51.8%)
まとまったお金を借りることができる	36 (18.7%)	11 (7.0%)	10 (8.6%)	8 (9.8%)	65 (11.9%)

第6部 あなたが防災情報や災害時の備えなどについて詳しく知りたい場合に、これらについて話をしたり相談したりする方たちについてお伺いします。

問 56 (Q56LDPNF) あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たちを思い浮かべてください。何人いますか。(N=133)

人： 平均人数=2.8人、SD=3.28

※以下の質問では、その方たちのうち、思い浮かんだ順に4人の方についてうかがいます(1人目の方から順に、Iさん、Jさん、Kさん、Lさんとします。ただし、I～Lとは優先順位を意味しているわけではありません)。4人に満たない場合は、思い浮かぶ方たちの人数分だけ、お答えください。

※まず、その方がどなたかであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称、ニックネームなどを下の欄に記入してください。(この欄にお書きになった内容は、集計には使いませんので、回答が終わった時点で消していただいて構いません。)

Iさん	Jさん	Kさん	Lさん

問 57 あなたが防災情報や災害時の備えに関する情報などを詳しく知りたい場合、これらについて話し合ったり情報収集に協力してくれたりする方たちについておうかがいします。先ほど思い浮かべたIさん～Lさんについて、あなたとそれの方たちとの間柄は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

	Iさん (Q57IRL) (N=184)	Jさん (Q57JRL) (N=148)	Kさん (Q57KRL) (N=105)	Lさん (Q57LRL) (N=66)	全体 (N=503)
配偶者(夫または妻)	79 (42.9%)	3 (2.0%)	2 (1.9%)	1 (1.5%)	85 (16.9%)
親または子ども	25 (13.6%)	50 (33.8%)	16 (15.2%)	3 (4.5%)	94 (18.7%)
兄弟姉妹・その他の家族・親せき	17 (9.2%)	26 (17.6%)	24 (22.9%)	11 (16.7%)	78 (15.5%)
職場の上司または部下	4 (2.2%)	6 (4.1%)	4 (3.8%)	2 (3.0%)	16 (3.2%)
職場の同僚(上司・部下以外)	1 (0.5%)	3 (2.0%)	1 (1.0%)	4 (6.1%)	9 (1.8%)
その他の仕事関係	4 (2.2%)	3 (2.0%)	5 (4.8%)	1 (1.5%)	13 (2.6%)
同じ組織や団体に加入している人	6 (3.3%)	7 (4.7%)	7 (6.7%)	6 (9.1%)	26 (5.2%)
近所の人	25 (13.6%)	21 (14.2%)	18 (17.1%)	18 (27.3%)	82 (16.3%)
友人	18 (9.8%)	27 (18.2%)	23 (21.9%)	17 (25.8%)	85 (16.9%)
その他	2 (1.1%)	1 (0.7%)	4 (3.8%)	3 (4.5%)	10 (2.0%)
無回答	3 (1.6%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	5 (1.0%)

問 58 その方たちは男性ですか、女性ですか。

	Iさん (Q58ISX) (N=184)	Jさん (Q58JSX) (N=148)	Kさん (Q58KSX) (N=105)	Lさん (Q58LSX) (N=66)	全体 (N=503)
男性	112 (60.9%)	90 (60.8%)	68 (64.8%)	45 (68.2%)	315 (62.6%)
女性	69 (37.5%)	55 (37.2%)	35 (33.3%)	18 (27.3%)	177 (35.2%)
無回答	3 (1.6%)	3 (2.0%)	2 (1.9%)	3 (4.5%)	11 (2.2%)

問 59 その方たちの年齢を、以下に記入してください。正確な年齢がわからない場合は、だいたいの年齢で結構です。

	I さん (Q59IAGE) (N=180)	J さん (Q59JAGE) (N=146)	K さん (Q59KAGE) (N=103)	L さん (Q59LAGE) (N=64)	全体 (N=493)
平均年齢	59.5, SD=14.23	54.4 SD=15.77	55.3, SD=16.36	61.2, SD=13.74	57.3, SD=15.29

問 60 その方たちと知り合いになったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	I さん (Q60IKNYR) (N=171)	J さん (Q60JKNYR) (N=140)	K さん (Q60KKNYR) (N=101)	L さん (Q60LKNYR) (N=65)	全体 (N=477)
平均年数	33.9, SD=15.77	31.5, SD=16.91	30.4, SD=18.74	30.2, SD=17.67	31.9, SD=17.04

問 61 あなたがあげた 4 人の方たちは、お互いに知り合いですか。

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	[無回答]
IJ 「I さんと J さんは、知り合いですか」 (Q611KNIJ) (N=148)	134 (90.5%)	6 (4.1%)	3 (2.0%)	5 (3.4%)
IK 「I さんと K さんは、知り合いですか」 (Q612KNIK) (N=105)	90 (85.7%)	10 (9.5%)	3 (2.9%)	2 (1.9%)
IL 「I さんと L さんは、知り合いですか」 (Q612KNIL) (N=66)	55 (83.3%)	7 (10.6%)	2 (3.0%)	2 (3.0%)
JK 「J さんと K さんは、知り合いですか」 (Q614KNJK) (N=105)	86 (81.9%)	14 (13.3%)	2 (1.9%)	3 (2.9%)
JL 「J さんと L さんは、知り合いですか」 (Q615KNJL) (N=66)	43 (65.2%)	9 (13.6%)	2 (3.0%)	12 (18.2%)
KL 「K さんと L さんは、知り合いですか」 (Q616KNKL) (N=66)	43 (65.2%)	9 (13.6%)	2 (3.0%)	12 (18.2%)

問 62 その方たちとあなたは、どのくらいの頻度で連絡をしますか（電話やメール、LINE や Twitter などの SNS も含みます）。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

	I さん (Q62ICTFR) (N=184)	J さん (Q62JCTFR) (N=148)	K さん (Q62KCTFR) (N=105)	L さん (Q62LCTFR) (N=66)	全体 (N=503)
ほとんど毎日	99 (53.8%)	49 (33.1%)	19 (18.1%)	9 (13.6%)	176 (35.0%)
週に数回	31 (16.8%)	48 (32.4%)	28 (26.7%)	24 (36.4%)	131 (26.0%)
週に 1 回程度	14 (7.6%)	19 (12.8%)	24 (22.9%)	13 (19.7%)	70 (13.9%)
月に 1 回程度	16 (8.7%)	16 (10.8%)	25 (23.8%)	11 (16.7%)	68 (13.5%)
年に数回	12 (6.5%)	10 (6.8%)	7 (6.7%)	9 (13.6%)	38 (7.6%)
無回答	12 (6.5%)	6 (4.1%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	20 (4.0%)

問 63 その方たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

	Iさん (Q63IEDU) (N=184)	Jさん (Q63JEDU) (N=148)	Kさん (Q63KEDU) (N=105)	Lさん (Q63LEDU) (N=66)	全体 (N=503)
中学校 (旧制小学校)	29 (15.8%)	18 (12.2%)	14 (13.3%)	11 (16.7%)	72 (14.3%)
高校 (旧制中学校・高等 女学校・実業学校・師範 学校)	83 (45.1%)	76 (51.4%)	53 (50.5%)	29 (43.9%)	241 (47.9%)
短大・高専	12 (6.5%)	9 (6.1%)	1 (1.0%)	3 (4.5%)	22 (4.4%)
専門学校	9 (4.9%)	10 (6.8%)	5 (4.8%)	13 (19.7%)	27 (5.4%)
大学 (旧制高校・大学)	23 (12.5%)	16 (10.8%)	15 (14.3%)	9 (13.6%)	67 (13.3%)
大学院	0 (0.0%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	2 (0.4%)
わからない	16 (8.7%)	10 (6.8%)	13 (12.4%)	9 (13.6%)	48 (9.5%)
無回答	12 (6.5%)	8 (5.4%)	3 (2.9%)	1 (1.5%)	24 (4.8%)

問 64 その方たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。学生でアルバイトをしている場合は「学生 (6)」を選んでください。

	Iさん (Q64IWRK) (N=184)	Jさん (Q64JWRK) (N=148)	Kさん (Q64KWRK) (N=105)	Lさん (Q64LWRK) (N=66)	全体 (N=503)
自営業主・自由業・ 家族従業員	51 (27.7%)	34 (23.0%)	29 (27.6%)	22 (33.3%)	136 (27.0%)
経営者・役員	8 (4.3%)	7 (4.7%)	4 (3.8%)	3 (4.5%)	22 (4.4%)
正規の職員・社員	20 (10.9%)	19 (12.8%)	13 (12.4%)	7 (10.6%)	59 (11.7%)
公務員	25 (13.6%)	27 (18.2%)	19 (18.1%)	10 (15.2%)	81 (16.1%)
パート・アルバイ ト・嘱託・臨時・派 遣	20 (10.9%)	10 (6.8%)	7 (6.7%)	2 (3.0%)	19 (3.8%)
学生	0 (0.0%)	1 (0.7%)	2 (1.9%)	0 (0.0%)	23 (4.6%)
仕事をしていない (専業主婦・退職者 など)	43 (23.4%)	35 (23.6%)	22 (21.0%)	16 (24.2%)	116 (23.1%)
わからない	4 (2.2%)	5 (3.4%)	4 (3.8%)	4 (6.1%)	17 (3.4%)
無回答	13 (7.1%)	10 (6.8%)	5 (4.8%)	2 (3.0%)	30 (6.0%)

問 65 その方たちが現在行っている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

	Iさん (Q65IJB) (N=184)	Jさん (Q65JJB) (N=148)	Kさん (Q65KJB) (N=105)	Lさん (Q65LJB) (N=66)	全体 (N=503)
上級管理職（経営者・役員・部長など）	18 (9.8%)	13 (8.8%)	8 (7.6%)	4 (6.1%)	43 (8.5%)
中間管理職（課長・店長など）	11 (6.0%)	11 (7.4%)	9 (8.6%)	3 (4.5%)	34 (6.8%)
専門・技術（技術者・教員・弁護士など）	10 (5.4%)	13 (8.8%)	9 (8.6%)	3 (4.5%)	35 (7.0%)
事務（総務・経理・企画・営業事務など）	18 (9.8%)	18 (12.2%)	12 (11.4%)	7 (10.6%)	55 (10.9%)
販売（小売店主・店員・外交員など）	5 (2.7%)	2 (1.4%)	5 (4.8%)	3 (4.5%)	15 (3.0%)
サービス（理美容・調理・家事サービスなど）	9 (4.9%)	8 (5.4%)	4 (3.8%)	5 (7.6%)	26 (5.2%)
運輸・通信（運転手・船員・通信員・郵便外務など）	2 (1.1%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	4 (0.8%)
保安・警備（守衛・警官・自衛官など）	3 (1.6%)	1 (0.7%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)	5 (1.0%)
製造・建設（工業作業・建築作業員など）	10 (5.4%)	6 (4.1%)	5 (4.8%)	3 (4.5%)	24 (4.8%)
農林漁業・鉱業	26 (14.1%)	20 (13.5%)	14 (13.3%)	14 (21.2%)	74 (14.7%)
わからない	11 (6.0%)	7 (4.7%)	4 (3.8%)	6 (9.1%)	28 (5.6%)
記入不要（問64で「学生」「仕事をしていない」場合で未記入の回答数）	43 (23.4%)	36 (24.3%)	24 (22.9%)	16 (24.2%)	119 (23.7%)
無回答	18 (9.8%)	12 (8.1%)	9 (8.6%)	2 (3.0%)	41 (8.2%)

問66 あなたは、その方たちとどのくらい親しいですか。

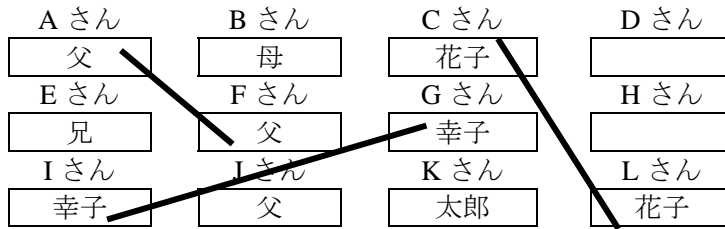
	Iさん (Q66IINT) (N=184)	Jさん (Q66JINT) (N=148)	Kさん (Q66KINT) (N=105)	Lさん (Q66LINT) (N=66)	全体 (N=503)
とても親しい	114 (62.0%)	80 (54.1%)	44 (41.9%)	23 (34.8%)	261 (51.9%)
親しい	49 (26.6%)	54 (36.5%)	50 (47.6%)	38 (57.6%)	191 (38.0%)
それほど親しくない	9 (4.9%)	7 (4.7%)	9 (8.6%)	4 (6.1%)	29 (5.8%)
無回答	12 (6.5%)	7 (4.7%)	2 (1.9%)	1 (1.5%)	22 (4.4%)

問67 その方たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

	Iさん (Q67IRLS) (N=184)	Jさん (Q67JRLS) (N=148)	Kさん (Q67KRLS) (N=105)	Lさん (Q67LRLS) (N=66)	全体 (N=503)
共通の趣味や娯楽を持っている	92 (55.0%)	59 (39.9%)	40 (38.1%)	24 (36.4%)	215 (42.7%)
最近6ヵ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	91 (49.5%)	77 (52.0%)	59 (56.2%)	37 (56.1%)	264 (52.5%)
まとまったお金を借りることができる	40 (21.7%)	20 (13.5%)	10 (9.5%)	3 (4.5%)	73 (14.5%)

※これまで第4部から第6部まで質問してきました、あなたがいろいろと話したりお付き合いしたりしている方たちについて、上の欄で記入されたAさん～Lさんまでのイニシャルや愛称、あるいはニックネームなどを下記の<メモ欄>に記入ください。
 ※【例1】のように、メモで記入した方たちで、同じ人の四角を線で結んでください。
 ※同じ人がいない場合は、問69へ進んでください。

【例1】



<メモ欄>

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
Eさん	Fさん	Gさん	Hさん
Iさん	Jさん	Kさん	Lさん

問68 上の<メモ欄>において、線で結んだ人は誰と誰ですか。アルファベットでお答えください。<<【例2】を参照。>>

【例2】

(1) 同じ人は	A	と	F	と	J
(2) 同じ人は	C	と	L	と	
(3) 同じ人は	G	と	I	と	

<回答欄>

(1) 同じ人は (Q681SAME)		と		と	
(2) 同じ人は (Q682SAME)		と		と	
(3) 同じ人は (Q683SAME)		と		と	
(4) 同じ人は (Q684SAME)		と		と	
(5) 同じ人は (Q685SAME)		と		と	
(6) 同じ人は (Q686SAME)		と		と	

第7部 防災・災害への意識に関する事柄についておうかがいします。

問 69 (Q69DPCS) 自然災害に対する防災について、日頃から意識していますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=227)

1	2	3	4	5
非常に意識している	意識している	どちらとも いえない	意識して いない	全く意識して いない
50 (22.0%)	134 (59.0%)	31 (13.7%)	9 (4.0%)	3 (1.3%)

問 70 (Q70EVPL) 避難所の場所を知っていますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=228)

1	災害時における避難所の名前・場所をともに知っている	160 (70.2%)
2	避難所の名前は知らないが、場所はわかる	56 (24.6%)
3	避難所の名前も場所も知らないが、思い当たる場所はある	8 (3.5%)
4	避難所の名前は知っているが、場所はわからない	1 (0.4%)
5	避難所の名前も知らないし、場所もわからない	3 (1.3%)

問 71 (Q71EVTR) 今年に入ってから、地域の避難訓練に参加したことがありますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=224)

1	2	3	4
参加した	参加していないが、 見学はした	訓練は知っていたが 参加も見学もしていな い	訓練を知らない
120 (53.6%)	14 (6.3%)	80 (35.7%)	10 (4.5%)

問 72 (Q72WKSP) 今年に入ってから、地域ごとの防災ワークショップ（対話集会）に参加したことはありますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=222)

1	2	3
参加した	ワークショップは知っていた が、参加していない	ワークショップを 知らない
50 (22.5%)	60 (27.0%)	112 (50.5%)

問 73 (Q73EVCR) これまで『避難カルテ』を作ったことがありますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。(N=211)

1	2	3
作ったことがある	『避難カルテ』は知っていたが 作ったことはない	『避難カルテ』を知らない
15 (7.1%)	55 (26.1%)	141 (66.8%)

問 74 (Q74DPPR) 自然災害に備えてとっている対策について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=228)

		該当者数 (複数回答)
1	携帯ラジオ、懐中電灯、医療品などを準備している	165 (72.4%)
2	食料や飲料水を準備している	75 (32.9%)
3	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	45 (19.7%)
4	自宅建物もしくは家財を対象とした地震保険（地震被害を補償する共済を含む）に加入している	98 (43.0%)
5	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	141 (61.8%)
6	いつも風呂の水をためおきしている	41 (18.0%)
7	貴重品などをすぐに持ち出せるように準備している	73 (32.0%)
8	家族の安否確認の方法などを決めている	47 (20.6%)
9	耐震性のある家に住んでいる	35 (15.4%)
10	非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	19 (8.3%)
11	自家用車の燃料が半分以下になれば満タンにするようにしている	59 (25.9%)
12	外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯している	33 (14.5%)
13	防災訓練に積極的に参加している	63 (27.6%)
14	感電ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している	11 (4.8%)
15	風呂の水をためおきたり、消火器を準備するなど消火活動を行うための準備をしている	26 (11.4%)
16	家屋の耐震化や耐震診断を行うなど、自分の家の耐震性に気を遣っている	20 (8.8%)
17	その他（ ）*	3 (1.3%)
18	特になにもしていない	39 (17.1%)
19	わからない	3 (1.3%)

*自由記述

- ・ ガソリン、灯油、軽油常備
- ・ ヘルメット、長靴等の準備
- ・ 非常持ち出し袋は用意ある

第8部 あなたの普段のコミュニケーションについておうかがいします。

問 75 次にいろいろな機器があげられています。それぞれ家にあるかどうか、家にある場合はふだん自分で利用しているかどうか、家がない場合は将来ほしいと思っているかどうかなどについて、1～4の中からあてはまるものに1つだけ○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ) (N=236)

	家にある		家がない		無回答
	自分も利用している	自分はない	将来ほしい	わいらない	
テレビ受像機（パソコン、ワンセグは除く）(Q7501TV)	186 (78.8%)	9 (3.8%)	2 (0.8%)	7 (3.0%)	32 (13.6%)
DVD、ブルーレイなどの録画機(Q7502DVD)	136 (57.6%)	30 (12.7%)	10 (4.2%)	15 (6.4%)	45 (19.1%)
VHS ビデオデッキ (Q7503VHS)	61 (25.8%)	43 (18.2%)	0 (0.0%)	72 (30.5)	60 (25.4%)
ラジオ (Q7504RAD)	136 (57.6%)	46 (19.5%)	9 (3.8%)	13 (5.5%)	32 (13.6%)
パソコン (Q7505PC)	86 (36.4%)	39 (16.5%)	14 (5.9%)	36 (15.3%)	61 (25.8%)
携帯型ゲーム機（ニンテンドーDS、PSP など）(Q7506PG)	27 (11.4%)	42 (17.8%)	1 (0.4%)	96 (40.7%)	70 (29.7%)
テレビゲーム機（Wii、PlayStation シリーズなど）(Q7507VG)	29 (12.3%)	47 (19.9%)	0 (0.0%)	89 (37.7%)	71 (30.1%)
固定電話 (Q7508HPH)	172 (72.9%)	16 (6.8%)	4 (1.7%)	18 (7.6%)	26 (11.0%)
ワンセグ対応の携帯電話 (Q7509OSC)	52 (22.0%)	38 (16.1%)	7 (3.0%)	66 (28.0%)	73 (30.9%)
スマートフォン（iPhone、アンドロイド端末など）(Q7510SMP)	68 (28.8%)	35 (14.8%)	21 (8.9%)	45 (19.1%)	67 (28.4%)
携帯電話（ワンセグ対応携帯・スマートフォンは除く）(Q7511CPH)	105 (44.5%)	20 (8.5%)	3 (1.3%)	58 (24.6%)	50 (21.2%)
携帯型デジタル音楽プレーヤー（iPod など）(Q7512PM)	30 (12.7%)	36 (15.3%)	7 (3.0%)	89 (37.7%)	74 (31.4%)
電子書籍リーダー（Amazon のキンドルなど）(Q7513EBK)	6 (2.5%)	18 (7.6%)	13 (5.5%)	123 (52.1%)	76 (32.2%)
タブレット型端末（iPad など）(Q7514TAB)	15 (6.4%)	28 (11.9%)	28 (11.9%)	90 (38.1%)	75 (31.8%)

※1 携帯電話もしくはスマートフォンを持っている人は、以下の問 77 以降をお答えください。携帯電話やスマートフォンのいずれも持っていない人は、問 81 へ飛んでください。

問 76 (Q76SUCT) この前の日曜日に、携帯電話／スマートフォンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=128)

およそ 時間 分 平均時間=86.0 分、SD=157.37

問 77 (Q77SUSV) この前の日曜日に、携帯電話／スマートフォンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の 1～9 までのなかであてはまるものすべてに○をつけてください。(N=127)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	82 (64.6%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	44 (34.6%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	16 (12.6%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	23 (18.1%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	19 (15.0%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	22 (17.3%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	12 (9.4%)
8	ラジオを聴く（ラジオなど）	6 (4.7%)
9	その他のインターネット利用	28 (22.0%)

問 78 (Q78MNCT) この前の月曜日に、携帯電話／スマートフォンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=115)

およそ 時間 分 平均時間=71.0分、SD=140.64

問 79 (Q79MNSV) この前の月曜日に、携帯電話／スマートフォンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかではまるものすべてに○をつけてください。(N=115)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	76 (66.1%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	32 (27.8%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	14 (12.2%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	12 (10.4%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	19 (16.5%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	19 (16.5%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	10 (8.7%)
8	ラジオを聴く（ラジオなど）	6 (5.2%)
9	その他のインターネット利用	22 (19.1%)

※2 自宅にパソコンを持っている人は、以下の問 81 以降をお答えください。自宅にパソコンを持っていない人は、問 85 へ飛んでください。

問 80 (Q81SUPC) この前の日曜日に、自宅のパソコンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=54)

およそ 時間 分 平均時間=112.2分、SD=125.01

問 81 (Q81SUSV) この前の日曜日に、自宅のパソコンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の1～9までのなかではまるものすべてに○をつけてください。(N=34)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	30 (55.6%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	34 (63.0%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebookなどのソーシャルメディアを見る・書く	7 (13.0%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	17 (31.5%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	9 (16.7%)
6	メッセージャー・チャットを使う（LINEのトークや、Facebookメッセージャーなども含む）	4 (7.4%)
7	Skype、LINEなどの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	5 (9.3%)
8	ラジオを聴く（ラジオなど）	5 (9.3%)
9	その他のインターネット利用	24 (44.4%)

問 82 (Q82MNPC) この前の月曜日に、自宅のパソコンからインターネット・サービスをどのくらい利用しましたか。およその時間を以下に記してください。(N=46)

およそ 時間 分 平均時間=84.5 分、SD=75.11

問 83 (Q83MNSV) この前の月曜日に、自宅のパソコンからのインターネットで利用したサービスについて、以下の 1～9 までのなかであてはまるものすべてに○をつけてください。(N=23)

1	メール（ショートメール含む）を読む・書く	30 (65.2%)
2	ブログやウェブサイトを見る・書く	24 (52.2%)
3	Twitter、ミクシィ、Facebook などのソーシャルメディアを見る・書く	4 (8.7%)
4	ユーチューブ、ニコニコ動画等の動画を見る	15 (32.6%)
5	オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	7 (15.2%)
6	メッセージング・チャットを使う（LINE のトークや、Facebook メッセンジャーなども含む）	5 (10.9%)
7	Skype、LINE などの音声通話（ビデオ通話含む）を使う	4 (8.7%)
8	ラジオを聴く（ラジコなど）	4 (8.7%)
9	その他のインターネット利用	24 (52.2%)

問 84 (Q84NWP) あなたは自宅で新聞を購読していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=216)

1	高知新聞を定期購読している。	165 (76.4%)
2	全国紙（読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞など）を定期購読している。	19 (8.8%)
3	スポーツ新聞を定期購読している。	7 (3.2%)
4	職場などで定期購読している新聞を読んでいる	7 (3.2%)
5	図書館など公共施設で新聞を読んでいる	2 (0.9%)
6	普段、新聞を読まない	31 (14.4%)

問 85 (Q85MGZ) あなたは普段、（マンガ以外の）雑誌を読みますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(N=216)

1	町の広報誌（『広報くろしお』）は定期的に読んでいる。	158 (73.1%)
2	フリーペーパーをよく読んでいる。	40 (18.5%)
3	高知のタウン誌をよく読んでいる。	37 (17.1%)
4	特定の全国雑誌を定期購読している。	34 (15.7%)
5	全国雑誌などをお店などで読んでいる。	28 (13.0%)
6	図書館など公共施設で雑誌を読んでいる	13 (6.0%)
7	普段、雑誌を読まない	35 (16.2%)

第9部 あなたの普段の情報収集についておうかがいします。

問91 あなたは以下にあげた内容に関する情報を、どのような情報源から得ていますか。この1ヶ月の間に、それぞれの内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～11の中から**いくつでも○**をつけてください。また、それぞれの情報について、1～11の中で**最もよく使った情報源には1つ◎**をつけてください。その種の情報を必要としなければ12に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも、◎はそれぞれ1つ) (N=215)

(記入例)

国内ニュース	①	2	③	④	5	⑥	7	8	9	⑩	11	12
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

	友人・家族と直接 会って聞く ㉑	友人・家族からの電 話やメール ㉒	テレビ放送 ㉓	ケーブルテレビ ㉔
1)国内ニュース(Q911DN)	54 (25.1%)	31 (14.4%)	205 (95.3%)	5 (2.3%)
2)海外ニュース(Q912IN)	21 (9.8%)	8 (3.7%)	176 (81.9%)	3 (1.4%)
3)地域 (ローカル) ニュース(Q913LN)	56 (26.0%)	26 (12.1%)	149 (69.3%)	3 (1.4%)
4)天気予報 (Q914WT)	30 (14.0%)	7 (3.3%)	200 (93.0%)	0 (0.0%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	35 (16.3%)	22 (10.2%)	66 (30.7%)	1 (0.5%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	40 (18.6%)	18 (8.4%)	61 (28.4%)	0 (0.0%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	50 (23.3%)	21 (9.8%)	121(56.3%)	0 (0.0%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	26 (12.1%)	10 (4.7%)	142 (66.0%)	0 (0.0%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	51 (23.7%)	29 (13.5%)	104 (48.4%)	0 (0.0%)

	ラジオ放送 ㉕	新聞 ㉖	雑誌 ㉗	町の広報誌 ㉘
1)国内ニュース(Q911DN)	57 (26.5%)	158 (73.5%)	18 (8.4%)	35 (16.3%)
2)海外ニュース(Q912IN)	35 (16.3%)	108 (50.2%)	14 (6.5%)	4 (1.9%)
3)地域 (ローカル) ニュース(Q913LN)	34 (15.8%)	112 (52.1%)	7 (3.3%)	66 (30.7%)
4)天気予報 (Q914WT)	44 (20.5%)	100 (46.5%)	3 (1.4%)	1 (0.5%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	9 (4.2%)	44 (20.5%)	42 (19.5%)	2 (0.9%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	9 (4.2%)	48 (22.3%)	42 (19.5%)	3 (1.4%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	17 (7.9%)	65 (30.2%)	23 (10.7%)	18 (8.4%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	4 (1.9%)	116 (54.0%)	8 (3.7%)	1 (0.5%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	14 (6.5%)	43 (20.0%)	60 (27.9%)	4 (1.9%)

	掲示板、ポスター、 チラシなど ⑤	パソコンのウェブ サイト ⑥	携帯情報サイト ⑦	そのような情報は 必要としない ⑧
1)国内ニュース(Q911DN)	15 (7.0%)	31 (14.4%)	28 (13.0%)	0 (0.0%)
2)海外ニュース(Q912IN)	1 (0.5%)	32 (14.9%)	24 (11.2%)	5 (2.3%)
3)地域 (ローカル) ニュース(Q913LN)	22 (10.2%)	14 (6.5%)	10 (4.7%)	4 (1.9%)
4)天気予報 (Q914WT)	0 (0.0%)	31 (14.4%)	43 (20.0%)	1 (0.5%)
5)旅行、観光情報 (Q915TR)	34 (15.8%)	50 (23.3%)	27 (12.6)	33 (15.3%)
6)ショッピング、商品情報 (Q916SP)	50 (23.3%)	45 (20.9%)	32 (14.9%)	18 (8.4%)
7)健康、医療情報 (Q917HL)	12 (5.6%)	36 (16.7%)	22 (10.2%)	9 (4.2%)
8)テレビ番組情報 (Q918TV)	2 (0.9%)	19 (8.8%)	11 (5.1%)	12 (5.6%)
9)グルメ情報 (Q919GR)	28 (13.0%)	33 (15.3%)	24 (11.2%)	25 (11.6%)

問 92 あなたは以下にあげた**奈半利町に関する情報**を、どのような情報源から得ていますか、この1ヶ月の間に、以下のそれぞれの内容に関する情報を得た情報源としてあてはまるものに、1～11の中から**いくつでも○**をつけてください。また、それぞれの情報について、1～11の中で**最もよく使った情報源には1つ◎**をつけてください。その種の情報を必要としなければ12に○をつけてください。(○はそれぞれいくつでも、◎はそれぞれ1つ) (N=214)

	友人・家族と直接 会って聞く 01	友人・家族からの電 話やメール 02	テレビ放送 03	ケーブルテレビ 04
奈半利町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	92 (43.0%)	22 (10.3%)	21 (9.8%)	4 (1.9%)
奈半利町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	72 (33.6%)	20 (9.3%)	11 (5.1%)	4 (1.9%)
奈半利町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	52 (24.3%)	13 (6.1%)	10 (4.7%)	1 (0.5%)
奈半利町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	99 (46.3%)	48 (22.4%)	53 (24.8%)	2 (0.9%)
奈半利町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	79 (36.9%)	42 (19.6%)	25 (11.7%)	3 (1.4%)
奈半利町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	82 (38.3%)	33 (15.4%)	10 (4.7%)	0 (0.0%)
奈半利町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	63 (29.4%)	20 (9.3%)	13 (6.1%)	4 (1.9%)

	ラジオ放送 05	新聞 06	雑誌 07	町の広報誌 08
奈半利町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	7 (3.3%)	49 (22.9%)	1 (0.5%)	178 (83.2%)
奈半利町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	5 (1.9%)	23 (10.7%)	0 (0.0%)	166 (77.6%)
奈半利町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	4 (1.9%)	23 (10.7%)	0 (0.0%)	156 (72.9%)
奈半利町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	15 (7.0%)	88 (41.1%)	0 (0.0%)	41 (19.2%)
奈半利町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	7 (3.3%)	40 (18.7%)	1 (0.5%)	119 (55.6%)
奈半利町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	3 (1.4%)	27 (12.6%)	2 (0.9%)	37 (17.3%)
奈半利町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	6 (2.8%)	31 (14.5%)	2 (0.9%)	141 (65.9%)

	9 掲 示 板 、 ポ ス タ 、 チ ラ シ な ど	10 パ ソ コ ン の ウ ェ ブ サ イ ト	11 携 帯 情 報 サ イ ト	12 そ の よ う な 情 報 は 必 要 と し な い
奈半利町の政治・行政に関する情報（町長や議会の動向、行政手続きに関する情報など）（Q921LPL）	29 (13.6%)	4 (1.9%)	1 (0.5%)	6 (2.8%)
奈半利町における防災計画や避難場所、防災訓練開催などの情報（Q922LDP）	58 (27.1%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)	4 (1.9%)
奈半利町の経済状況に関する情報（Q923LEC）	11 (5.1%)	2 (0.9%)	2 (0.9%)	15 (7.0%)
奈半利町における事件・事故などに関する情報（Q924LCR）	10 (4.7%)	3 (1.4%)	1 (0.5%)	8 (3.7%)
奈半利町において開催される催し物やイベントなどの情報（Q925LEV）	93 (43.5%)	4 (1.9%)	2 (0.9%)	8 (3.7%)
奈半利町における新規店舗や新商品、セールなどの情報（Q926LCM）	74 (34.6%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	19 (8.9%)
奈半利町におけるまちづくり活動などの情報（Q927LCB）	51 (23.8%)	4 (1.9%)	1 (0.5%)	12 (5.6%)

問 93 あなたが必要な情報を得るための手段（情報源）として、次のメディアは、どのくらい重要ですか。それぞれについて、1～5の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）（N=236）

	非常に重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	まったく重要ではない	無回答
1) テレビ (Q931TV)	162 (68.6%)	40 (16.9%)	7 (3.0%)	5 (2.1%)	4 (1.7%)	18 (7.6%)
2) 新聞 (Q932NWP)	124 (52.5%)	71 (30.1%)	10 (4.2%)	6 (2.5%)	1 (0.4%)	24 (10.2%)
3) 雑誌 (Q933MGZ)	12 (5.1%)	60 (25.4%)	43 (18.2%)	56 (23.7%)	11 (44.7%)	54 (22.9%)
4) インターネット (Q934INET)	57 (24.2%)	40 (16.9%)	29 (12.3%)	18 (7.6%)	23 (9.7%)	69 (29.2%)

問 94 あなたは、次のメディアの情報のうち、信頼できる情報はどの程度あるとおもいますか。それぞれについて、1～5の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。なお、利用していないメディアについては、大体の印象でお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）（N=236）

	全部信頼できる	大部分信頼できる	半々くらい	一部しか信頼できない	まったく信頼できない	無回答
1) テレビ (Q941TV)	50 (21.2%)	122 (51.7%)	32 (13.6%)	10 (4.2%)	1 (0.4%)	21 (8.9%)
2) 新聞 (Q942NWP)	51 (21.6%)	126 (53.4%)	24 (10.2%)	7 (3.0%)	1 (0.4%)	27 (11.4%)
3) 雑誌 (Q943MGZ)	2 (0.8%)	38 (16.1%)	83 (35.2%)	50 (21.2%)	6 (2.5%)	57 (24.2%)
4) インターネット (Q944INET)	10 (4.2%)	46 (19.5%)	56 (23.7%)	30 (12.7%)	15 (6.4%)	79 (33.5%)

ご協力ありがとうございました。

社会調査員 記録票
(社会調査員専用記入欄)

調査員番号	
回収日時	月 日 午前・午後 時 分頃
受理方法	本人 ・ 家族 ・ その他 ()
報告書送付希望申請用紙	あり ・ なし

ID番号		地区番号	
------	--	------	--

著者 遠山 茂樹

高知大学教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門 教授

(人文社会科学部人文社会科学科国際社会コース)

地域コミュニケーション調査（平成27年 奈半利町編）調査報告書

科学研究費 基盤研究（C） 課題番号：25330399

デジタル時代の防災コミュニティ強化に向けた地域コミュニケーション・モデルの開発

研究代表者 遠山茂樹

発行日：2016年9月23日

著作・発行 遠山茂樹

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号

高知大学人文社会科学部 遠山研究室

TEL&FAX: 088-844-8183

s-toyama@kochi-u.ac.jp / <http://souls.cc.kochi-u.ac.jp/s-toyama.html>
